

③

# 令和3年度 重点事業の概要



令和3年2月8日



## 目 次

1 「新たな日常」への対応(コロナ対策)	1
2 5大構想	5
(1) 歴史文化の拠点づくり	6
(2) 海洋文化の拠点づくり	8
(3) 教育文化の拠点づくり	10
(4) 「健康長寿のまち」の推進	12
(5) 「まちは劇場」の推進	14
3 国土強靱化	17
4 局別の主要事業	
(1) 市長公室・危機管理総室	21
(2) 企画局	27
(3) 市民局	37
(4) 区役所	45
(5) 観光交流文化局	53
(6) 環境局	81
(7) 保健福祉長寿局	87
(8) 子ども未来局	107
(9) 経済局	119
(10) 都市局	137
(11) 建設局	157
(12) 消防局	167
(13) 上下水道局	175
(14) 教育局	179



令和3年度当初予算(案) 局別の主要事業  
目 次

<b>1</b>	<b>市長公室・危機管理総室</b>	<b>21</b>
	(1) 重点政策広報の推進	24
	(2) しずチカ空間活用社会実験事業	25
	(3) 自主防災活動支援事業	26
<b>2</b>	<b>企画局</b>	<b>27</b>
	(1) 第4次総合計画策定検討業務	30
	(2) (仮称)葵歴史のまちづくりグランドデザイン策定事業	31
	(3) サッカースタジアム構想づくりに向けた基礎調査	32
	(4) リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究事業	33
	(5) 広域連携の推進(しずおか中部連携中枢都市圏事業)	34
	(6) アリーナ誘致推進事業	35
	(7) 東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業	36
<b>3</b>	<b>市民局</b>	<b>37</b>
	(1) 女性相談プラットフォーム構築事業	40
	(2) 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	41
	(3) 街頭防犯カメラ設置費助成	42
	(4) 井川湖渡船待合所更新事業	43
<b>4</b>	<b>区役所</b>	<b>45</b>
	(1) 葵区役所	46
	(2) 駿河区役所	48
	(3) 清水区役所	50
<b>5</b>	<b>観光交流文化局</b>	<b>53</b>
	(1) 文化・スポーツ活動支援事業	56
	(2) 駿州の旅日本遺産推進事業	57
	(3) 東海道歴史街道まち歩き推進事業(誘客促進)	58
	(4) 駿府城公園お堀の水辺活用事業	59
	(5) 地域連携DMO推進事業	60
	(6) ナイトツーリズム推進事業	61
	(7) 駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	62
	(8) 歴史文化施設建設事業	63
	(9) 歴史文化施設プレ事業	64
	(10) 市民参加型舞台公演事業	65
	(11) 「まちは劇場」推進事業	66
	(12) 賑わい創出イベント(春～冬フェス)	67
	(13) 国際文化交流事業	71
	(14) まちは劇場コンサート事業	72
	(15) まち劇スポット事業	73

(16) 史跡小島陣屋跡保存整備事業	74
(17) 三保松原保全活用事業	75
(18) 将棋・囲碁大会開催事業	76
(19) 清水エスパルス応援機運醸成事業	77
(20) オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	78
(21) 野球を活かしたまちづくり推進事業	79

## 6 環境局 81

(1) 地球温暖化対策推進事業	84
(2) 環境保健研究所建設事業	85
(3) 浄化槽設置整備事業費助成	86

## 7 保健福祉長寿局 87

(1) 地域包括ケアシステムの推進	90
(2) 認知症ケア推進体制整備事業	91
(3) 成年後見制度利用促進事業	92
(4) 生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	93
(5) 再犯防止相談支援事業	94
(6) はつらつスマイル推進事業	95
(7) 医療的ケア児等コーディネーター設置事業	96
(8) 障害者災害時体制強化事業	97
(9) しぞ〜かでん伝体操の普及啓発(介護保険普及啓発事業)	98
(10) 福祉施設における新型コロナウイルス対策支援	99
(11) 新型コロナウイルス感染症対策事業	100
(12) 新型コロナウイルスワクチン接種事業	101
(13) 地域医療体制確保のための支援	102
(14) がん対策推進事業	103
(15) 清水区脳梗塞予防実証実験事業	104
(16) Lifeを守る自殺予防事業	105

## 8 子ども未来局 107

(1) 不妊治療費助成事業	110
(2) 産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	111
(3) 保育士の確保対策	112
(4) 放課後児童クラブの整備・運営	113
(5) しずおかエンジェルプロジェクト・結婚新生活支援事業費助成	114
(6) インクルーシブ保育の推進①市立こども園医療的ケア児受入事業	115
(7) インクルーシブ保育の推進②私立こども園・保育等特別支援保育事業	116
(8) ひきこもり対策推進事業	117

## 9 経済局 119

(1) 圏域経済拡大支援事業	122
(2) 清水港後背地における地域経済の活性化検討事業	123
(3) 中小企業の課題解決による成長の促進	124

(4) 新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業	125
(5) プラモデル化計画に基づく「静岡市プラモデルプライドプロジェクト」	126
(6) 就職氷河期世代就職促進事業	127
(7) 清水港海づり公園整備事業	128
(8) 新興津地区浜道環境整備事業	129
(9) 農産物輸出促進基盤整備事業	130
(10) 農業収入保険加入費助成	131
(11) 「お茶のまち静岡市」推進事業	132
(12) 茶産地総合対策事業費助成	133
(13) 用宗漁港海岸胸壁整備事業	134
(14) 中山間地移住促進事業	135
(15) 静岡地域材活用促進事業	136

## 10 都市局 137

(1) 静岡都心地区まちなか再生事業・ウォークアブル推進事業	140
(2) 静岡型MaaS推進事業	141
(3) 公共交通幹線軸の運行再編事業	142
(4) 静岡駅南口駅前広場再整備事業	143
(5) 御幸町9番・伝馬町4番市街地再開発事業	144
(6) 大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	145
(7) 草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	146
(8) JR草薙駅北口駐輪場整備事業	147
(9) 麻機遊水地関連事業	148
(10) 鯨ヶ池周辺地区保全活用検討調査	149
(11) 日本平公園整備事業	150
(12) ブロック塀等耐震改修事業費助成	151
(13) 建物の耐震化事業費助成	152
(14) 要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成	153
(15) 公営住宅等整備事業	154
(16) 分譲マンション管理実態調査事業	155

## 11 建設局 157

(1) 道路ネットワークの整備	160
(2) 交通安全施設整備事業(自転車走行空間整備)	161
(3) 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修)	162
(4) 河川構造物耐震・津波対策事業	163
(5) 急傾斜地崩壊対策事業	164
(6) 地籍調査事業	165

## 12 消防局 167

(1) 消防庁舎施設保全事業	170
(2) 消防自動車等整備事業	171
(3) 消防団員確保対策事業	172
(4) 消防団施設整備事業	173

13 上下水道局	175
(1) 浸水対策推進プラン	178

14 教育局	179
(1) 静岡型ICT教育の推進	182
(2) 子どもの不安に寄り添う体制の充実1(学びの支援)	183
(3) 子どもの不安に寄り添う体制の充実2(こころの支援)	184
(4) 静岡型小中一貫教育の推進	185
(5) 外国につながる子どもたちの支援体制の充実	186
(6) 日本一おいしい学校給食の提供事業	187

「 新 た な 日 常 」  
へ の 対 応  
( コ ロ ナ 対 策 )

# 「新たな日常」への対応（コロナ対策）

## 【目標】

ポストコロナ時代に向けて「**Life（いのち）を守り、Life（くらし）を取り戻す**」をキーワードに、市民の安全・安心の確保、地域経済の活性化と賑わいの創出等に向けた取組と、「新たな日常」構築の原動力となるICTなどを活用する取組を推進する。

## いのち Lifeを守ろう

### ①市民の安全・安心の確保

54.6億円（うち2月補正25.8億円）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、医療・予防体制の強化、ポストコロナにおける福祉サービスの提供体制の強化に取り組む。

#### 感染拡大防止対策

市民への新型コロナウイルスワクチン接種の実施に向けた体制の整備や相談・検査体制の充実を図る。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・PCR検査、抗原検査等の行政検査自己負担額の助成



#### 医療・福祉の充実

公的病院等の新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の確保の支援や、胎児・新生児の健康等について不安を抱えている妊産婦に対する支援の実施など、感染症対策の支援等を行う。

- ・公的病院事業費助成（2月補正）
- ・市立病院事業費助成（2月補正）
- ・妊産婦総合対策事業（2月補正）



## くらし Lifeを取り戻そう

### ②地域経済の活性化と賑わいの創出、分散化社会への対応

16.7億円（うち2月補正 8.7億円）

「生活（くらし）のLife」を取り戻すため、消費活動の活性化や観光需要の喚起を目的とした支援、さらに移住、企業移転につなげるための支援や交流・共創の推進に取り組む。

#### 中小企業等への支援

中小企業等が事業を継続するための支援や、需要喚起のため、商業者、宿泊事業者が実施する取組への支援等を行う。

- ・しずち力空間活用社会実験事業
- ・中小企業への特別利子補給事業
- ・エール静岡飲食業界支援金（2月補正）
- ・地域消費促進事業費助成（2月補正）
- ・地域型宿泊誘客事業費助成（2月補正）

#### 首都圏からの移住・企業移転の推進

首都圏からの移住、企業移転を促進するため、新しい働き方体験の支援や受入体制を充実させるとともに、新たなビジネスの創出をねらった市内企業と学生・首都圏企業との交流・共創の場を提供する。

- ・まちごとテレワーク推進事業（2月補正）
- ・MoveToしずおか  
「新しいビジネス様式」支援事業（2月補正）  
「コ・クリエイションスペース」創出事業（2月補正）

### ③ICTなどを活用した社会の効率化

4.7億円（うち2月補正 3.6億円）

教育環境の充実や行政サービスの利便性の向上を図るため、新たな日常に対応したICT環境を整備する。

#### 教育環境の充実

ICTを活用した教育を強化するため、小中高等学校の学習系ネットワーク環境の整備やICT支援員の配置等、教育環境を整備する。

- ・静岡型ICT教育推進事業
- ・ICT教育環境整備事業（2月補正）
- ・学習用情報機器整備事業（2月補正）

#### 地域産業のIT化に向けた支援

成長意欲のある中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した成長を支援する。

- ・中小企業アクセラレーション支援事業（DX）



#### 行政のデジタル化推進

市民の行政サービス利便性の向上のため、行政手続きガイドの拡充や、スマートフォンなどの機器を使った体験会等を実施する。

- ・同報無線デジタル化整備事業（2月補正）
- ・行政サービス利便性向上事業（2月補正）

# 令和3年度 主な事業



No.	局名	課名	事業名	予算額 (千円)	ページ
<b>①市民の安全・安心の確保</b>				<b>54.6億円</b>	
1	保健福祉長寿局	保健予防課	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,387,000	101
2	保健福祉長寿局	保健予防課	行政検査自己負担額助成事業	168,697	100
3	保健福祉長寿局	保健予防課	PCRセンター運営事業	31,120	100
4	保健福祉長寿局	保健予防課	発熱等受診相談センター等支援事業	46,800	100
5	保健福祉長寿局	保健予防課	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2月補正 1,283,000	—
6	保健福祉長寿局	保健衛生医療課	病院事業助成	2月補正 596,000	—
7	子ども未来局	子ども家庭課	妊産婦総合対策事業	2月補正 96,208	—
8	危機管理総室	—	新型コロナウイルス感染症なんでも相談ダイヤル運営事業	2月補正 33,000	—
<b>②地域経済の活性化と賑わいの創出、分散化社会への対応</b>				<b>16.7億円</b>	
1	市長公室	広報課	しずチカ空間活用社会実験事業	20,000	25
2	経済局	産業振興課	新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業	666,171	125
3	企画局	企画課	リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究事業	4,564	33
4	環境局	環境創造課	戸建住宅におけるZEH化支援事業	15,000	84
5	都市局	都市計画課	静岡都心地区まちなかウォークアブル推進事業	13,600	140
6	経済局	商業労政課	エール静岡飲食業界支援金	2月補正 500,000	—
7	経済局	商業労政課	地域消費促進事業費助成	2月補正 120,000	—
8	観光交流文化局	観光・MICE推進課	地域型宿泊誘客事業費助成	2月補正 50,000	—
9	経済局	産業振興課	MoveToしずおか「コ・クリエーションスペース」創出事業	2月補正 25,840	—
10	企画局	企画課	まちごとテレワーク推進事業	2月補正 20,000	—
11	観光交流文化局	まちは劇場推進課ほか	賑わい創出イベント感染症対策事業費助成	2月補正 61,500	—
12	経済局	産業振興課	MoveToしずおか「新しいビジネス様式」支援事業	2月補正 12,260	—
<b>③ICTなどを活用した社会の効率化</b>				<b>4.7億円</b>	
1	教育局	教育センター	静岡型ICT教育推進事業	97,324	182
2	経済局	産業振興課	中小企業アクセラレーション支援事業（DX）	2,500	124
3	教育局	学校教育課ほか	ICT教育環境整備事業	2月補正 260,398	—
4	危機管理総室	—	同報無線デジタル化整備事業	2月補正 16,500	—
5	企画局	デジタル化推進課	行政サービス利便性向上事業	2月補正 5,200	—
6	企画局	アセットマネジメント推進課	新清水庁舎あり方検討事業	2月補正 12,000	—







# 5 大 構 想

## 1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

### 【目標】

徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールする。

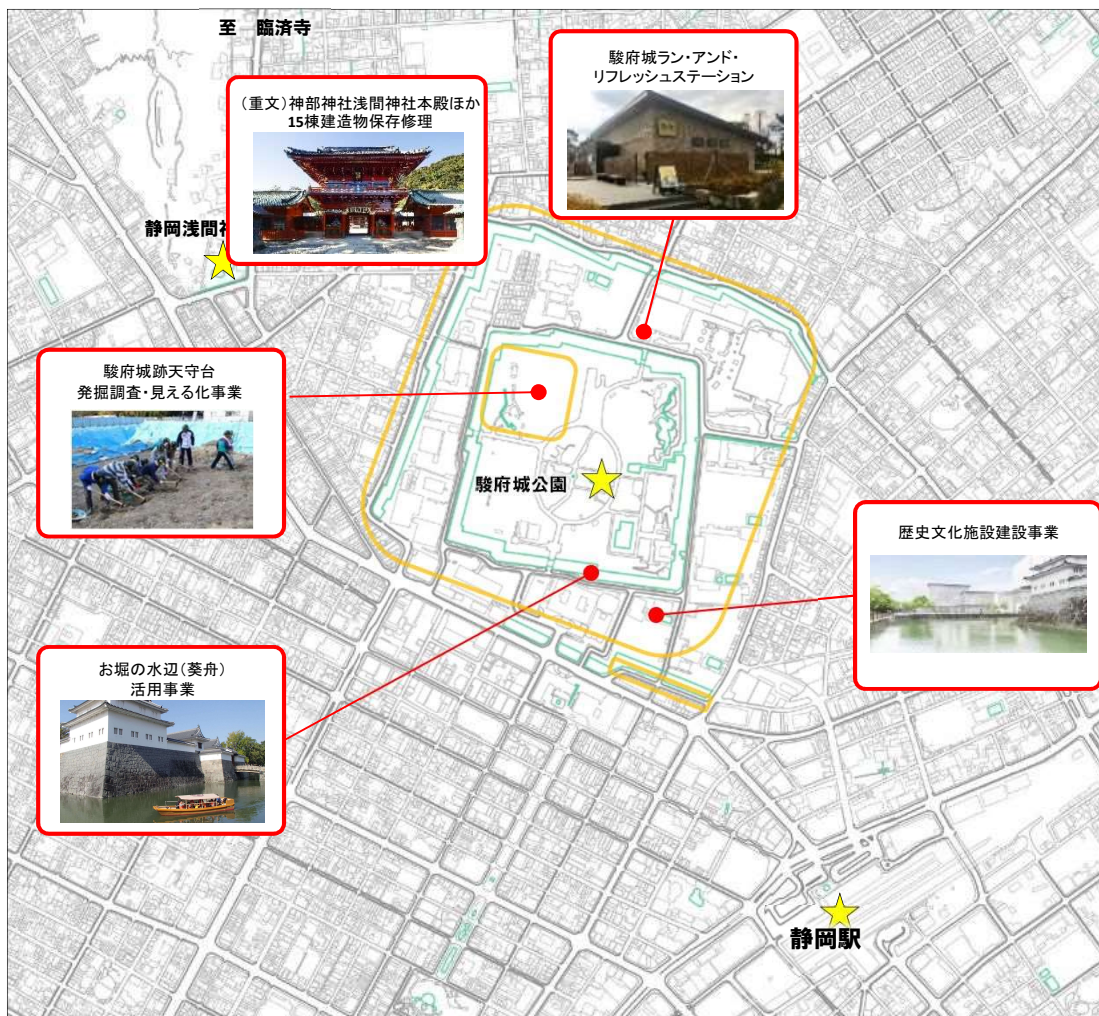
### 【方針】

#### ① 歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成

駿府城公園や浅間神社などの**歴史的資源**をみがきあげ、歴史を感じる空間を創ることにより、駿府城公園周辺エリアのブランド力を高め、静岡都心への**集客力**を高める。

#### ② 駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造

駿府城公園などの**歴史的施設**で、公共空間を活用した、地域資産の魅力を向上させる取組を行うことにより、市民の静岡都心への誇りと愛着を高め、「**まちなかライフ**」の楽しさを演出する。



# 1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

## 令和3年度 主な事業



44.2億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設建設事業	ハード	4,318,837	63
2	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	駿府城公園お堀の水辺活用事業	ソフト	10,173	59
3	観光交流文化局	観光・MICE推進課	新規	駿州の旅日本遺産推進事業	ソフト	4,950	57
4	観光交流文化局	観光・MICE推進課	拡充	東海道歴史街道まち歩き推進事業	ソフト	12,700	58
5	観光交流文化局 都市局	歴史文化課 公園整備課	継続	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	ソフト ハード	23,839	62
6	企画局	企画課	新規	(仮称) 葵歴史のまちづくりグランドデザイン策定 事業	ソフト	5,448	31
7	観光交流文化局	歴史文化課	拡充	歴史文化施設プレ事業	ソフト	10,435	64
8	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化推進事業	ソフト	2,428	—
9	観光交流文化局	文化財課	継続	(重文) 神部神社浅間神社本殿ほか15棟建造物 保存修理	ハード	30,000	—
10	観光交流文化局	文化財課	継続	駿府九十六ヶ町 町名碑設置事業	ソフト	2,220	—

## 2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

### 【目標】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

### 【方針】

#### ① 産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成

大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の創出や海洋人材の育成を図るとともに、清水港を活用した産業振興を促進することにより、国際海洋文化都市にふさわしい港町を形成し、地域経済の活性化を図る。

#### ② 「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生

清水都心ウォーターフロント地区において、新たな賑わい拠点を活かすための周遊性・回遊性の向上や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。





## 2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

### 令和3年度 主な事業



6.3億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港海づり公園整備事業	ハード	153,442	128
2	経済局	海洋文化都市 政策課	新規	農産物輸出促進基盤整備事業	ハード	10,000	130
3	経済局	海洋文化都市 政策課	新規	新興津地区浜道環境整備事業	ハード	5,000	129
4	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	駿河湾フェリー運航支援事業	ソフト	39,100	—
5	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港客船誘致事業	ソフト	24,000	—
6	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	海洋文化施設PFI事業再開準備支援事業	ハード	3,449	—
7	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	海洋文化都市普及促進事業	ソフト	2,800	—
8	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港港湾整備事業	ハード	371,209	—
9	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	デザイン会議等開催事業	ソフト	5,000	—
10	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	マグロのまち静岡推進事業	ソフト	583	—
11	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	みなとオアシス運営事業	ソフト	2,439	—
12	経済局	産業政策課	継続	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	11,900	—
13	企画局	アセットマネジメン ト推進課	新規	新清水庁舎整備事業 (新清水庁舎あり方検討事業)	2月補正 ハード	(12,000)	—

## 3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

### 【目標】

JR東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

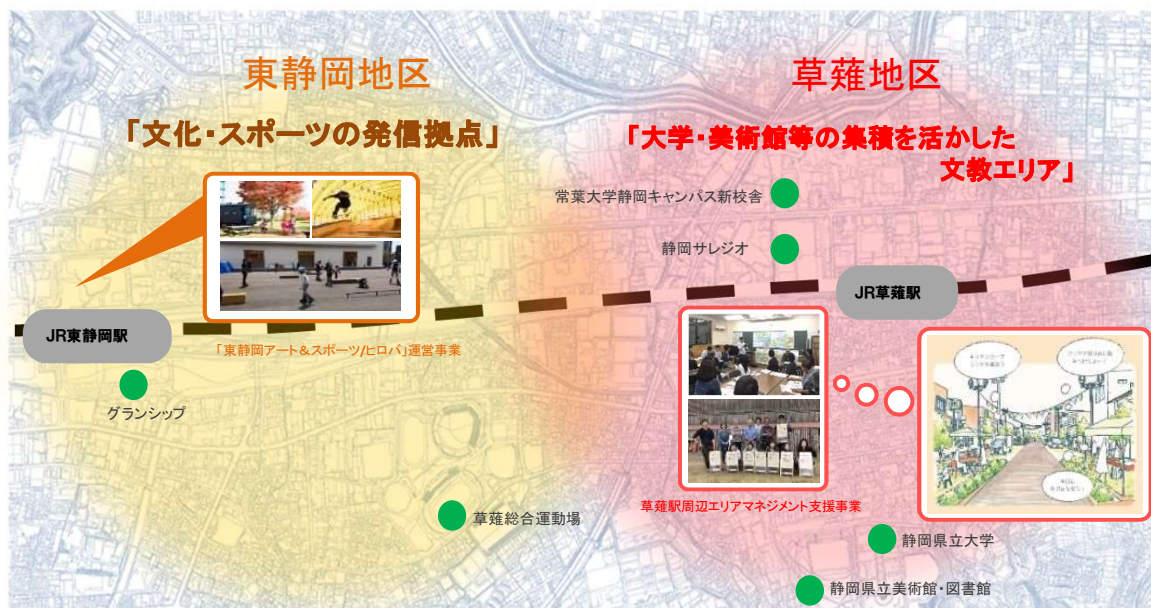
### 【方針】

#### ①教育文化の薫りが漂う都市空間の創造

文化スポーツの殿堂の整備を目指す東静岡地区と、大学や図書館、美術館などが集積し、文教エリアとしての特性を有する草薙地区に、教育文化の新たな価値を創造し、地域経済の活性化を果たす。

#### ②高等教育を始めとした学習機会の提供とシチズンシップに富んだ人材の養成

多様な高等教育を始め、生涯にわたって学習できる機会を充実させるとともに、積極的にまちづくりに関わろうとする公共意識を持った人材の養成や、市民参画を促す施策を進める。



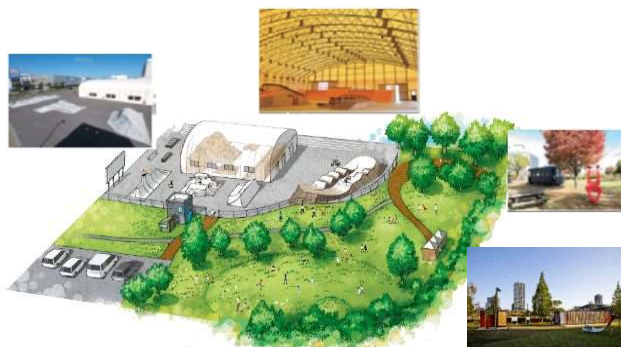
### 3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

令和3年度 主な事業



2.0億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	市民局ほか	生涯学習推進課 ほか	拡充	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	ソフト	20,657	41
2	都市局	清水駅周辺整備課	継続	草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	7,000	146
3	企画局	企画課	継続	東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業	ソフト	31,340	36
4	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動支援システム運用等業務	ソフト	2,839	—
5	都市局	清水駅周辺整備課	継続	JR草薙駅北口駐輪場整備事業	ハード	115,000	147
6	都市局	都市計画課	継続	市道中之郷9号線整備事業	ハード	10,000	—
7	都市局	都市計画課	継続	(都)草薙駅通線整備事業	ハード	10,000	—



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ



専門課程  
多文化共生サポーター養成講座

## 4 「健康長寿のまち」の推進

### 【目標】

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

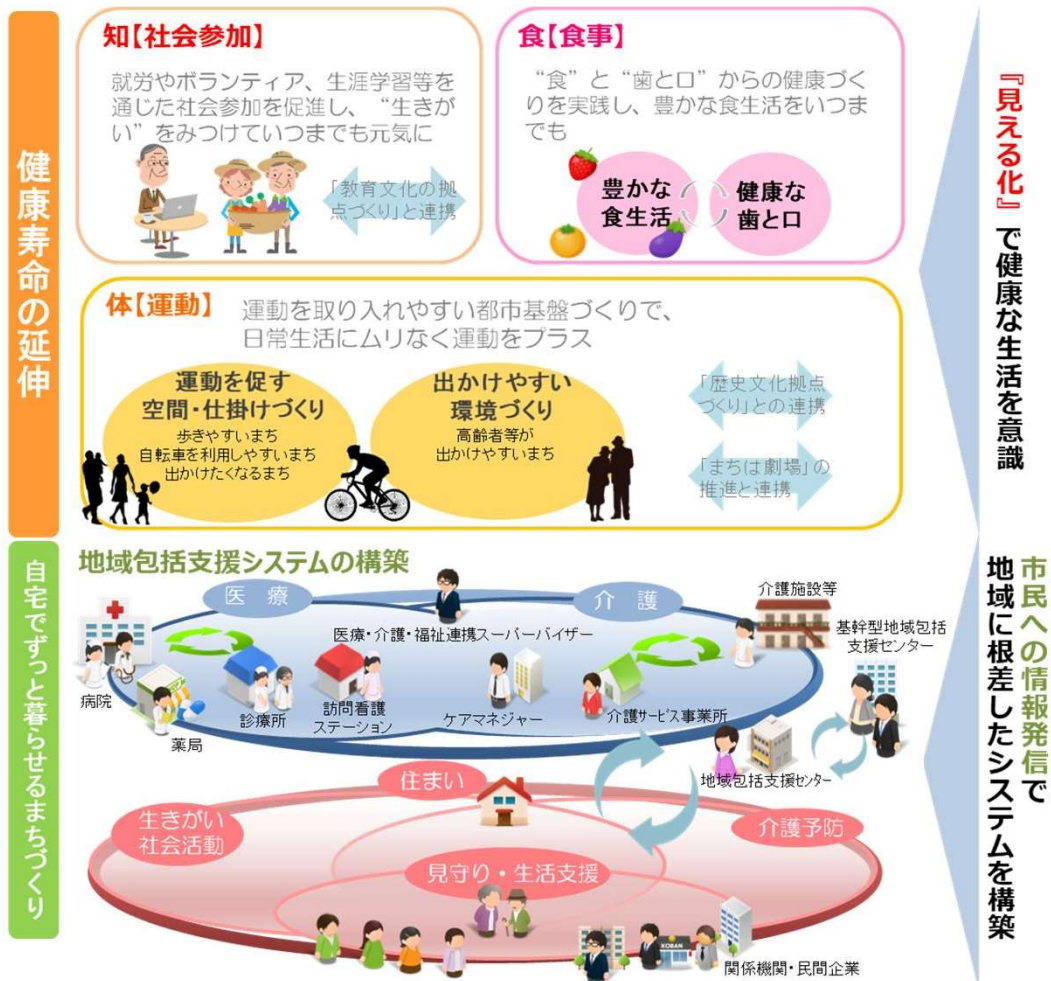
### 【方針】

#### ①健康寿命75歳への延伸

徳川家康公の**健康長寿**の秘訣と言われる“知への好奇心（社会参加）”、“食事”、“運動”を柱として、市民一人ひとりが、これらを日常的に取り入れやすい都市環境づくりと市民の**自発的**な健康づくりの支援を推進する。

#### ②自宅ですっと暮らせるまちづくり

自宅ですっと暮らせるまちの実現に向け、医療・介護等の専門職や地域の市民の連携により、切れ目のない医療・介護や介護予防、生活支援といった**支援の体制**を構築するとともに、市民に積極的に情報発信することで、地域に根差した**静岡型地域包括ケアシステム**の構築を目指す。





## 4 「健康長寿のまち」の推進

### 令和3年度 主な事業



15.0億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	地域ケア会議推進事業 「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業 地域包括支援センター運営事業 生活支援体制整備事業	ソフト	1,016,601	90
2	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症ケア推進体制整備事業	ソフト	24,541	91
3	保健福祉長寿局	保健衛生医療課	新規	清水区脳梗塞予防実証実験事業	ソフト	28,030	104
4	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置 事業	ソフト	8,798	—
5	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業	ソフト	1,355	—
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症疾患医療センター運営事業	ソフト	10,222	—
7	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症初期集中支援推進事業 認知症地域支援・ケア向上事業 認知症高齢者見守りシステム事業 徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業	ソフト	10,735	—
8	保健福祉長寿局	福祉総務課ほか	拡充	成年後見制度利用促進事業	ソフト	49,643	92
9	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	S型デイサービス事業	ソフト	71,834	—
10	保健福祉長寿局	地域リハビリテー ション推進センター	継続	しぞ〜かでん伝体操の普及啓発 (介護予防普及啓発事業)	ソフト	60,380	98
11	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	継続	しずおかハッピーシニアライフ事業	ソフト	830	—
12	保健福祉長寿局	介護保険課	継続	元気いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	62,608	—
13	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	17,926	93
14	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	高齢者就労促進事業	ソフト	30,000	—
15	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	新規	はつらつスマイル推進事業	ソフト	528	95
16	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	特定健康診査受診率向上対策事業	ソフト	3,731	—
17	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	糖尿病性腎症重症化予防事業	ソフト	3,540	—
18	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	しずおかカラダにeat75事業	ソフト	1,297	—
19	保健福祉長寿局	精神保健福祉課 こころの健康センター	新規	Lifeを守る自殺予防事業	ソフト	2,037	105
21	経済局	商業労政課	拡充	企業OB等による中小企業支援	ソフト	10,734	—
22	都市局	交通政策課	継続	自転車活用推進計画推進事業	ソフト	7,107	—
23	都市局	交通政策課	継続	地域交通弱者対策事業	ソフト	4,148	—
24	教育局	学校給食課	継続	日本一おいしい学校給食の提供事業	ソフト	74,270	187

## 5 「まちは劇場」の推進

### 【目標】

本市に根付いた大道芸や演劇、音楽などの芸術文化の持つ創造性を活かし、誰もが気軽に楽しむことができる仕掛けづくりを通じて、市民の芸術文化等の創造活動への参加や活動を促すことで、市民が主役のまちづくりを進め、シビックプライドの醸成及び交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。

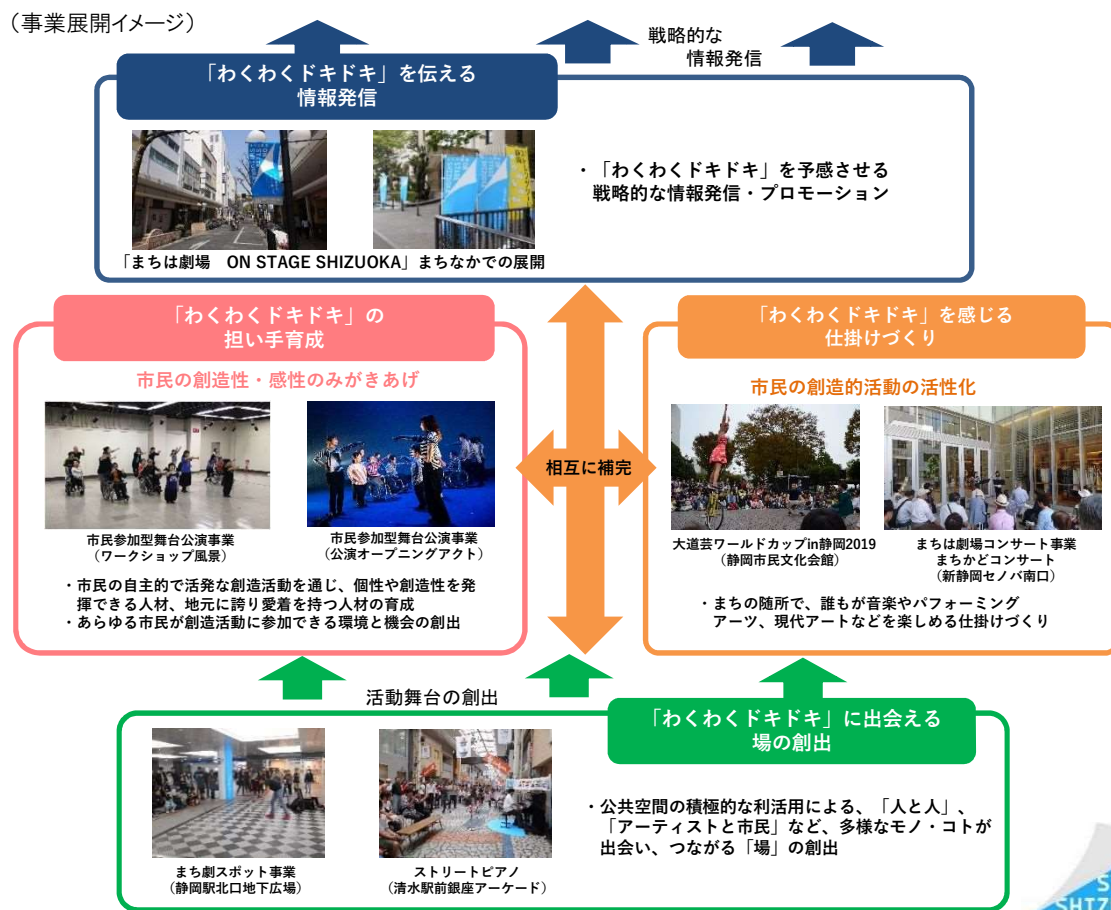
### 【方針】

#### ①わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成

まちに来るたびに「わくわくドキドキ」を感じられるコンテンツ（仕掛け）づくりと共に、市民の創造活動を支援・活性化することで担い手としての人材を育成し、まち全体の魅力を向上させることで、市民満足度の向上と市外からの来訪者の増加を図る。

#### ②公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信

公共空間（まちかど）でのパフォーマンスの「舞台」を創出し、大道芸や音楽、演劇、ダンス等の芸術文化に身近に触れる機会を増やすと共に、本市の取組を戦略的に情報発信することで、一般の来訪者、アーティスト等誰にとっても「行ってみたいまち」となることを目指す。



## 5 「まちは劇場」の推進

令和3年度 主な事業



7.2億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	「まちは劇場」推進事業	ソフト	41,610	66
2	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	賑わい創出イベントの推進	ソフト	539,015	67 ～ 70
3	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	まちは劇場コンサート事業 まち劇スポット事業	ソフト	32,531	72 73
4	観光交流文化局	観光・MICE推進課	拡充	ナイトツーリズム推進事業	ソフト	23,300	61
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	国際文化交流事業	ソフト	11,105	71
6	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	市民参加型舞台公演事業	ソフト	5,700	65
7	経済局	産業政策課	継続	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター 運営事業	ソフト	26,530	—
8	子ども未来課	青少年育成課	継続	静岡市成人式開催事業	ソフト	10,325	—
9	経済局	商業労政課	継続	中心市街地活性化推進事業	ソフト	8,441	—
10	経済局	商業労政課	継続	プレミアムフライデー推進事業	ソフト	4,200	—
11	経済局	商業労政課	継続	学生と連携した商店街振興事業	ソフト	746	—
12	都市局	都市計画課	拡充	静岡都心地区まちなかウォークラブル推進事業	ソフト	13,600	140
13	建設局	道路計画課	新規	道路空間活用方針策定業務	ハード	(4,000)	—



# 国 土 強 韌 化

## 【目標】

大規模自然災害などの様々な危機を直視し、従来の「防災、減災」の範囲を超えて、国土政策・産業政策も含めた総合的な対応を行っていくため、令和2年11月に策定した「静岡市国土強靱化地域計画」における**事前に備えるべき目標**に基づき、**ソフト・ハードの取組を推進**していく。

### 事前に備えるべき目標【9目標】

- 1 大規模自然災害が発生した時でも、人命の保護が最大限図られる。
- 2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる。
- 3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する。
- 4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する。
- 5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない。
- 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最小限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る。
- 7 制御不能な二次災害を発生させない。
- 8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する。
- 9 防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくり

## ① 防災・減災

地震や風水害などの自然災害に備えた防災訓練や建物の耐震化など、市民や地域の自主防災組織などが行う自助・共助の取組等を主に推進していく。

### 1 大規模自然災害が発生した時でも、人命の保護が最大限図られる。

- ・ 感震ブレーカー設置推進事業
- ・ 建物の耐震化事業費助成
- ・ ブロック塀等耐震改修事業費助成
- ・ 津波避難誘導設備設置事業
- ・ 津波避難ビル整備事業補助金
- ・ 自主防災活動支援事業
- ・ 同報無線デジタル化整備事業（2月補正）



## ② 社会基盤整備

あらゆる大規模自然災害を想定し、人命の保護や維持すべき重要な機能が守られるよう、主に道路や河川などの重要なライフラインを強化、整備していく。

- ・ 用宗漁港海岸胸壁整備事業
- ・ 河川構造物耐震・津波対策事業
- ・ 浸水対策推進プラン
- ・ 土砂災害等防止対策事業（公園）
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業



### 2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる。

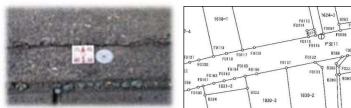
- ・ 防災必需品備蓄事業費
- ・ 消防団員確保対策事業
- ・ 要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成



- ・ 橋りょう整備事業  
（道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修）
- ・ （国）1号静清バイパスの整備促進
- ・ 道路新設改良事業（2月補正）
- ・ 街路整備事業（2月補正）
- ・ 交通安全施設整備事業（2月補正）

### 8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する。

- ・ 地籍調査事業



### 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最小限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る。

- ・ 道路舗装整備事業
- ・ 道路自然災害防除事業（法面对策）
- ・ 道路付属施設更新事業

### 適切な組合せ

初期の災害が最悪の事態に展開してしまうことを阻止していくことにより…

「安全・安心をみんなで創る、  
強くしなやかなで持続可能なまち」の実現

いのち  
Lifeを守ろう  
くらし  
Lifeを取り戻そう



静岡市



# 国土強靱化（防災・減災、社会基盤整備）

～安全・安心をみんなで創る、強くしなやかなで持続可能なまち～

## 令和3年度 主な事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	令和3年度 当初予算額 (千円)	ページ
①防災・減災					4. 4億円	
1	危機管理総室	-	拡充	自主防災活動支援事業	77,000	26
2	都市局	建築指導課	継続	建物の耐震化事業費助成	185,582	152
3	危機管理総室	-	継続	津波避難誘導設備設置事業	2,665	-
4	危機管理総室	-	継続	感震ブレーカー設置推進事業	13,500	-
5	危機管理総室	-	継続	防災必需品備蓄事業費	35,109	-
6	危機管理総室	-	継続	津波避難ビル整備事業補助金	10,000	-
7	都市局	建築指導課	継続	ブロック塀等耐震改修事業費助成	23,000	151
8	都市局	建築指導課	継続	要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成	20,330	153
9	建設局	建設政策課	継続	地籍調査事業	49,434	165
10	消防局	警防課	継続	消防団員確保対策事業	2,966	172
11	危機管理総室	-	継続	同報無線デジタル化整備事業	2月補正 16,500	-
②社会基盤整備					142.1億円	
1	建設局	道路計画課	継続	道路ネットワークの整備（（国）1号静岡バイパスの整備促進）	2,266,667	160
2	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課	継続	浸水対策推進プラン	3,261,317	178
3	経済局	水産漁港課	継続	用宗漁港海岸胸壁整備事業	81,200	134
4	都市局	公園整備課	継続	土砂災害等防止対策事業（公園）	130,000	-
5	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業（道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修）	2,967,453	162
6	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震・津波対策事業	72,000	163
7	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	93,988	164
8	建設局	道路保全課	継続	道路舗装整備事業	1,596,100	-
9	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業（法面对策）	850,216	-
10	建設局	道路保全課	継続	道路附属施設更新事業	165,000	-
11	建設局	道路計画課	継続	道路新設改良事業	2月補正 545,000	-
12	建設局	道路計画課	継続	街路整備事業	2月補正 507,400	-
13	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業	2月補正 156,000	-



津波避難誘導設備設置事業



用宗漁港海岸胸壁整備事業



(主) 清水富士宮線（庵原～伊佐布）





市 長 公 室

危 機 管 理 總 室

# 市長公室・危機管理総室 当初予算のポイント

～令和4年度（2022年度）の目指す姿～

## 〈市長公室〉世界に輝く静岡の実現

トップマネジメント機能の発揮と政策の戦略性・情報発信の強化に向けた取組により、第3次静岡市総合計画を強力に推進する。



### ～令和3年度の主な取組～

ポストコロナを見据え、外部には移住・定住を促進するような、また、内部には地域経済の活性化や地域の良さを再発見してもらえよう、静岡市の魅力が最大限に「伝わる」PR・プロモーションを展開します。

- I 重点政策広報の推進
- II シティプロモーションの推進
- III 5市2町交流人口の増加促進

#### I 重点政策広報の推進

【新規】◇“歴史文化のまち”実現に向けた情報発信等（20,000千円）

第3次静岡市総合計画に掲げる目指す都市像のひとつである「歴史文化のまち」というイメージの向上に資するためのPR・プロモーションを行う。

また、効果的に静岡市の魅力を伝えるために「ナンバーワン・オンリーワン・5本の指に入る」「発祥の地」といった地域資源の情報（静岡市はいいねえ情報）を整理し、発信する。

#### II シティプロモーションの推進

【新規】◇しずチカ空間活用社会実験事業（20,000千円）

「しずチカ」の目指す姿「市民や市外から訪れた人が集い、新しい価値と賑わいを産み出す『情報発信ステーション』」の実現のため、社会実験を行い、必要な機能などを検証していく。

【新規】◇静岡市フェアの開催（3,000千円）

首都圏におけるシティプロモーションの強化のため、地方創生連携協定を締結している、（株）コジマ及びグループ会社のビックカメラの首都圏店舗にて、静岡市をPRするイベントを実施する。

◇WeWorkの活用（1,984千円）

コミュニティ型ワークスペース「WeWork」を活用し、イベントの開催や、WeWork会員専用アプリ等での情報発信を行い、首都圏でのシティプロモーションの強化を図る。 ※経済局と連携実施

#### III 5市2町交流人口の増加促進



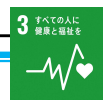
◇中部5市2町イベントニュースの発行等（47,700千円）

中部連携中枢都市圏域内の交流人口増を目指し、「中部5市2町イベントニュースGOTO」を発行（年4回）し、ウェブサイトへ掲載するほか、アプリを活用したスタンプラリーを実施する。

## ～令和4年度（2022年度）の目指す姿～

### 〈危機管理総室〉災害に強く安全・安心なまち

あらゆる災害の発生を想定し、人命の保護が最大限に図られ、地域社会の重要な機能が維持できるよう、日頃からの備え、事前対策の強化を行い、「災害に強く安全・安心なまち」を実現する。



### ～令和3年度の主な取組～

災害時の被害を最小限に留めるため、ポストコロナを見据えた「自助・共助・公助」の力を高めるための取組を行うとともに、コロナ禍における市民の安全・安心の確保のための取組を行います。

- I 自助に関する取組      II 共助に関する取組      III 公助に関する取組  
IV 新型コロナウイルス感染症対策に関する取組

#### I 自助に関する取組

◇感震ブレーカー設置費助成（13,500千円）

地震発生時の住宅火災等の発生を抑制するため、感震ブレーカー設置に対する助成を行う。

◇洪水ハザードマップ作成（10,000千円） **2月補正**

静岡県が新たに指定した足久保川・藁科川上流の洪水浸水想定区域について、ハザードマップを作成することにより迅速に市民へ周知し、洪水災害による人的・物的被害の軽減を図る。

#### II 共助に関する取組

【**拡充**】◇自主防災組織への助成（77,000千円）

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対する防災資機材等（感染症対策資機材を含む）の購入支援を行う。

◇津波避難ビル整備費補助（10,000千円）

津波から安全で円滑な避難を図るため、外付け階段等、避難ビル整備に対する助成を行う。

◇水防団活動環境整備（5,598千円）

大雨による河川の増水を警戒し、被害を最小限とするため、水防団活動を推進する。



#### III 公助に関する取組

◇防災必需品の備蓄（35,109千円）

指定避難所等に避難した市民に必要な物資を供給するため、食料や毛布を備蓄する。

【**新規**】◇同報無線デジタル化の推進（16,500千円） **2月補正**

防災情報の伝達性向上のため、基本設計を行う。



#### IV 新型コロナウイルス感染症対策に関する取組

【**拡充**】◇自主防災組織への助成（77,000千円）（再掲）

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対する防災資機材等（感染症対策資機材を含む）の購入支援を行う。

【**新規**】◇避難所における新型コロナウイルス感染症対策（1,300千円） **2月補正**

指定避難所等の感染症対策強化のため、携帯トイレの備蓄を拡充する。



【**新規**】◇新型コロナウイルス感染症なんでも相談ダイヤル運営（33,000千円） **2月補正**

新型コロナウイルス感染症に関する問合せに総合的に対応するコールセンターの設置を令和3年度も継続する。※保健福祉長寿局、経済局から移管

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,000				20,000
前年度予算額					

## 目的

発信する情報のベクトルを揃え、職員の広報力を向上させることで、静岡市のために行動する人を増やし、「世界に輝く静岡」を実現する。

## 事業概要

- 1 “歴史文化のまち” 実現に向けた情報発信  
第3次静岡市総合計画の目指す都市像のひとつである“歴史文化のまち”の実現を目指し、世界文化遺産「三保松原」や国宝「久能山東照宮」をはじめとする葵区・駿河区・清水区に点在する様々な歴史文化スポットの魅力メディアミックス(主はテレビ)で情報発信
- 2 “静岡市はいいねえ” 情報の整理・発信  
静岡市の魅力をより効果的に伝えるために、静岡市の「ナンバーワン・オンリーワン・5本の指に入る」「発祥の地」といった地域資源の情報(静岡市はいいねえ情報)を整理し、発信

## 歴史文化スポットの例



## 地域資源の例



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,000	10,000			10,000
前年度予算額					

## 目的

JR静岡駅北口地下空間「しずチカ」を、静岡市らしさや本市の魅力を感じてもらえる空間にしていく。

## 事業概要

## しずチカ空間活用社会実験

本市の玄関口であり、JR静岡駅に直結する「しずチカ」の目指す姿「市民や市外から訪れた人が集い、新しい価値と賑わいを産み出す『情報発信ステーション』」の実現に向け、必要な機能などを社会実験を通じて検証していく。

## ○社会実験の内容

- ・賑わいを創出するためのカフェ・休憩所の設置
- ・まち歩きや市内観光をサポートする情報の発信
- ・イベント広場の催しと連動した空間の一体的活用
- ・試食・試飲・体験等を通じた地場産品等の販売促進・テストマーケティング

## 【社会実験第一弾「しずチカ茶店 一茶Seasonal」(R2.10.16~11.15)の様子】



喫茶一茶で新しいお茶の楽しみ方を提案



ハニカムスクエアと同じデザインの椅子を設置。一茶テイクアウト利用者が休憩に利用



オープニングでは、静大よさこいサークルが踊りを披露



事業者支援の試みとして、テイクアウト弁当を販売



【拡充】

自主防災活動支援事業

危機管理総室（危機管理課）

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	77,000	25,666			51,334
前年度予算額	50,000	16,666			33,334

目的	地域防災力の向上を図ることを目的とする。
----	----------------------



事業概要	大規模地震等の災害に備え、自主防災組織に対して防災資機材の購入費等を助成する。
	<p>○対象 自主防災組織</p> <p>○補助内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災倉庫設置費助成 補助率1/2以内 上限額30万円</li> <li>・ 防災倉庫用地借地料助成 補助率1/2以内 上限額5万円</li> <li>・ 防災資機材等購入費助成 補助率1/2以内 上限額20万円 (感染症対策資機材を含む) <b>拡充</b></li> <li>・ 可搬消防ポンプ本体購入費助成 補助率10/10 上限額40万円</li> <li>・ 可搬消防ポンプ用資機材購入費助成 補助率1/2以内 上限額20万円</li> <li>・ 避難路等整備事業費助成 補助率1/2以内 上限額30万円</li> </ul>



防災倉庫設置費助成



(発電機)

防災資機材等購入費助成



(非接触型体温計)

防災資機材等購入費助成  
(感染症対策資機材)



可搬消防ポンプ購入費助成

# 企 画 局

# 企画局 当初予算のポイント

## 令和4年度(2022年度)の目指す姿

～SDGsの視点を組み込んだ「世界水準の都市 静岡市」の実現に向けた体制確立～

取組の柱

I 3次総の推進と  
4次総の策定に向けた検討着手

II 地方創生・SDGsの推進

III 広域連携の推進

IV アセットマネジメントの推進

V 「行政のデジタル化」の推進



## 令和3年度の主な取組

### I 3次総の推進と4次総の策定に向けた検討着手 59,183千円

#### ①【新規】第4次総合計画策定検討業務

令和5年度からスタートする第4次総合計画の策定に向けた検討を進める。

・有識者ヒアリング ・市民意向調査 ・その他各種基礎調査等

#### ②【新規】(仮称)葵歴史のまちづくりグランドデザイン策定事業

「歴史文化の拠点」にふさわしいまちづくりを進めていくためのグランドデザインを策定する

・グランドデザイン策定検討 ・先進都市視察

#### ③【新規】サッカースタジアム構想づくりに向けた基礎調査

「サッカーのまち」にふさわしいサッカースタジアム検討のための基礎調査を実施する。

・IAIスタジアム日本平の現状整理 ・他のスタジアム調査 ・国、Jリーグ等の動向の整理

#### ④【拡充】リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究事業

リニア中央新幹線の開業に伴う本市への影響とその対策について、官民連携により調査・研究を行う。

・各種調査等の実施 ・研究会の運営



第3次静岡市総合計画

### II 地方創生・SDGsの推進 165,433千円(うち2月補正29,855千円)

#### 1 SDGsの推進 ～「周知」から「実践」のステージへ～

##### ①【新規】SDGs連携加速化支援事業 ※2月補正予算で実施

SDGsを推進するステークホルダー間の連携強化により、新たな価値を創造する機会の創出を図る。

・(仮称)SDGs連携アワードの創設 ・シンポジウムの開催

##### ②【拡充(一部組替)】静岡市SDGs推進事業

「SDGs未来都市」及び「SDGsハブ都市」として、SDGsを推進する。

・TGCLしずおか2022及び連携事業の開催 ・情報発信強化 等

##### ③【継続】SDGs国際会議開催準備経費

令和4年度の国際会議開催に向けた準備のため、国連関係者等との調整を実施する。

・国連及び他ハブ都市との調整等



静岡市SDGs推進シンポジウム(2020.1)



SDGs推進 TGC SHIZUOKA 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION (2020.1)

#### 2 人口活力の維持 ～「移住促進」、「関係人口創出」を一体的に推進～

##### ①【拡充】まちごとテレワーク推進事業 ※一部2月補正予算で実施

首都圏からの移住・移転を促進するため、官民連携によりテレワーク環境を拡充し、まち全体で受入基盤の強化を図る。

・地域おこし協力隊の活用(R3当初) ・お試し体験プログラムの拡充(2月補正)  
・マーケティング戦略に基づくプロモーション(2月補正)



お試し体験プログラム

##### ②【継続】新幹線通学費貸与事業

市内在住で県外の大学等に新幹線通学をする学生を対象に新幹線通学定期券代の一部を貸与し、若者の定住の促進及び地域社会の人材の確保を図る。

・通学費の貸与 ・地元高校生及び既卒者への周知



新幹線通学費貸与事業



### Ⅲ 広域連携の推進 231,997千円

#### しずおか中部連携中枢都市圏事業(企画局所管分)

- ①[継続] 大学連携事業  
地域課題の解決のため、大学と連携したの研究を行う。
- ②[継続] 移住促進事業  
圏域への移住促進のため、首都圏の移住フェアへの出展、移住体験ツアーの開催及びウェブサービスを利用した移住希望者とのマッチングを行う。
- ③[継続] 静岡中部サイクルツーリズム推進事業  
サイクルツーリズムの推進のため、圏域を周遊するサイクルイベントを開催する。



しずおか中部連携中枢都市圏

### Ⅳ アセットマネジメントの推進 27,440千円(うち2月補正12,000千円)

- ①[新規] 静岡市アセットマネジメント基本方針改定支援業務  
アセットマネジメントの更なる推進のために必要な取組を検討すると共に、感染症対策や行政のデジタル化等を踏まえた今後の公共施設のあり方に関する動向を整理し、基本方針を改定する。
- ②[継続] アリーナ誘致推進業務  
都市の求心力を高め、交流人口の増加、賑わい創出及び地域経済の活性化を図るため、その効果が期待されるアリーナの整備・運営を民間事業者主導により目指す。  
・プロジェクトシミュレーションの実施 ・講演会の開催 ・市場調査
- ③[継続] 新清水庁舎あり方検討事業 ※2月補正予算で実施  
ポストコロナ時代を見据えた未来の庁舎のあり方を調査し、現計画の見直しの判断材料とする。

### Ⅴ 「行政のデジタル化」の推進 11,645千円(全て2月補正)

#### 1 行政サービス利便性の向上 ～ポストコロナ時代に対応した行政サービスを展開～

- ①[拡充] 行政手続ガイドの拡充 ※2月補正予算で実施  
窓口業務の更なるデジタル化を図るため、手続ガイドに福祉・子育ての項目を追加する。
- ②[新規] 市民の情報リテラシー向上事業 ※2月補正予算で実施  
行政のデジタル化の利便性を全ての世代で享受できる環境づくりのため、主に高齢者等の情報リテラシー向上を目指した取組を行う。 ※市民局及び保健福祉長寿局と連携



#### 2 働き方改革の推進

- ①[拡充] 新技術実装推進 ※2月補正予算で実施  
時間の効率化、生産性向上のため、RPAツールによる作業の効率化を図る。



### 2030年に向けて～3次総から4次総へ～

第3次総合計画								第4次総合計画							
前期計画				後期計画				前期計画				後期計画			
2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和1)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)

**3次総のまちづくりの目標**  
**「世界に輝く静岡」の実現**

～世界に存在感を示す3つの都心づくり～  
歴史文化の拠点づくり | 海洋文化の拠点づくり | 教育文化の拠点づくり

～生活の質を高める2つの仕組みづくり～  
「健康長寿のまち」の推進 | 「まちは劇場」の推進

世界共通のものさしである「SDGs」の視点を  
5大構想に組み込む

**SDGs** 世界共通のものさし (2016～2030)

3次総の取組を発展的に継承し、  
4次総を推進していく

SDGsの目標達成年度

第4次総合計画策定検討業務

企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額					

**目的**  
令和5年度からスタートする第4次総合計画の策定に向けて、有識者ヒアリング、市民意識の調査や、本市に係る基礎データの調査分析等の基礎的な検討を行う。



**事業概要**  
第4次総合計画において想定される課題等を把握するため、有識者へのヒアリングや、オープンハウスによる市民の意識調査、本市に係る基礎データの調査分析等を実施する。

○実施内容

- ・有識者ヒアリング  
各分野の有識者へのヒアリング、意見聴取の実施
- ・市民意識調査  
オープンハウスの開催
- ・その他各種基礎調査等  
本市に係る基礎データの調査分析 など

○スケジュール

- ・令和3年度 調査・分析、検討
- ・令和4年度 策定

【参考】第3次静岡市総合計画

**「世界に輝く静岡」の実現**

第3次静岡市総合計画

**基本構想**  
将来を展望して目標や都市像を明らかにするもの

**基本計画**  
基本構想に基づき実施する政策・施策の体系を明らかにするもの

**実施計画**  
基本計画に定められた施策を履践する事業を定めるもの

**「世界に輝く静岡」の実現**  
歴史文化のまち  
健康長寿のまち

**重点プロジェクト**  
1 歴史都市  
2 文化都市  
3 中核都市  
4 健康都市  
5 防災都市  
6 共生都市  
7 観光・交流  
8 農林水産  
9 文化・スポーツ  
10 子ども・教育  
11 都市・交通  
12 社会基盤  
13 健康・福祉  
14 防災・消防  
15 生活・環境

**5大構想**  
● 歴史文化の拠点づくり  
● 海洋文化の拠点づくり  
● 教育文化の拠点づくり  
● 「健康長寿のまち」の推進  
● 「まちは劇場」の推進

**総合戦略**  
● 暮らしやすい魅力的な「まち」をつくる  
● 新しい「ひと」の活躍の場をつくる  
● 「ひと」が育つ環境をつくる  
● 暮らすことができる「しごと」をつくる

**8大戦略**  
第1 序説  
第2 5大構想  
第3 重点プロジェクト  
第4 分野別の基本的な方向性  
第5 各分野の政策・施策を推進するための視点  
第6 行政区別事業計画  
第7 総合戦略  
第8 財政シミュレーション

(仮称) 葵歴史のまちづくりグランドデザイン策定事業 企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,448				5,448
前年度予算額					

**目的**  
 静岡都心において、「歴史文化の拠点」にふさわしいまちづくりを進めることで、来訪者の増加による地域活性化と、市民のシビックプライド※の醸成を図る。  
 ※シビックプライド…都市に対して市民が持つ誇り

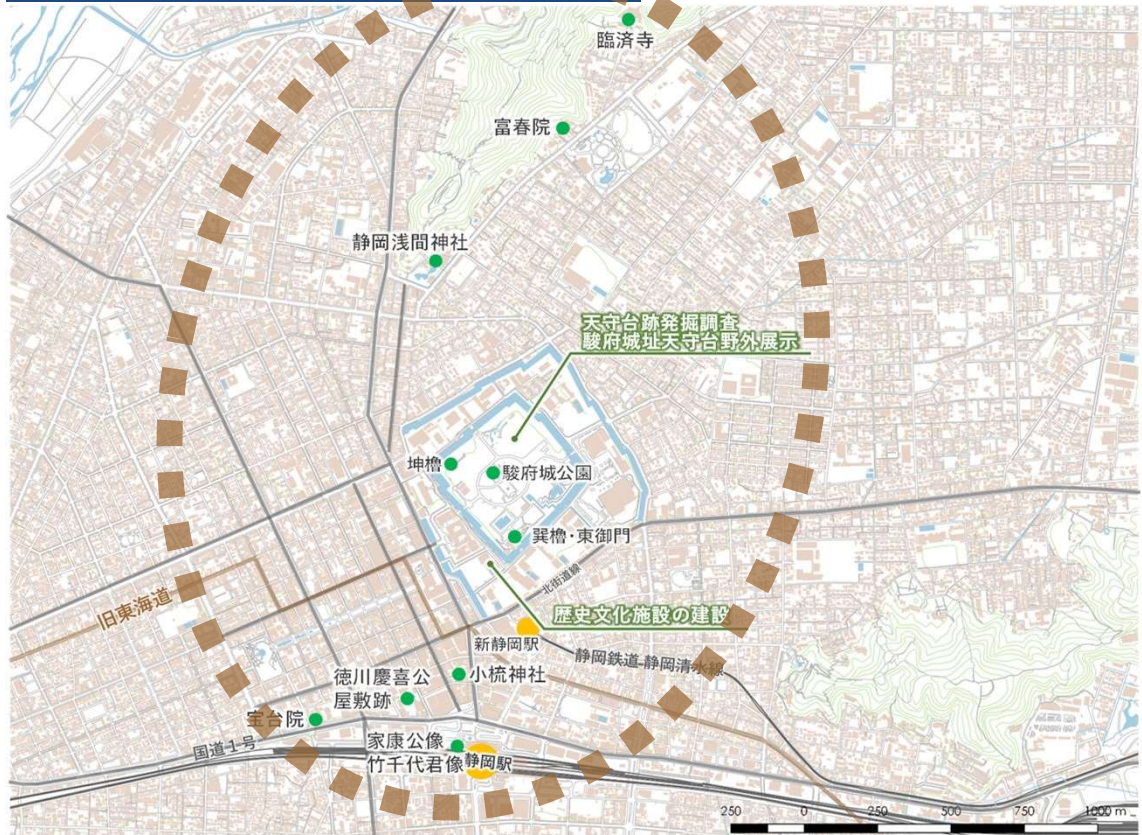


**事業概要**  
 静岡都心において、先人が築き上げてきた歴史的資産を継承・活用した「歴史文化の拠点」にふさわしいまちづくりを進めていくためのグランドデザインを策定する。  
 グランドデザインの検討にあたっては、有識者等を委員として構成する(仮称)葵歴史のまちづくりグランドデザイン検討会において議論を行う。

○実施内容

- ・「歴史文化の拠点」にふさわしいまちづくりの考え方、コンセプト、必要な機能等の検討
- ・関係団体との協議、情報共有 など

(仮称) 葵歴史のまちづくりグランドデザイン  
 想定対象エリア





## サッカースタジアム構想づくりに向けた基礎調査

企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,000				3,000
前年度予算額					

目的	「サッカーのまち」にふさわしいサッカースタジアム検討のための基礎調査を実施する。
----	--



事業概要	<p>本市の現状整理や他都市事例の調査等を実施し、施設規模や整備手法、立地可能性箇所等の検討を行うために必要となる情報を整理する。</p> <p>調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○IAIスタジアムの現状整理</li> <li>○他のスタジアム調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本機能の把握（立地、収容人数、他機能、収益性等）</li> <li>・整備手法、合意形成プロセス、建設までの経緯、検討した内容の把握 ほか</li> </ul> </li> <li>○国、Jリーグなどの動向の整理 など</li> </ul>
------	---



IAIスタジアム日本平

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,564				4,564
前年度予算額	811				811

## 目的

リニア中央新幹線の開業に伴い本市が受ける影響とその対策について、新型コロナウイルスによる社会変化も踏まえて調査・研究を行うことで、将来的に予測される社会変化に的確に対応し、持続的に成長するまちづくりを進める。



## 事業概要

令和2年度に官民連携により設置した「静岡市リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究会」での議論を通じて、各種調査研究等を実施する。

- 1 各種調査等の実施 **新規** 4,000千円  
「一般財団法人 地方自治研究機構」との共同調査研究  
○新型コロナウイルスによる影響把握  
○リニア中央新幹線開業後の影響予測 など
- 2 研究会の運営 564千円  
○委員数 8名  
○研究会 年3回実施（予定）



静岡市リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究会(令和2年10月2日開催)

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	429,219			200	429,019
前年度予算額	409,820	47,250		500	362,070

目的	しずおか中部連携中枢都市圏の目指す将来像である『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』の実現に向けて、「圏域内のさらなる交流の促進」や「首都圏等への積極的なPR」などに取り組み、圏域の活性化を図る。
----	--



事業概要	1 圏域全体の経済成長のけん引 <span style="float: right;">202,888千円</span>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域経済拡大支援事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏における地場産品のテストマーケティングの実施等</li> </ul> </li> <li>○水産物を活用した産業活性化事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の水産物を活用した商品等のプロモーションの実施</li> </ul> </li> <li>○静岡地域連携DMO推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光コンテンツの開発支援とプロモーションの実施等</li> </ul> </li> <li>○静岡中部サイクルツーリズム推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域を周遊するサイクルイベントの開催等 <span style="float: right;">ほか</span></li> </ul> </li> </ul>
	2 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 <span style="float: right;">226,331千円</span>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学連携事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と連携した地域課題の解決のための研究等</li> </ul> </li> <li>○移住促進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の移住フェアへの出展、移住体験ツアーの開催及びウェブサービスを利用した移住希望者とのマッチング</li> </ul> </li> <li>○テレワーク推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに係るeラーニングサイトの運用及び啓発</li> </ul> </li> <li>○中部5市2町イベントニュース発行事業（再掲）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内のイベント情報等を掲載する広報紙の発行及び観光施設等を巡るスタンプラリーの実施 <span style="float: right;">ほか</span></li> </ul> </li> </ul>



静岡地域連携DMO推進事業



静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業



イベントニュース発行事業



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額	20,008				20,008

目的	人口減少、少子高齢化社会において、都市の求心力を高め、交流人口の増加、賑わい創出及び地域経済の活性化を図るため、大規模コンサートやプロスポーツの開催など、その効果が期待できるアリーナの誘致を目指す。
----	---



事業概要	プロジェクトシミュレーション、講演会、市場調査等を実施し、アリーナ誘致に必要な条件の整理と市民理解の醸成を目指す。	
	1 アリーナ誘致推進業務の実施 ○実施内容 プロジェクトシミュレーション、講演会等	7,535千円
	2 その他事務経費 ○実施内容 市場調査等	2,465千円

●アリーナイメージ  
スポーツ利用時



コンサート利用時



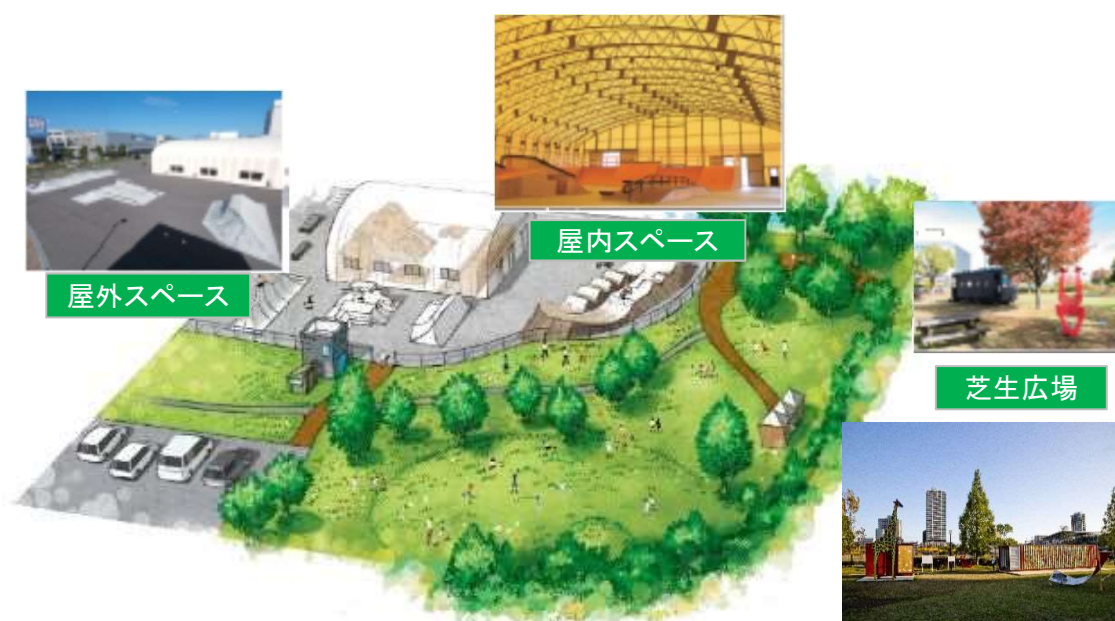
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	31,340				31,340
前年度予算額	56,340				56,340

目的	「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」において、屋外アートやローラースポーツなどの新たな文化・スポーツを市民に広めるとともに、様々なイベントを行い、交流人口の増加を図る。
----	---



事業概要	<p>1 東静岡アート&amp;スポーツ／ヒロバの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設概要 開設時間/11時～21時 スケートボード、BMX、インラインスケートなどが楽しめるローラースポーツパークと芝生広場</li> <li>○ 企画運営業務 ローラースポーツパーク等の運営、イベントの実施 広場維持管理業務 等</li> <li>○ 実行委員会の取組             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まち劇場の推進」の一環として、敷地一体を活用した様々なイベントを開催し、世代を超えた多様な人々の交流の場を創出。</li> <li>・芝生広場にて、年間を通じて、屋外アートの展示やワークショップの開催</li> <li>・ローラースポーツパークでは、大人から子供を対象としたスクールを実施</li> <li>・2020年東京オリンピックパラリンピックを見据えた、ローラースポーツの各種大会を開催</li> </ul> </li> </ul>
------	--



東静岡アート&スポーツ／ヒロバ



# 市 民 局

# 市民局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

地域の絆を深め、一人ひとりが活躍し、  
安心して暮らせる持続可能なまちを市民の皆さんと行政が共に創る

## I 市民協働によるまちづくり

それぞれの地域の特性や実情に即した地域課題の解決やまちづくり活動が市民によって自主的に行われている、豊かなコミュニティが形成されている社会の実現

## II 男女共同参画によるまちづくり

多様性を受容し、あらゆる人が自分らしく生きることが尊重され、自らの能力を發揮し、活躍できる社会の実現

## III 安心・安全なまちづくり

生活者である市民及び来静者の誰もが安心して活動することができる安全な地域社会の実現

〔令和3年度（2021年度）の主な取組〕

## I 市民協働によるまちづくりの推進



### 〔 自治会・町内会等の地縁団体への活動支援 〕

住民主体の地域づくりを支援するため、自治会・町内会等の活動を支える各種助成事業の実施、新たな支援策の策定に取り組みます。

■集会所建設費補助金など各種助成(515,180千円)

### 〔 市民活動団体等への活動支援 〕

より多くの市民が参加するまちづくりの実現に向け、市民活動団体等の運営・広報・資金調達などの支援に取り組みます。



- 【拡充】 ■ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業(55,346千円)  
 ■市民活動支援システムの活用(2,839千円)  
 ■市民活動センターの管理運営(61,971千円)

### 〔 生涯学習の推進 〕

生涯にわたる学びを支援し、まちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成を推進します。

- 【拡充】 ■「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業(20,657千円)  
 ・修了後の活動に関する相談体制の構築  
 ■生涯学習交流館及びセンターの管理運営(1,092,952千円)



### 〔 井川地区の振興 〕

渡船による井川地区住民の対岸交通の確保及び観光資源としての活用により、来訪者の増加につなげ、地域の振興を図っていきます。

- 【新規】 ■井川湖渡船待合所の建替え(34,162千円)  
 ■井川湖渡船運営事業(20,671千円)



## Ⅱ 男女共同参画によるまちづくりの推進



### 〔 女性活躍の推進 〕

女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援及び男性の意識改革に取り組みます。

■しずおか女子きらっ☆プロジェクト(7,367千円)

【新規】■女性相談プラットフォーム構築事業(1,200千円)

・関係機関等への同行支援、居場所兼サポート窓口の開設ほか



### 〔 性の多様性に関する環境整備 〕



性の多様性への無理解から、LGBTQなど性的少数者への偏見や差別が生じているため、生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に取り組みます。

【拡充】■LGBTQフレンドリー推進事業(1,183千円)

## Ⅲ 安心・安全なまちづくりの推進



### 〔 地域の自主防犯力の強化 〕



安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現に向け、犯罪等に強いまちづくり基本計画に基づき、「防犯意識の高い人づくり」と「防犯力の高い地域づくり」の推進を図ります。

■街頭防犯カメラ設置費助成(7,500千円)

■子どもの体験型防犯講座「あぶトレ！」の開催(420千円)

### 〔 自ら守る交通安全意識の向上 〕

交通事故の防止や交通マナーの向上に向け、自動車や自転車等の交通安全対策を図ります。

■幼児期における交通安全教育の推進事業(1,000千円)

### 〔 消費者市民社会の実現 〕

消費者が、自らの消費行動が経済だけでなく社会や環境にも影響を与えることを自覚し、行動する「消費者市民社会」に向け、消費者教育の推進等を図っていきます。

■消費者行政強化促進事業(4,684千円)

・消費者教育副教材の改訂ほか

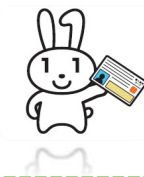


### 〔 マイナンバーカードの交付 〕

マイナンバーカードの交付申請の増加に対応し、円滑にカードの交付が行えるよう交付体制を整えます。

■マイナンバーカード交付事業(683,416千円)

■住民票等コンビ二交付事業(17,180千円)



### 〔 斎場・霊園の管理運営 〕

■斎場〔静岡・清水・庵原・井川〕・霊園〔愛宕・沓谷・沼上・清水大平山〕(383,035千円)



	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3ほか)	市債	その他	
当初予算額	20,657	1,099		1,094	18,464
前年度予算額	18,265	1,245		1,034	15,986

目的 「構想力(こ)」・「行動力(こ)」・「人間力(に)」を備え、市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成。




事業概要 市が実施する人材養成事業を、総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」として束ね、一体的に推進する。

1 人材養成事業の一体的な推進  
 ○受講生のすそ野の拡大  
 ・講座案内パンフレットの作成及び募集情報の周知  
 ・「オープン講座」を通じた参加機会の拡大 **拡充**  
 ○修了生への活動支援を充実・強化  
 ・修了後の活動に関する相談体制の構築 **拡充**  
 ・受講生及び修了生等の交流会「ここにわ」の開催

2 各人材養成講座の開催  
 ○市内8局(区)19課による24講座の実施 **拡充**  
 (令和3年度新規講座)  
 ・市民生きものモニター養成講座  
 ・移動支援事業従事者養成研修  
 ・ものづくりプラモデル大学

総合課程: 地域デザインカレッジ




静岡シチズンカレッジこ・こ・に(学長::市長)

総合課程

**地域リーダー養成コース**

- ・地域デザインカレッジ2021(生涯学習推進課)



専門課程

**生活・環境コース**

- ・アイセル女性カレッジ(男女共同参画課 ※女性会館)
- ・多文化共生サポーター養成講座(国際交流課)
- ・「消費の賢者」養成講座(生活安心安全課)
- ・駿河区地域の人材育成事業 駿援隊(駿河区地域総務課)
- ・市民生きものモニター養成講座【新】(環境創造課)
- ・環境大学(ごみ減量推進課)

**子ども・教育コース**

- ・子育て∞親育ち学校(子ども未来課)
- ・ひきこもりサポーター養成講座(青少年育成課)
- ・“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座(教育総務課)
- ・しずおか教師塾(教職員課)
- ・学習支援人材養成講座(生涯学習推進課 ※葵生涯学習センター)

プレ課程

**健康・福祉コース**

- ・地域支え合い人材養成講座(地域包括ケア推進本部)
- ・市民後見人養成研修(基礎編)(福祉総務課)
- ・アイボランティア入門講座(障害福祉企画課)
- ・移動支援事業従事者養成研修【新】(障害福祉企画課)
- ・こころのバリアフリープロモーター育成講座(こころの健康センター)

**経済・産業コース**

- ・ものづくりプラモデル大学【新】(産業振興課)
- ・静岡市お茶の学校(農業政策課)

総合課程

**高校生人材養成コース**

- ・高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)(青少年育成課)
- ・高校生まちづくりスクール(ビジネス編)(生涯学習推進課)

-41-

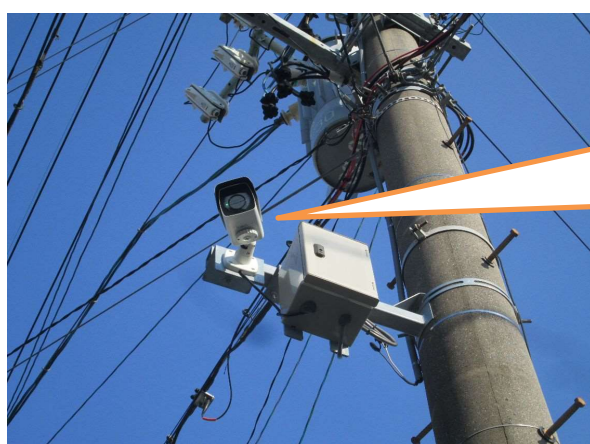
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,500				7,500
前年度予算額	5,000				5,000

目的	犯罪等に強いまちづくり基本計画に基づき、「防犯意識の高い人づくり」と「防犯力の高い地域づくり」を推進し、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指す。
----	--



事業概要	<p>街頭防犯カメラ設置費助成                  街頭防犯カメラの設置に必要な経費を助成する。</p> <p>○交付先 自治会、町内会及び地区安全会議                  ※地区安全会議…中学校区単位を基本に設立された地域防犯団体</p> <p>○補助率等 補助率 9/10以内                  上限額 1台あたり300千円（1団体2台まで）</p> <p>○補助対象事業                  ・街頭防犯カメラ、録画装置機器等の購入経費、設置工事経費                  ・街頭防犯カメラの設置を示す看板製作経費、設置工事経費</p> <p>○補助金を活用した街頭防犯カメラ設置実績                  37団体51台（平成29年度～令和元年度）</p>
------	--



これまで街頭防犯カメラを設置した団体へのアンケートでは、9割以上の団体が、カメラを設置したことにより、安心感を感じると回答

補助金を活用して設置した街頭防犯カメラ



【新規】

井川湖渡船待合所更新事業

井川支所

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	34,162		3,700	30,000	462
前年度予算額					

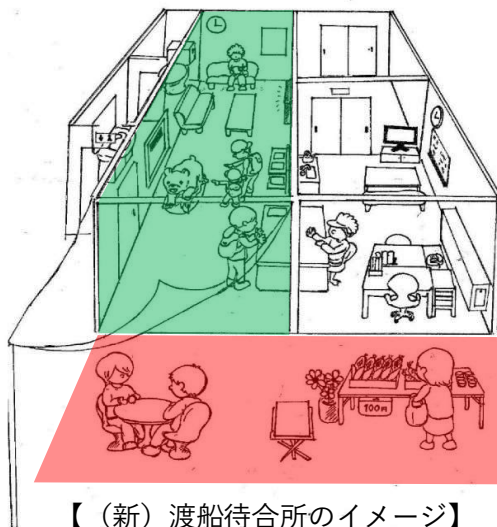
**目的**  
井川地区の観光や暮らしに関する情報発信及び特産品の物販・飲食を通じた交流により、交流人口の増加と地域への経済的波及を図る。



**事業概要**

令和2年度に進水した新船舶「令和聖」による新しい渡船活用事業（ランチクルーズ、茶席船等）を来訪のきっかけとして、来訪者の玄関口でもある井川湖渡船待合所を、情報発信及び交流の拠点として再整備する。

- 新待合所概要
  - ・ 建築場所 葵区井川
  - ・ 延床面積 40m<sup>2</sup>（平屋建て）
  - ・ 供用開始 令和4年3月予定
- 機能
  - ・ 観光や山里の暮らしに関する情報発信
  - ・ 特産品の物販、飲食を通じた地域との交流
- 井川湖渡船事業の強化策
  - ・ 交流人口の増加（「暮らし」の魅力発信、インパクトのあるイベントによる誘客、大井川流域での連携強化）
  - ・ 地域経済への波及（船内及び待合所内の物販・飲食を通じた、特産品と消費者の結び付け）



【（新）渡船待合所のイメージ】

- 情報発信スペース
- 交流スペース



【現況写真】  
井川湖渡船待合所  
（1959年建築、  
61年経過）



【令和聖の船内】  
令和2年11月15日  
船上茶会の様子





葵 区 役 所  
駿 河 区 役 所  
清 水 区 役 所



令和4年度（2022年度）の目指す姿

- 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるまち
- あらゆる年齢のすべての人々の健康と福祉を確保する窓口

令和3年度の主な取組

重点事業1 区の魅力づくり事業費

11,400千円

- 【継続】葵トラベラー  
地域が主体的に取り組むイベント等への集客支援
- 【継続】葵チャレンジャー  
地域の課題解決に向けた取り組みを支援
- 【継続】葵区「魅力情報発信」  
地域の魅力情報の発信



葵区魅力づくり事業

NEW!

ポストコロナに対応した地域活動への支援

- 新しい生活様式に対応した地域活動を支援
  - 地域活動実施に向けた相談体制の充実
  - YouTube、Twitter等を活用した地域の魅力発信
- 来訪者の減少した地域への集客支援
  - コロナ対応型葵トラベラーの実施
  - 葵トラベラー参加者によるSNSでの情報拡散

NEW!

地域が直面している課題の解決に向けた支援

- 高齢者の日常生活援助の取組を支援
  - 地域で暮らしていくための支援制度等の紹介
  - 講演会、先進事例の視察
- 中山間地域の人口減少に対する取組を支援
  - オクシズへの移住に興味を持つ人を拡大（首都圏からの移住体験ツアーの実施）

①葵トラベラー

服 織「古寺と文化を訪ねて」  
服織西「復活 一色天満宮手筒花火」等



コロナ対応型葵トラベラー

- ☆地域活動に対する住民意識の向上
- ☆交流人口拡大・関係人口の創出
- ☆葵区に愛着を感じる人を増加

②葵チャレンジャー

高齢者生活支援講座、視察  
井川移住体験チャレンジャー 等



井川移住体験チャレンジャー

- ☆地域の課題解決力の向上
- ☆高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ☆オクシズの定住人口の拡大

③葵区「魅力情報発信」

YouTubeあおいくんチャンネル開設  
参加者SNSによる地域情報拡散 等



YouTubeチャンネル新設

- ☆葵区の魅力を広く発信
- ☆葵区の知名度の向上
- ☆区内外からの集客の拡大

持続可能な「住民主体の」まちづくり  
(地域コミュニティの維持・拡大)を目指すよ。



## 重点事業2 環境整備経費

2,850千円

「スマート区役所」に向けて ～ポストコロナ・デジタル化の時代へ～

- ①【継続】 葵区役所環境整備事業
- ②【継続】 葵区役所人材育成事業
- ③【継続】 葵区区民意見聴取事業

3 すべての人に  
健康と福祉を



### ① 環境整備事業

ポストコロナに対応した安心安全で便利な窓口の実現

- ・ウイルス飛沫防止スクリーンの設置
- ・ライフイベントの**手続きガイド**、**電子申請**、**AI・RPA**等の導入及び検討（デジタル化推進課と連携） **NEW!!**

あおいくん&家族を活用した行政情報発信の強化

- ・あおいくんとその家族を活かし行政情報・地域情報をわかりやすく**4コマ漫画**にて発信
- ・**SNS**で**タイムリー**に発信



葵区案内人がご案内します！



### ② 人材育成事業

時代のニーズやあらゆる市民に対応した人材の育成  
使命感を持ち区役所から政策提言できる人材の育成

- ・全職員による葵区役所**案内人**の実施（おもてなし意識の醸成・コンシェルジュと連携）
- ・外部講師による意識改革研修等の実施（3区交流）  
（窓口改革・**エンパワメント**・**デジタル化推進啓発**） **NEW!!**
- ・外部研修への職員派遣
- ・**窓口業務のICT化**の研究（先進市視察等・デジタル化推進課と連携）
- ・業務改善1人1改善→環境整備に反映



### ③ 区民意見聴取事業

区民の多様な意見を聴取し、まちづくりに反映

- ・**ふるさと未来づくり会議**の開催
- ・職員の**ブロック担当制**の実施
- ・**ブロック会議**への参加（自治会役員と区長等による意見交換会）
- ・全38学（地）区自治会連合会長への**アンケート**実施 **NEW!!**



区役所利用者の意見を聴取し、窓口へ反映

- ・アンケート等の実施
- ・案内人による聞き取り





令和4年度（2022年度）の目指す姿



～誰もが住みやすい駿河区の実現～

駿河区では、平成27年度からスタートした静岡市第3次総合計画において、地勢や特色、若い力を活用して、住民主体のまちづくりを推進し、「誰もが住みやすい駿河区」の実現を目指します。

令和3年度の主な取組

重点事業1 魅力づくり事業（11,250千円）

◆地域力推進事業◆

（地域力を高めるための賑わいづくりや情報を発信する事業）

【主な事業】

（1）旬穫祭

- ・旬穫祭in漁港まつり
- ・旬穫祭in葵スクエア
- ・旬穫祭クッキング ほか



▲旬穫祭in葵スクエア



（2）駿河区トロペーラリー

NEW

（3）スルガフェス

（4）区のイメージキャラクター事業



▲こども園ダンス教室

【R3年度の主な取組】『駿河トロペーラリー』

Withコロナ時代の新たな賑わいづくりとして、アプリケーションを使った地域振興型スタンプラリーを開催。地域ニーズの取り込みや、シェアサイクル「PULCLE」を実施する都市局との局間連携により、各地域での継続開催を目指します。

◆地域提案支援事業◆

（地域住民が主体的となって取り組む事業の支援）

【主な事業】

- （1）元気アップ応援プロジェクト
- （2）エコライフプロジェクト



▲元気アップ応援プロジェクト



## ◆地域の人材育成事業◆

(地域コミュニティの中堅や担い手となって活動できる人材の育成)

【主な事業】

- (1) 駿援隊
- (2) 駿援隊フォローアップ事業
- (3) 大学連携事業



▲オンライン体験会

### 【R3年度の主な取組】『駿援隊フォローアップ』

駿援隊修了生による地域活動を側面支援。

Withコロナ時代に対応する新たな地域防災を考え、リモートによる会議や訓練の実施、先進事例を参考に更なる自立した防災ネットワークの構築を目指します。

## 重点事業2 環境整備事業 (3,000千円)

### ◆区民意見聴取事業◆

区民ニーズの聴取・把握

“わがまち=わかまち”会議の設置 **NEW**

「若い力を活かしたまちづくり」を実現するため、若者の活動を地域につなげ、地域のことについて知る機会とし、地域と学生それぞれの活動の底上げにつなげます。



### ◆区役所人材育成事業◆

職員の区民サービス能力の向上

- ・ 接遇事業 (接遇研修、危機管理研修、外部派遣研修等) <他区との交流>
- ・ 連携強化事業 (スキルアップセミナー、業務・人材リスト作成)
- ・ 意識啓発事業 (各課スローガン作成、ネクストラップ作成)



### ◆区役所環境整備事業◆ **NEW**

市民が利用しやすい区役所づくり

- ・ オリジナル消毒スタンド・消毒用具の設置

障がい者にも配慮した消毒スタンドを、課窓口や区役所玄関前に設置。また、窓口で使用する文房具等を除菌するボックスを設置

- ・ 庁内巡視、おもてなし清掃の実施

区長・副区長による巡視のほか、月2回の職員ボランティアによるおもてなし清掃の実施





令和4年度(2022年度)の目指す姿

～地域の魅力を活かしたまちづくり・地域と連携したまちづくりの実現～

清水区では、効率的で市民にとって利用しやすい行政サービスを提供するとともに、地域の住民と意見交換を行い、海・山などの多彩な魅力や特性を活かしながら、地域の賑わいを創出することにより、地域と連携したまちづくりを推進します。

令和3年度の主な取組

重点事業1 区の魅力づくり事業費(11,400千円)



令和3年度の重点取組

1. 中部横断自動車道 静岡－山梨間開通に向けた沿線地域との交流

清水みなと雪まつりにおいて、SNSを活用したイベントを開催し、沿線地域との結びつきを一層深めます。

2. シズラLINEスタンプの作成

LINEスタンプを世界中の人に利用してもらい、さらなる清水区の認知度向上を図ります。

3. 清水区移住促進ツアーの実施

みなとまちのまち歩き案内に加え、「日帰り里山体験ツアー」「日帰り東海道まちあるき移住ツアー」を実施し、情緒溢れる清水区の魅力を知ってもらい、移住を促進します。



1. 広報専門官シズラによる魅力発信事業

- (1)シズラグッズの作成及び配布
- (2)Facebook・Twitter等の活用
- (3)中部横断自動車道沿線地域との交流
- (4)着ぐるみシズラのイベント出演
- (5)シズラLINEスタンプの作成



2. 区民提案事業

(1)清水港線跡遊歩道「今昔物語」

※新型コロナの影響により、R2実施延期によるもの





### 3. 移住・定住促進事業

- (1)移住促進ツアーの実施
- (2)清水区まち歩き案内の実施
- (3)移住フェア参加及び情報発信



## 重点事業2 環境整備経費(2,850千円)

3 すべての人に  
健康と福祉を



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



### 令和3年度の重点取組

#### 1.清水区の未来を考える「清水区未来創造トーク」の開催

清水区の地域課題を発見し、地域の未来のために今できることを若者と考える「清水区未来創造トーク」を開催します。

#### 2.人材育成事業の強化

若手職員のスキルアップに繋げるため「OJT+」のほか、女性職員の目指す職員像を見つめ直す「女性活躍推進事業」を実施します。

#### 3.多文化共生を意識した応対研修・案内表示の見直し

おもてなしをされていると感じることができる環境の実現に向け、清水区役所に来庁される外国人を意識した外国人住人対応研修や案内表示の多言語表示を行います。

### 1. 清水区意見聴取事業

- (1)清水区まちづくりミーティング
- (2)清水区未来創造トーク



### 2. 清水区人材育成事業

#### (1)接遇スキルアップ推進事業

清水区接遇研修

清水区おもてなし研修（ホスピタリティ研修、外国人住人対応研修）

#### (2)清水区人材育成プロジェクト

業務知識習得研修、政策能力向上研修、OJT+、女性活躍推進事業

#### (3)業務改善体制推進事業

業務改善事例発表会



### 3. 清水区環境整備事業

#### (1)フロア環境快適化推進事業

先進事例視察、1階待合スペース等の環境整備  
安心して過ごせる環境整備（コロナ対策）

#### (2)おもてなし環境整備事業

案内表示の多言語化、地下売店跡地整備





# 觀光交流文化局

# 観光交流文化局 当初予算のポイント

## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

新たな日常に対応しながら、本市が誇る豊かな地域資源を磨き上げ、世界中から人々が訪れるまちを実現し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指します。



### 令和3年度の主な取組

#### 1. 新たな日常に対応した交流の推進（コロナ対策事業） 224,768 (うち2月補正180,593)

(1) 観光誘客支援 84,600 (うち2月補正 59,600)  
 落ち込んだ宿泊需要を取り戻すため、宿泊を伴う観光誘客の取り組みを推進します。

- 【拡充】 全国大会等開催事業助成（助成要件の緩和） 25,000
- 【新規】 // (感染症対策経費への助成) 6,400 (2月補正)
- 【新規】 教育旅行誘致推進事業（新規市場の開拓） 3,200 (2月補正)
- 【新規】 誘客事業助成（宿泊事業者に対する助成） 50,000 (2月補正)

(2) イベントコロナ対策支援 60,000 (うち2月補正 60,000)  
 参加者が安心・安全に楽しく参加できる新しい生活様式に合わせたイベントを展開し、地域活性化と賑わい創出を図ります。

- 【新規】 賑わい創出イベント感染症対策事業助成 60,000 (2月補正)

(3) 文化・スポーツ活動支援 80,168 (うち2月補正 60,993)  
 活動の自粛・縮小を余儀なくされる文化・スポーツ活動を支援し、市民が文化・スポーツに触れる機会を創出します。

##### ① 感染症対策

- 【新規】 オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業 13,943 (2月補正)
- 【新規】 文化施設等環境整備事業 47,050 (2月補正)
- 【新規】 文化活動事業継続助成 13,000

##### ② 開催支援

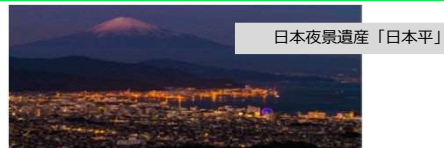
- 【新規】 スポーツイベント開催助成 6,175
- (【新規】 スポーツイベント開催支援（施設使用料の減額） 36,000 )

#### 2. 「世界に輝く静岡」の実現に向けた、第3次総合計画の着実な推進 5,146,487

##### (1) 交流人口の増加策 253,239

静岡の地域資源をブランド化し、世界に向けて情報発信する取り組み

- オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業 115,395
- 【拡充】 ナイトツーリズム推進事業 23,300
- DMO推進事業【5市2町】 99,800
- 国民保養温泉地プロモーション事業(梅ヶ島) 1,300
- インバウンド推進広域連携事業 3,395
- 対仏交流事業（日仏自治体交流会議の誘致等） 5,620
- 教育旅行誘致推進事業助成 3,929
- 訪日教育旅行誘致促進事業（受入事業助成等） 500





(単位：千円)

(2) 歴史文化の拠点づくり (静岡都心) 4,388,606

静岡の歴史・文化の中核である 駿府城公園周辺の魅力を高める取り組み

歴史文化施設建設事業 4,318,837



駿府城跡天守台発掘調査見える化事業 11,061

駿府城跡天守台野外展示事業 2,000

【拡充】歴史文化施設プレ事業 10,435

お堀の水辺(菱舟)活用事業 10,173

- 東海道歴史街道まち歩き推進事業 12,700
- 街道観光プロモーション事業【5市2町】 10,000
- 【新規】駿州の旅日本遺産推進事業 4,950
- 第80期A級順位戦最終局開催事業 7,000
- 囲碁大会開催助成 1,000
- 朝鮮通信使発信事業 450



第80期A級順位戦最終局 「対面指し指導将棋」

(3) 「まちは劇場」の推進 504,642

365日いつでも「わくわくドキドキ」を感じる まちをつくる取り組み

- 【拡充】賑わい創出イベントの推進(春夏秋冬フェス) 436,996
- まちは劇場コンサート事業 31,230
- 国際文化交流事業 11,105
- (朝鮮通信使交流・フェスティバル交流事業)
- 【拡充】まちは劇場推進事業 41,610
- (ブランディング事業、国内外プロモーション事業等)
- まち劇スポット事業 1,252
- 市民参加型舞台公演事業 5,700



まちかどコンサート



静岡まつり



大道芸ワールドカップ

写真：大道芸ワールドカップ実行委員会



清水みなの祭り

ON STAGE SHIZUOKA まちは劇場

【新規】

文化振興課  
スポーツ振興課

【新型コロナ対策】文化・スポーツ活動支援事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	19,175				19,175
前年度予算額					

目的	活動の自粛・縮小を余儀なくされるなど、停滞する文化・スポーツ活動において、市内文化・スポーツ団体等の活動経費を支援することで、活動の再開・継続の推進を図る。
----	--



事業概要	<p>1 文化活動緊急支援事業費助成 13,000千円 会場の定員が80人以上である市内の公立又は民間の施設において、広く市民の観賞を目的とする文化公演を開催する文化団体等に、感染予防対策経費として一律補助をする。 ○対象期間 令和3年4月1日から令和3年9月30日 ○補助額 定員80名以上500名以下の施設の利用者 一律2万円 定員500名を超える施設の利用者 一律5万円</p> <p>2 スポーツイベント緊急支援事業費助成 6,175千円 入場料等を徴収してスポーツイベントを開催する市有スポーツ施設利用者に対し、施設使用料の一部を助成する。 ○対象期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日 ○対象経費 入場料等を徴収する場合などの施設使用料(附帯設備を含む) ○補助率 1/2</p> <p>3 施設使用料の減額 市が直接施設使用料を歳入する施設については、使用料の一部(1/2)を減額</p>
------	--



(静岡市民文化会館)



(IAIスタジアム)



(庵原球場)



【新規】

駿州の旅日本遺産推進事業

観光・MICE推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,950				4,950
前年度予算額					

**目的**  
令和2年度に「日本遺産」に認定された、静岡市と藤枝市にまたがる東海道を舞台にした「弥次さん喜多さん、駿州の旅」のストーリーを活用した街道観光の推進により、街道文化の継承や沿線の活性化等を図る。



**事業概要**  
事業の効果的な推進のため、関係主体で「駿州の旅日本遺産推進協議会」を組織し、静岡・藤枝の両市で負担金を支出する。  
※令和2年度からの3か年は協議会にて文化庁の補助金を活用

**協議会事業**

- 調査研究
  - ・顧客層の視点に基づくマーケティング調査の実施
- 人材育成
  - ・ガイドマニュアルを活用したガイド養成講座の開催
- 普及啓発
  - ・土産物や体験メニューの開発
  - ・旅行商品の造成
- 情報コンテンツ作成
  - ・Webサイト、総合パンフレット等の作成
  - ・首都圏等に向けた誘客プロモーションの実施
- 活用整備
  - ・インフォメーションや案内板、お休み処等の整備

「日本遺産」認定ストーリー紹介ブック



東海道歴史街道まち歩き推進事業（誘客促進）

観光・MICE推進課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,700				12,700
前年度予算額	14,300				14,300

**目的**  
東海道歴史街道に根付く「地域資源」を活用し、年間を通じて国内外から多くの観光客を誘客し、観光交流人口の拡大、地域活性化を図る。



**事業概要**  
東海道のヒトやモノの往来により育まれ、根付いてきた歴史や文化等地域の魅力を新しい視点で掘り起こして活用し、市内の回遊性を高める周遊ツールや、観光プログラムを開発する。  
また本市の街道観光への取り組みを効果的に発信し、認知度向上を図る。

- 1 観光プログラムの創出 10,000千円  
○回遊性向上のための周遊ツールの活用  
○駿河東海道おんぱく開催による体験プログラムの開発
- 2 戦略的な情報発信 1,200千円  
○しずおか東海道まちあるきガイドブック改訂  
○しずおか東海道まちあるきWebサイト運営
- 3 大河ドラマ「青天を衝け」活用・連携事業 **新規** 1,200千円  
○登場人物のゆかりの地等を巡るスタンプラリーを実施
- 4 観光案内看板等整備事業 300千円

しずおか東海道ご縁めぐりスタンプラリー

東海道の周遊を促進するツールの活用

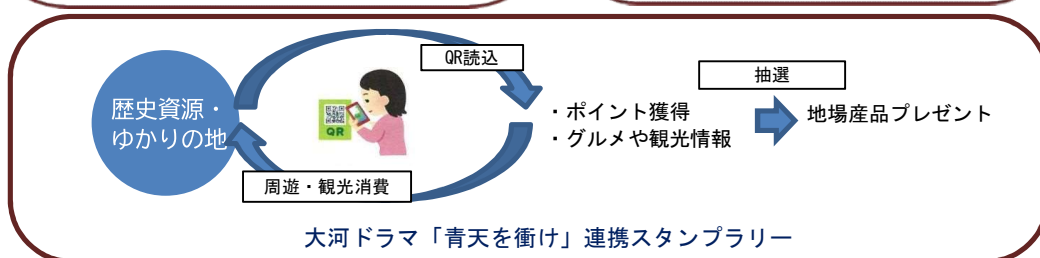
駿河 東海道おんぱく

東海道の魅力を体感できるプログラムの開発

しずおか東海道まちあるきガイドブック

しずおか東海道まちあるきwebガイド

東海道の魅力を戦略的に発信



(千円)

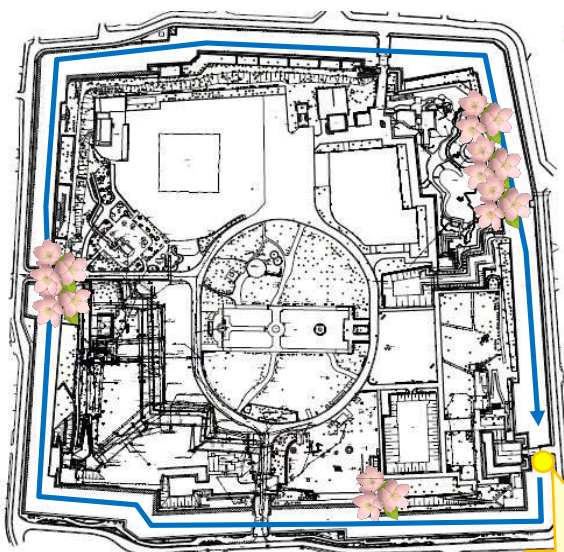
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,173				10,173
前年度予算額	38,694	13,500	11,200		13,994

目的	駿府城公園周辺エリアにおける新たな歴史観光コンテンツの一つとして、静岡都心の賑わいを創出するとともに、「歴史文化の拠点づくり」を促進する。
----	---



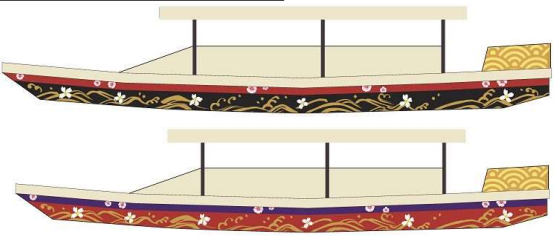
事業概要	<p>民間事業者が行う運航に市が補助金を交付する。令和3年3月下旬運航開始予定。</p> <p>1 運航事業者への運営支援 <span style="float:right">10,000千円</span>                  人件費、燃料費、広告宣伝費等の経費に対して、上限10,000千円の範囲で補助金を交付する。</p> <p>2 旅行商談会への参加 <span style="float:right">173千円</span>                  旅行エージェント向け商談会に参加し営業を行うことで、葵舟の活用を促進する。</p>
------	---

3月下旬桜の季節にあわせ運航開始



主なルート：東御門橋から中堀を一周

乗り場イメージ (R2年度整備)



静岡デザイン専門学校生による  
新しい船体デザインでスタート

<デザインコンセプト>  
 家康公、義元公の着物をイメージした色遣いに  
 タチアオイ(市の花)、ハナミズキ(市の木)を  
 あしらうことで、静岡市らしさを表現した



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	99,800				99,800
前年度予算額	104,500	37,250			67,250

目的	静岡県中部5市2町の広域連携のもと、当地域の「観光目的地」としての目的地想起率を高め、来訪者数を増加させるとともに、戦略に沿った観光商品の開発を地域事業者とともに進め、観光消費や宿泊の拡大を図る。
----	--



事業概要	静岡県中部・志太榛原地域（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の枠組みで、（公財）するが企画観光局を中心に次の事業を実施する。  1 Learn（学び）戦略に基づく商品開発の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>○学びのある体験プログラムの開発</li> <li>○商品を掲載したWEBサイトのプロモーション</li> </ul> 2 Tea（お茶）、Sea（海）戦略に基づくプロモーション <ul style="list-style-type: none"> <li>○TeaとSeaをコンセプトとする商品の提供事業者の拡大</li> <li>○WEB、SNSを活用したプロモーション</li> </ul> 3 市場調査・効果測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>○WEBアンケートによる市場ニーズの調査・分析</li> <li>○来訪者や地域の観光事業者への実態調査</li> </ul> ※DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは地域の多様な関係者との連携と、マーケティングに基づく戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役
------	--



Learn（学び）  
 学びのある体験プログラム  
 「MANAVIVA!（マナビバ）」



Tea（お茶）  
 茶畑の絶景を独占できる  
 木製ティーテラス「茶の間」



Sea（海）  
 鰹のカツを用いたグルメ  
 「絶対負けない『勝男カツ』」



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	23,300	11,400			11,900
前年度予算額	15,000	7,250			7,750

目的	日本平からの夜景をはじめとする夜の観光資源の充実を図ることにより、観光客の市内滞在時間を延長させ、宿泊者数の増加や観光消費の拡大につなげる。
----	--



事業概要	<p>1 静岡夜景のブランディング <b>拡充</b> 19,400千円 本市の夜景のブランド価値を高めるため、日本平山頂からの夜景を磨き上げるための整備計画策定に着手するとともに、市内の夜景スポットをPRするためのWebページを構築する。 ○日本平夜景づくり整備計画（素案）作成 ○市内夜景観光Webページ作成</p> <p>2 日本平の集客力向上 3,900千円 日本夜景遺産・日本平の素晴らしい夜景を活かして夜間の集客力を向上させるため、日本平夜市をはじめとする夜間イベントの内容の充実や利便性の向上を図る。また、夜景サミット2019で認定された、富士山と夜景を同時に楽しめる代表的な鑑賞地“富士三大夜景”ブランドを生かしたプロモーションを実施する。 ○日本平夜市など夜のイベントの充実 ○日本平の“富士三大夜景”プロモーション</p>
------	---



↑ 日本平山頂からの夜景



梶原山公園からの夜景↑



日本平夜市の様子→

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	23,839			7,395	16,444
前年度予算額	16,203			7,440	8,763

目的	駿府城再建に向けて天守台の学術的なデータを得るため、発掘調査を行う。得られた成果を活かして、発掘調査を歴史学習の場、観光資源化するために「見える化」を行う。
----	--



事業概要	<p>令和元年度で現場調査は終了したが、現場調査で出土した資料整理等を行い、調査報告書の作成を行う。あわせて、発掘現場の見学ゾーンの公開を行うとともに、調査成果の報告会や展示も行う。</p> <p>1 発掘調査 12,778千円 ○出土資料分析、発掘調査報告書作成 ほか</p> <p>2 発掘調査「見える化」 11,061千円 ○発掘情報館きゃっしる、見学ゾーンの運営管理 ○タブレット端末を利用した駿府城タイムトラベルツアー ○発掘調査終了に伴う調査結果報告会の開催 ほか</p>
------	--



発掘情報館きゃっしるの運営



駿府城タイムトラベルツアー



駿府城跡天守台発掘調査現場



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	4,318,837	792,257	3,172,300		354,280
前年度予算額	604,483	368,605	82,500		153,378

目的	静岡市への愛着と憧れを生み出す施設を目指して、歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設を、令和5年春開館に向けて整備する。
----	---



事業概要	<p>1 建設・展示工事 4,124,747千円 ○建物工事、電気等設備工事、展示工事等</p> <p>2 遺構保存委託 5,600千円 ○遺構の保存に係る環境分析・計測</p> <p>3 情報システム 55,000千円 ○施設内ネットワーク構築、機器設置 ほか</p> <p>4 資料収集・調査ほか 133,490千円 ○施設で展示する歴史資料の購入、レプリカ作成 ほか</p> <p>【施設概要】 ○建設地 旧青葉小学校跡地 ○建設概要 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上4階建 ○建築面積 2,285.27㎡ ○延床面積 4,885.86㎡</p> <p>【スケジュール】 ○令和2～4年度 建設工事、展示製作、資料調査・収集、開館準備 ほか ○令和5年春 開館</p>
------	---



歴史文化施設外観イメージ図



歴史文化施設内観イメージ図



歴史文化施設展示室イメージ図

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,435			2,000	8,435
前年度予算額	5,219				5,219

目的	歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設の開館に向け、市民の期待感を醸成するとともに、市外への効果的な情報発信により集客促進を図る。
----	--



事業概要	<p>1 展示事業 <span style="float: right;">3,800千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化施設プレ展示 歴史文化施設の基本展示テーマの一つである「東海道」と「駿府城下町」の展示を行う。 令和3年9月～10月 市民ギャラリー</li> <li>○渋沢栄一に関する展示 <b>新規</b> 令和3年大河ドラマ「青天を衝け」放映にあわせ、歴史文化施設プレ展示内で、渋沢ゆかりの近代静岡の展示を行う。</li> </ul> <p>2 普及事業 <span style="float: right;">3,835千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○臨済寺所蔵資料調査報告会 6月実施 <b>新規</b></li> <li>○(仮称)今川館シンポジウム 2月実施 <b>新規</b></li> <li>○東御門・巽櫓リニューアル図録作成 <b>新規</b></li> </ul> <p>3 歴史観光・広報事業 <span style="float: right;">2,800千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史観光ガイダンス事業</li> <li>○プレ広報誌の発行 <b>新規</b></li> </ul>
------	---



市民団体との歴史観光連絡検討会の様子



駿府城石垣マップ(製作中)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	5,700	3,000			2,700
前年度予算額	12,000	3,000			9,000

目的	年齢や障害の有無を超えて、あらゆる人々が文化芸術活動に参加・交流できる環境を整備し、舞台芸術を通じた「生きがい」の創出とQOLを向上させ、人口活力を増進させる。
----	--



事業概要	<p>市内の健常者と障がい者が共に同じ舞台に立つ公演を実施し、障がい者が文化芸術活動に参加できる環境を整備するとともに、この取組を世界に向けて情報発信し、本市のプレゼンスの向上及び市民が主役の「まちは劇場」を推進していく。</p> <p>演劇ワークショップ及び発表公演開催 演劇スキルアップ講座、稽古型のワークショップ等により舞台表現力の向上を図り、成果発表としてミニ公演を開催</p> <p>○参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健常者クラス 20人程度</li> <li>・障がい者クラス 10人程度</li> </ul> <p>○発表公演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期 令和3年10月予定</li> <li>・会場 静岡市民文化会館中ホール</li> </ul>
------	---



(ワークショップ)



(発表公演)

写真：鈴木 元気

【拡充】

「まちは劇場」推進事業

まちは劇場推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	41,610	22,305			19,305
前年度予算額	37,574	15,185			22,389

目的	市内で開催されるフェスティバルが都市のシンボルとして世界中で認知されるためのブランド化及び国際発信力の強化を図るとともに、本市の国際的な認知度を向上させ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図る。
----	--



事業概要	1 「まちは劇場」ブランディング事業 <b>拡充</b> 23,000千円 県外、世界から人を呼び込む基盤を整備するためのブランディングを推進 ○市民が出演する「まちは劇場」を伝える動画を配信 ○地域資源を活用した市民参加型のアートプログラムの実施
	2 国内外プロモーション事業 5,000千円 統一タグライン (ON STAGE SHIZUOKA) を活用し、街中のフェスティバル感の演出や国内外プロモーションを展開
	3 フェスティバル評価システム構築事業 12,917千円 「まちは劇場」の推進に対し、フェスティバルの貢献度を検証するための評価システムの構築
	4 フェスティバル・シズオカ推進会議 616千円 パフォーミングアーツを中心とした「フェスティバル・シティ静岡」の実現を目的とした意見・情報交換の場
	5 国際文化芸術発信拠点形成推進会議 77千円 文化庁主催会議

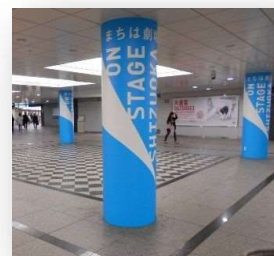
▼統一タグライン「ON STAGE SHIZUOKA」まちなかの展開例



商店街バナー



階段サイン



静岡駅北口地下柱ラッピング



【拡充】

まちは劇場推進課  
産業振興課

賑わい創出イベント（春フェス）

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	539,015	113,811		4,250	420,954
前年度予算額	560,215	122,531		4,000	433,684

目的	多くの市民が参加するイベントを開催し本市の文化的な魅力を増進させ、賑わいを創出する。また、幅広く情報発信することで、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちなの実現を目指す。
----	---



事業概要	1 静岡まつり <b>拡充</b> 80,565千円 第65回記念事業を含めた「大御所花見行列」等を実施 ○時期 令和3年4月2日（金）～4日（日） ○会場 駿府城公園、青葉緑地 ほか
	2 ふじのくにせかい演劇祭 41,400千円 世界の最先端の演劇作品を集めた演劇祭 ○時期 令和3年4月24日（土）～5月5日（水・祝） ○会場 静岡芸術劇場・舞台芸術公園 ほか
	3 SHIZUOKA PICNIC GARDEN 15,000千円 本市ならではの春の過ごし方、ライフスタイルを提案 ○時期 令和3年4月29日（木・祝）～5月5日（水・祝） ○会場 駿府城公園
	4 ストレンジシード 24,000千円 演劇・ダンスを中心としたパフォーマンスイベント ○時期 令和3年5月2日（日）～5日（水・祝） 予定 ○会場 駿府城公園、市街地各所 ○出演者数 20組 予定
	5 シズオカ・サンバカーニバル 4,000千円 サンバカーニバルチームによるパレード等を実施 ○時期 令和3年5月3日（月・祝）、4日（火・祝） 予定 ○会場 七間町通り、呉服町通り、青葉シンボルロード
	6 シズオカ×カンヌウィーク 4,700千円 カンヌ国際映画祭にあわせ、野外映画祭、マルシェ等を実施 ○令和3年5月15日（土）、16日（日）会場：七間町 5月22日（土）、23日（日）会場：清水マリパーク
	7 第59回静岡ホビーショー 10,000千円 世界最大級のホビーの祭典 ○時期 令和3年5月中旬 予定 ○会場 ツインメッセ静岡



静岡まつり



ストレンジシード



シズオカ×カンヌウィーク



事業概要	1 高等学校応援団フェスティバル 3,000千円 県内外の高等学校の応援団による応援パフォーマンスを披露 ○時期 令和3年6月26日（土）、27日（日） ○会場 静岡市民文化会館 予定
	2 清水七夕まつり 9,000千円 清水地区中心市街地の賑わい創出を図るために開催 ○時期 令和3年7月1日（木）～ 4日（日） ○会場 清水駅前銀座商店街から清水銀座商店街
	3 安倍川花火大会 42,200千円 安倍川河川敷での花火大会開催 ○時期 未定 ○会場 安倍川河川敷
	4 静岡夏まつり夜店市 10,000千円 静岡地区市街地の賑わい創出を図るために開催 ○時期 令和3年8月13日（金）～15日（日） ○会場 七間町通り、呉服町通り周辺
	5 （仮称）駿府城夏まつり 50,000千円 駿府城公園を中心とした、各団体や来場者による、まち一体型、来場者参加型のフェスティバルを開催 ○時期 令和3年8月21日（土）、22日（日） ○会場 駿府城公園、市街地各所
	6 清水みなと祭り 58,820千円 港かっぼれ総おどり、地踊り、マリンフェスタ、海上花火大会などを開催し、港まちの魅力を市内外に向けて情報発信 ○時期 令和3年8月27日（金）～29日（日） ○会場 清水区さつき通り及び日の出埠頭



応援団フェスティバル



清水七夕まつり



夜店市



安倍川花火大会

写真：市民カメラマン 望月 敏秀  
清水みなと祭り

事業概要

- 1 大道芸ワールドカップin静岡 105,180千円  
大道芸を中心としたパフォーミングアーツのイベントを通じて、本市の文化的な魅力を国内外に幅広く情報発信  
○時期 令和3年10月31日（日）～11月3日（水・祝）  
○会場 駿府城公園、静岡市民文化会館、市街地各所
- 2 富士山コスプレ世界大会 5,000千円  
コスプレイヤーの表現の場を提供するイベントを通じて、本市の文化的な魅力を幅広く情報発信  
○時期 令和3年11月20日（土）、21日（日） 予定  
○会場 清水駅前銀座商店街、清水駅東口広場 ほか
- 3 産業フェアしずおか2021 14,550千円  
家具や木製品など地場産業、農林水産物、観光など地元の産品等を一堂に集め、展示PRや体験・販売を実施  
○時期 令和3年11月27日（土）、28日（日） 予定  
○会場 ツインメッセ静岡
- 4 静岡市芸術祭  
市内文化施設において、各市民文化団体が活動の成果を発表  
○時期 令和3年10月3日（日）～11月14日（日）  
○会場 市民文化会館 静岡市民ギャラリー 静岡音楽館  
紅葉山庭園茶室 静岡市清水文化会館 清水テルサ



写真：大道芸ワールドカップ実行委員会  
大道芸ワールドカップ



富士山コスプレ世界大会



産業フェアしずおか2021



静岡市芸術祭

事業概要	<p>1 青葉シンボルロードイルミネーション 12,500千円                  中心市街地の賑わいの創出や回遊性の向上を図るために、青葉シンボルロードにイルミネーションを設置                  ○時期 令和3年11月～令和4年1月 予定                  ○会場 青葉シンボルロード</p>
	<p>2 (仮称)SDGs推進 TGC しずおか 2022(予定)                  /TGCしずおか連携事業 45,100千円                  SDGsの推進に係るイベント開催                  ○時期 令和4年1月上旬 予定                  ○会場 ツインメッセ静岡 予定</p>
	<p>3 静岡おでん祭 4,000千円                  本市を代表する食文化の一つである静岡おでんに関する情報を広く市内外に発信                  ○時期 令和4年3月18日(金)～20日(日) 予定                  ○会場 青葉シンボルロード</p>
	<p>4 七間町ハプニング                  静岡市文化・クリエイティブ産業振興センターが行うパフォーミングアーツ・フェスティバル                  ○時期 3月中旬 予定                  ○会場 七間町周辺</p>



静岡おでん祭



青葉シンボルロード  
イルミネーション



(仮称)SDGs推進 TGCしずおか



七間町ハプニング



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	11,105	2,000			9,105
前年度予算額	12,443	1,000			11,443

目的	<p>本市が目指すフェスティバルシティ先進地であり、朝鮮通信使事業で親交のある韓国・釜山市（釜山文化財団）との文化交流を通じて東アジアのハブとしての存在感を高め、本市の世界での認知度を向上させ、交流人口の増加及び地域経済の活性化を図る。</p>
----	--



事業概要	<p>1 朝鮮通信使交流事業                  ○「朝鮮通信使祭り」への芸能団体の派遣（韓国・釜山市）                  ○日韓文化交流公演（静岡市）</p> <p>2 フェスティバル交流事業                  ○「朝鮮通信使祭り」へのアーティストの派遣                  ○「大道芸ワールドカップ」へのアーティストの受入</p>
------	---

▼令和元年5月の朝鮮通信使祭りへのアーティスト、芸能団体の派遣



本市のアーティスト  
(KANA∞)



本市の芸能団体(城内一輪車クラブ)

▼令和元年10月の文化交流公演の様子 ▼令和元年11月の大道芸ワールドカップの様子



韓国芸能団体(舞踊団)



韓国アーティスト(火の精霊)

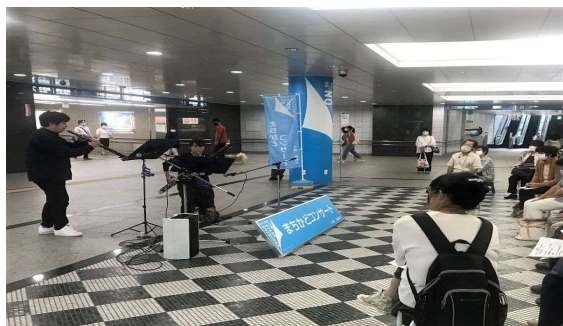
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	31,279				31,279
前年度予算額	34,700				34,700

目的	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートやオープンスペースでのコンサートを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。
----	--



事業概要	<p>プロのオーケストラによるコンサートを開催し、市民が生演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちかどコンサート                      まちなかや身近なオープンスペースにおいて、少人数のアンサンブル等の編成によるコンサートの開催                      ○実施回数 年41回                      ○会場 静岡駅北口地下広場、静岡市上下水道局庁舎、清水駅前銀座商店街 等</li> <li>2 学校訪問コンサート                      プロのオーケストラ（34人、54人編成）が市内小中学校等を訪問し、コンサートを開催                      ○実施回数 6回</li> <li>3 こども園訪問コンサート                      プロのオーケストラ（アンサンブル編成）が市内こども園を訪問し、コンサートを開催                      ○実施回数 14回</li> <li>4 親子コンサート                      乳幼児を含む親子が入場可能なホールコンサートを開催                      ○実施回数 年4回                      ○会場 静岡市民文化会館、静岡市清水文化会館、静岡音楽館AOI</li> </ol>
------	---



まちかどコンサート



こども園訪問コンサート



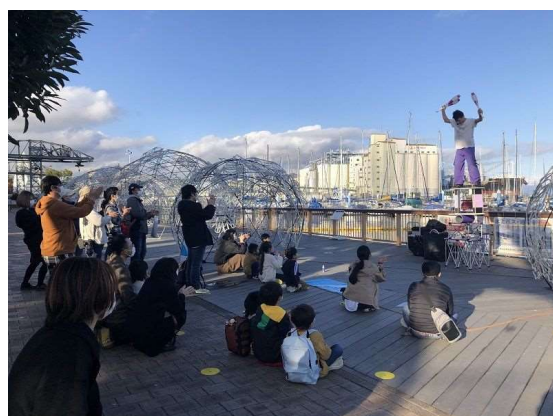
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,252				1,252
前年度予算額	1,278				1,278

目的	「まち」の様々な空間において、大道芸・音楽など様々なジャンルの文化に触れる機会、アーティストと市民が出会う機会を提供するとともに、地域経済の活性化及び交流人口の増加を図る。
----	--



事業概要	<p>1 パフォーマンススポットの管理・運営                  演技スポットの設定や関係者等との調整を行い、円滑に実施できるパフォーマンス環境を整える。                  ○まち劇スポット数 10か所                  (静岡駅北口地下広場、札ノ辻交差点、日本平県立自然公園等)</p> <p>2 パフォーマンス審査会の開催、ライセンス交付                  静岡市認定パフォーマーとして「まち劇スポット」で活動できるアーティストを審査、まち劇パフォーマーとして認定する。                  ○登録パフォーマー数 66組86人</p> <p>3 ストリートピアノの管理・運営                  まちなかに誰でも自由に気軽に弾くことのできるストリートピアノを設置し、音楽を通じて人と人とのつながりを生み出す。                  ○場 所 清水駅前銀座商店街</p>
------	---



まちは劇場パフォーマンス



ストリートピアノ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	118,921	52,834	52,900		13,187
前年度予算額	18,312	7,897	3,300		7,115

目的	江戸時代中期の大名陣屋である国指定史跡小島陣屋跡を歴史公園として整備し、『歴史文化の継承と交流の場』として公開・活用を図っていく。
----	---



事業概要	<p>石垣を多用した小城郭風の景観をとどめる小島陣屋跡に、現存する御殿書院建物を陣屋跡に移築復原し、誰もが楽しみながら歴史に触れることができる交流の場として整備していく。</p> <p>1 史跡整備実施設計 17,500千円 陣屋の石段や建物跡の整備 多目的広場・駐車場・トイレ・園路・案内看板の整備</p> <p>2 石垣修復工事 26,400千円</p> <p>3 御殿書院建物の移築復原工事 65,640千円 規模 木造平屋建 約140㎡ 期間 令和3～4年度</p> <p>4 駐車場用地の取得 7,885千円</p> <p>5 整備委員会の開催 200千円</p> <p>6 史跡の維持管理 1,296千円</p>
------	--



史跡小島陣屋跡



大手石垣



現存する御殿の書院



整備イメージ図

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	171,971	42,061	31,900		98,010
前年度予算額	179,124	63,831	7,900		107,393

目的	「三保松原」の価値や魅力の源泉である松原を保全するとともに、景観の回復や松原の再生を図り、名勝及び世界文化遺産である「三保松原」を世界に向けて発信していく。
----	--



事業概要	<p>1 松原保全事業 <span style="float: right;">60,181千円</span>                  三保松原の象徴である老齢大木を病気や倒伏から守る。                  ○枯れマツの伐倒駆除や薬剤散布などのマツ材線虫病防除                  ○羽衣の松周辺の土壌改良、踏圧防止                  ○老齢大木の樹木診断、倒伏防止</p> <p>2 松原再生事業 <span style="float: right;">110,927千円</span>                  三保松原を景観的に優れた健全な松林へと再生する。                  ○堆積松葉の除去や草刈り、除伐などの松原の日常管理                  ○松原保全ボランティアの支援                  ○圃場・苗畑、景観等の整備</p> <p>3 情報発信事業 <span style="float: right;">863千円</span>                  三保松原に関わる文化や景観、保全について発信する。                  ○名勝三保松原指定100周年関連事業の実施                  ○松原フォーラム、保全・活用団体を対象とした研修の実施                  ○松原総合情報サイト、音声ガイドシステムの運用</p>
------	--

松原保全事業

松原再生事業

情報発信事業



ドローンによる薬剤散布



ボランティア活動の支援



松原フォーラム



予防剤樹幹注入



圃場イメージ



大学とコラボした子ども向け研修



将棋・囲碁大会開催事業 (第80期A級順位戦最終局開催事業 囲碁関連事業開催事業) 文化振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,000				8,000
前年度予算額	8,000				8,000

**目的** 本市と徳川家康公及び今川義元公との結びつきを広く市内外へ広めていくため、囲碁と将棋を活用した歴史文化のまちづくりと地域経済の活性化を図る。



**事業概要**

1 第80期A級順位戦最終局開催事業 7,000千円  
将棋名人制度を創設した徳川家康公にちなみ、名人への挑戦者等を決める、トッププロ棋士10名によるリーグ戦「A級順位戦」の最終局を開催する。  
○時期 令和4年2月下旬から3月上旬 3日間  
○会場 浮月楼 ほか  
○内容 ・1日目 前夜祭(定員240名)  
・2日目 対局、大盤解説会(定員340名)、多面指し指導将棋(定員40名)、色紙サイン会(定員80名)  
・3日目 静岡市長杯こども将棋大会(定員小中学生100名)、将棋講座(定員50名)

2 囲碁大会開催事業費助成 1,000千円  
駿府城を中心に囲碁を普及させた今川義元公にちなみ、官民連携による継続的な顕彰事業を開催し、本市の歴史文化の発信と地域活性化を推進する。  
○駿府囲碁まつり  
・時期 令和3年10月下旬 ○会場 もくせい会館  
○今川義元杯静岡市民囲碁大会  
・時期 令和4年2月下旬 ○会場 静岡市民文化会館  
・内容 (共通) 囲碁大会、子ども大会、囲碁入門編講座

【将棋】



対局



大盤解説会



静岡市長杯こども将棋大会

【囲碁】



市長挨拶



大会の様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,400				11,400
前年度予算額	12,000				12,000

目的	本市の「心の公共財」である清水エスパルス等に対する市民の応援機運を醸成し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成等を図る。
----	---



事業概要	<p>1 清水エスパルスパブリックビューイング開催事業 2,600千円 ○概要 エスパルスアウェイゲームパブリックビューイングを開催する（1試合） ○時期 2021シーズン ○場所 東静岡駅北口広場（予定） ○対象 どなたでも（入場無料）</p> <p>2 清水エスパルス選手等派遣事業 1,000千円 ○概要 エスパルスの選手・マスコット等を、地域のイベントや学校行事等に派遣する。</p> <p>3 ホームタウンチーム誘客促進事業 <b>新規</b> 7,800千円 ○概要 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているホームタウンチーム支援のため、ホームゲームでの来場促進啓発品の配布や誘客促進イベントを実施する。 ○対象試合 2021シーズンホームゲーム2試合程度</p>
------	---



【パブリックビューイングの様子】  
(R2.11.21 東静岡駅北口広場)



【選手等派遣事業の様子】  
(R2.6.4 一斉休校明け選手学校訪問)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	115,395	31,441		1,965	81,989
前年度予算額	85,769	3,001		1,259	81,509

目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツ・文化の振興、静岡市の魅力発信、交流人口の増加、国際化や多様性に対応できる人材の育成・環境の整備を図る。
----	---



事業概要	<p>1 合宿の誘致・受入れ <span style="float: right;">76,549千円</span></p> <p>○ホストタウンの相手国・地域の事前合宿を受け入れ、合宿期間中や大会後に市民との交流事業を実施</p> <p style="padding-left: 20px;">受入団体 ・台湾陸上協会 ・スペインバドミントン連盟 ・モーリシャスオリンピック委員会、パラリンピック委員会</p> <p>○国内競技団体等への誘致活動及び合宿実施支援</p> <p>2 交流・啓発等</p> <p>○台湾陸上協会との高校生相互派遣 <span style="float: right;">6,336千円</span></p> <p>○オリンピック・パラリンピアン等との交流 <span style="float: right;">5,944千円</span></p> <p>○ライブサイト開催 <span style="float: right;">25,180千円</span></p> <p>東京2020大会の公式事業として、競技会場以外で大会を経験できるイベント（競技中継、競技体験、ホストタウン交流の取組み発表など）を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程 大会期間中 各3日間（予定）</li> <li>・会場 青葉イベント広場</li> </ul> <p>○聖火リレー関連 <span style="float: right;">1,386千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック聖火リレーサポートランナー</li> <li>・パラリンピック聖火リレー採火式</li> </ul>
------	---



台湾陸上選手との交流



パラアスリートとの交流

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,000				14,000
前年度予算額	14,574				14,574

目的	野球大会及び各種イベントの開催により、市民の野球熱の醸成や交流人口の増加を図る。 また、プロ野球地元球団創設構想の推進に向け、関係者との協議・連携等を図る。
----	---



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第3回静岡野球ウィーク開催費助成 <span style="float: right;">5,000千円</span>                      ○概要 ・文部科学大臣杯第13回全日本少年軟式野球大会（中学生軟式野球の全国大会）                      ・静岡野球まつり（小・中学生野球教室等）ほか                      ○日時 令和4年3月20日（日）～26日（土）                      ○会場 草薙総合運動場硬式野球場等</li> <li>2 大学野球オータムフレッシュリーグ in静岡開催費助成 <span style="float: right;">2,000千円</span>                      ○概要 東京六大学野球リーグ加盟大学などと地元大学・高校との交流試合、学童・未就学児野球教室など                      ○日時 令和3年11月19日（金）～21日（日）                      ○会場 草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場など</li> <li>3 楽天イーグルス市民交流事業 <span style="float: right;">2,200千円</span>                      ○概要 楽天選手OB等が小学校を訪問し、夢の大切さを伝える特別授業、オープン戦への小学生招待事業など                      ○日時 令和4年3月上旬（予定）                      ○会場 市内小学校、草薙総合運動場硬式野球場</li> <li>4 野球関係有識者等との協議・連携 <span style="float: right;">4,800千円</span>                      ○概要 野球関係有識者等との協議、施策推進に向けた検討・調査の実施など</li> </ol>
------	---



静岡野球ウィーク



楽天イーグルス市民交流事業



大学野球オータムフレッシュリーグin静岡





# 環 境 局

# 環境局 当初予算のポイント

<令和4年度(2022年度)の目指す姿> 第2次環境基本計画('15~'22)

## 人々が豊かな環境を育み 環境が健やかな人を育むまち・静岡

本市の豊かで多様な環境を未来の世代へ継承していくためには、「まちを育んできた多様な環境」と「環境を育む人」が相乗効果を生み、循環を基調とした**環境都市**となる必要がある。

そのためには、本市を交流の場とするあらゆる人々の心理に対し働きかける実践的な「伝える活動」をとおして、

- ①自ら考え判断し行動する「人」を育む土壌をつくる
- ②本市の豊かで多様な環境を未来の世代へ繋ぐ「伝え手」を育む
- ③「伝え手」により育まれた豊かで多様な環境により、より一層の都市の発展や新たな「伝え手」を育む

以上により、好循環な環境を創造していく。



## ポストコロナ

2つのLifeを大切に

Life(いのち)を守ろう  
【感染拡大の防止】

Life(暮らし)を取り戻そう  
【社会経済活動の維持】



新しい生活様式の実践



### 【生活環境】

- 環境保健研究所
  - ・現行施設の老朽化
  - ・検査機器の増加や大型化に伴う狭隘化
  - ・検査設備、安全設備不足
  - ・新たに発生が予測される感染症対応への懸念
- 合併処理浄化槽設置推進
  - ・単独処理浄化槽からの付け替えニーズの高まり
  - ・生活排水未処理世帯が多数残存

### 【自然環境】

- 外来生物適正管理
  - ・セアカゴケグモ、カミツキガメなど特定外来生物の発見情報の増加
  - ・アライグマなど有害鳥獣による生活被害
- 放任竹林対策
  - ・放任竹林の増加による景観悪化、生物多様性の低下
  - ・里山保全団体の活動継続の困難性(メンバーの固定化・高齢化)

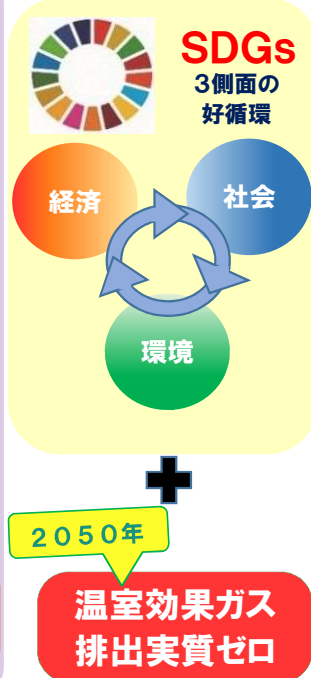
### 【地球環境】

- 気候変動への対応
  - ・短時間強雨や巨大台風の増加・激甚化
  - ・気温上昇に伴う熱中症患者の増加、生物生息域の変化等に伴う健康被害
  - ・2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた検討
- 「風電君」の撤去
  - ・故障による稼働停止
  - ・交換部品の調達困難
  - ・老朽化に伴う破損、倒壊等の危険性

### 【循環環境】

- 安定した廃棄物の収集運搬・処理体制の維持
  - ・現最終処分場の残余容量のひっ迫
  - ・清掃工場等施設・設備の劣化・老朽化
  - ・直営労務職員の減
- 「4R」の推進
  - ・ごみ排出量の抑制(プラスチックごみ・食品ロス等)

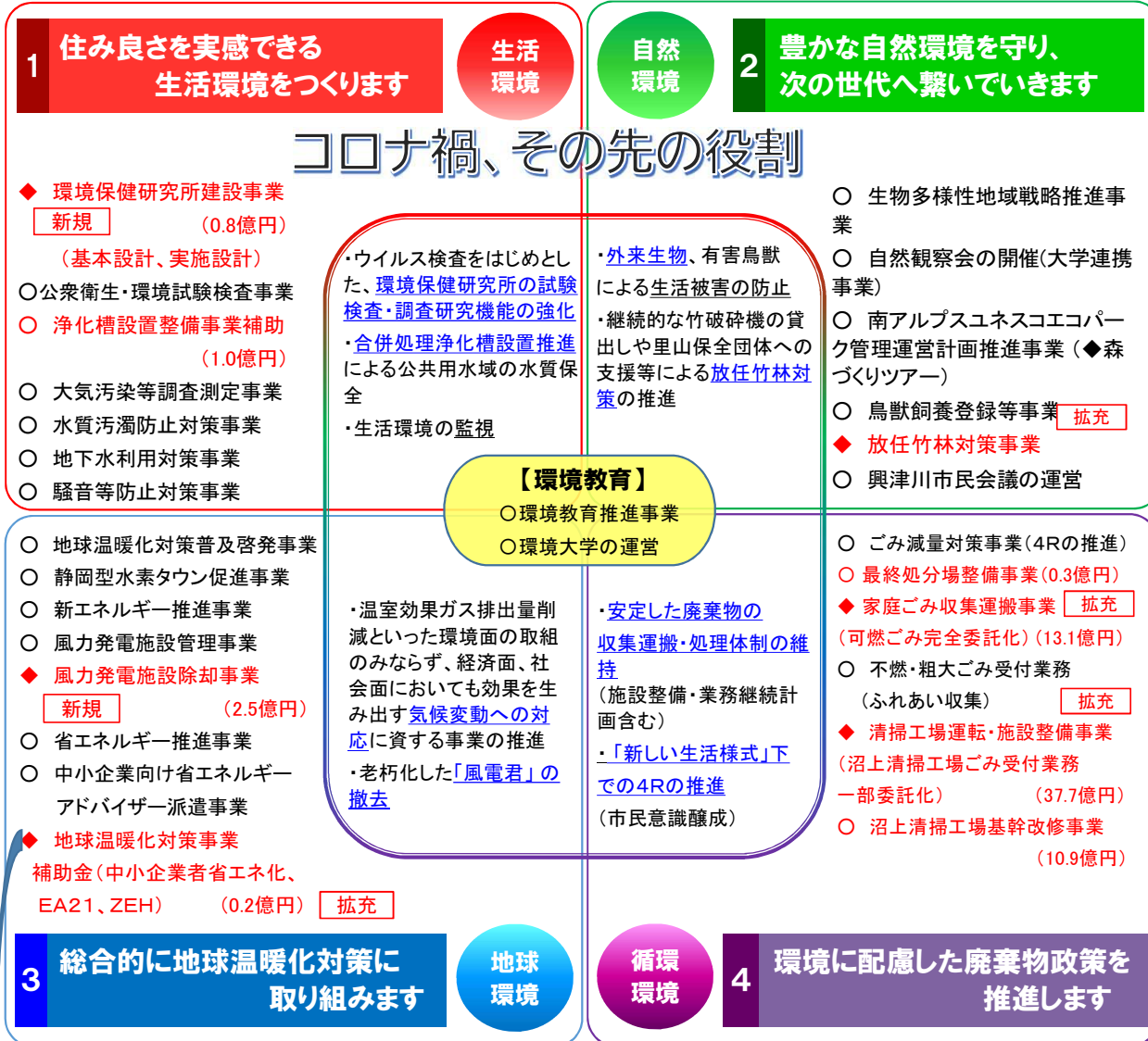
喫緊の課題 (問題)







# R3環境政策の施策体系

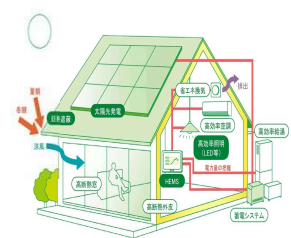


By 住環境改善 (省エネ化・高効率換気等)

For リモートワークの推進、移住定住促進、圏域経済の活性化、在宅避難

**◆ 戸建住宅における ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化支援事業(0.2億円)** **新規**

◆新規又は拡充事業 ○その他の事業



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,220			6,000	19,220
前年度予算額	9,500			6,000	3,500

## 目的

「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃未満に抑える」というパリ協定で定められた努力目標の達成を目指し、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて、地球温暖化対策を推進する。

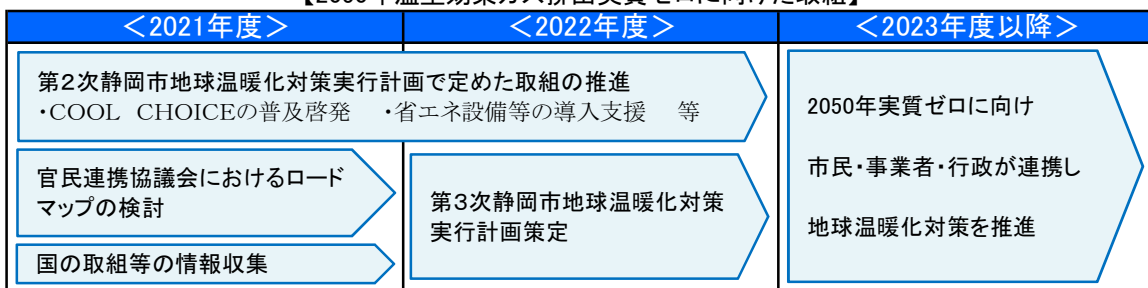


## 事業概要

市民及び事業者の地球温暖化対策を推進するため、ライフスタイルの変革を促すとともに、住宅及び事業所の省エネルギー化を支援する。また、実質ゼロに向け、経済界の協力のもと（仮称）脱炭素社会に向けた官民連携協議会を設置し、様々な意見や取組などを集約していく。

- 国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」の普及啓発  
8,000千円  
○事業者との協働による「COOL CHOICE」のPR実施
- 戸建住宅におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化支援事業 **新規** 15,000千円  
○静岡市内に戸建のZEHを建築又は新築のZEHを購入、ZEH化に向けた改修を行う個人に対して、建築又は購入、改修に係る費用の一部を補助  
・補助額 定額300千円（※ 国の補助制度と併用可）
- 中小企業者省エネルギー設備導入事業 1,920千円  
○中小企業者が市内の事業所に省エネルギー設備を導入する事業に係る費用の一部を補助  
・補助額 上限額200千円（対象経費の1/10）
- （仮称）脱炭素社会に向けた官民連携協議会運営事業 **新規** 300千円  
○実質ゼロを実現するためのロードマップ作成に向け、具体的な取組等について経済界と意見交換するための協議会の設置及び運営

## 【2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取組】



【新規】

環境保健研究所建設事業

環境保健研究所

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	81,968		37,700		44,268
前年度予算額					

**目的**  
 検査機器等の増加に伴う狭あい化及び建築後55年以上の経過に伴う老朽化が著しい環境保健研究所を移転整備することにより、検査体制、調査研究機能及び情報発信力の強化を図り、もって市民の生活環境及び健康に関する安全・安心を確保する。



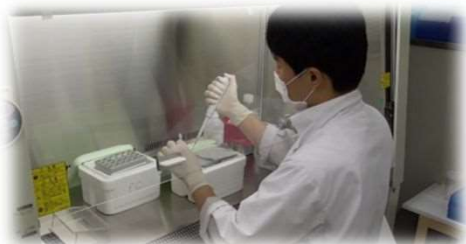
**事業概要**

1 設計（基本設計・実施設計） 74,000千円  
 2 地質調査等 7,968千円

○施設概要  
 ・場 所 駿河区曲金二丁目地内（静岡地方気象台横）  
 ・延床面積 2,000㎡～2,400㎡程度

○スケジュール  
 令和3年度 地質調査、基本設計・実施設計  
 令和4年度 地歴調査、土壌調査、埋蔵文化財発掘調査  
 令和5年度～ 建設工事  
 令和7年度 供用開始予定

環境保健研究所の主な業務



新型コロナウイルスなどの感染症検査



河川や地下水の水質検査



食品中の農薬検査



調査研究成果の定例発表会

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	102,872	46,236			56,636
前年度予算額	95,305	44,352			50,953

**目的**  
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道事業及び農業集落排水処理事業の認可区域外において、合併処理浄化槽の普及促進を図る。



**事業概要**

- 事業内容  
単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ付け替えを行う者に対する助成
- 補助対象・補助額（上限）
  - ・浄化槽設置費
    - 5人槽 332千円
    - 7人槽 414千円
    - 10人槽 548千円
  - ※一部区域については補助額上乘せ
  - ・宅内配管工事費 300千円
  - ※単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えの場合

【合併処理浄化槽への付け替え効果のイメージ】

河川が汚れてしまう…



写真出典：  
環境省発行パンフレット「浄化槽」を使って、身近な水をきれいにしましょう！」

公共用水域の水質保全に繋がります

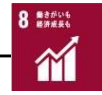


(興津川)

# 保 健 福 祉 長 寿 局



# 保健福祉長寿局 当初予算のポイント



## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

～人々ができるだけ長く健康で、安心して暮らし続けられる健康長寿のまちの実現～  
新型コロナウイルス感染拡大の経験を踏まえ、地域医療体制の確保や保健予防体制の更なる強化、福祉サービスの安定的供給に努め、安心して暮らし続けられる「健康長寿のまち」の実現を目指すと共に、地域に暮らす全ての人々が共に支えあう「共生のまち」づくりを推進します。

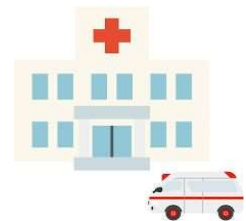
## 令和3年度の主な取組

### I 地域医療体制の確保 949,226千円（うち2月補正596,000千円）

#### 1 新型コロナウイルス感染症患者への対応を行う医療機関への支援

感染対策強化や、救急での発熱患者受入対応等、新型コロナウイルス対応に伴うかかり増し経費を助成することで、医療機関における負担感を軽減します。

- ① 公的病院事業費助成(2月補正)
- ② 新型コロナ感染症重症患者対応体制整備事業費助成(2月補正)
- ③ 清水病院運営費助成(かかり増し分)(2月補正)



#### 2 二次救急医療体制の維持・確保に向けた医療機関への支援

休日や夜間の二次救急医療体制(重症救急患者に対する医療)を確保すると共に、行政からの財政的支援が無い救急医療を担う公的病院に対し、救急医療体制の運営に係る経費を助成します。

- ① [継続] 病院群輪番制運営費助成
- ② [継続] 公的病院事業費助成



### II 保健予防体制の強化 4,065,859千円（うち2月補正1,283,000千円）

#### 1 保健所における新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症に関する相談受付や検査の実施、検査費や入院医療費の助成等を実施し、感染拡大防止に努めます。また、新型コロナウイルスワクチン接種の実施体制を速やかに確保します。

- ① [新規] 新型コロナウイルス感染症対策事業  
(相談受付、検査の実施、検査費助成、患者等の健康観察、入院医療費の助成等)
- ② [新規] 新型コロナウイルスワクチン接種事業(当初、2月補正)



ワクチン接種のイメージ

#### 2 福祉分野における感染拡大防止対策

介護施設等における感染拡大防止対策等への助成を実施するとともに、医療関係者が頻回に打合せを行う介護認定審査会のオンライン化を進め、感染防止及び利便性の向上を図ります。

- ① [新規] 介護施設における感染拡大防止対策支援
- ② [新規] 障がい児者施設におけるサービス継続支援  
(介護施設については、静岡県で実施予定)
- ③ [新規] 介護認定審査会のオンライン化



簡易陰圧装置

### Ⅲ 健康づくりの支援 867,167千円(うち2月補正10,210千円)

#### 1 健康維持やがん対策への取組

循環器や呼吸器など多くの臓器で慢性疾患の危険因子となり得る、歯周病の対策を加速します。  
また、がん対策として、新たに禁煙支援を行うとともに、脳梗塞に関する実証実験を支援することにより、健康寿命の延伸を目指します。

- ①[新規] はつらつスマイル推進事業(当初、2月補正)
- ②[拡充] がん対策推進事業
- ③[新規] 清水区脳梗塞予防実証実験事業



生きるを支えるキャラクター  
「いきるん」



#### 2 心の負担を軽減する取組

コロナ禍で人との接触が制限され、精神的不安が高まる中、多職種が同時に相談を受け、解決に至る糸口を整理すると共に、引き続きつなぎ支援を行うことで心の健康をサポートします。

- ①[新規] Lifeを守る自殺予防事業

### Ⅳ 高齢者を支える取組 1,101,522千円

#### 1 高齢者の健康づくりへの支援

動画配信や、自宅トレーニング用DVDの貸出しにより、コロナ禍でも自宅で運動を継続できる仕組みを用意し、高齢者のフレイル(虚弱)予防に努めます。

- ①[継続] 「しぞ〜かでん伝体操(介護予防体操)」の普及



#### 2 高齢者の地域での暮らしを支える体制づくり

- ①[継続] 地域包括ケアシステムの推進

#### 3 認知症の方を支える体制づくり

認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」を拠点に、普及・啓発に取り組むと共に、認知症本人や家族を地域で支える体制づくりに新たに取り組めます。

- ①認知症ケア推進体制整備事業
  - [新規] チームオレンジ運営支援事業、ピアサポート活動支援事業
  - [新規] 若年性認知症施策推進事業



脳の健康度チェック

### Ⅴ 共に支え合う体制づくり 23,765千円(うち2月補正6,566千円)

#### 1 福祉サービスへ繋げるための取組

生活に困難を抱える方に寄り添い、必要な福祉サービスに繋がるサポートをします。

- ①[新規] 再犯防止相談支援事業



静岡刑務所

#### 2 障がい者を支える取組

関係者間を調整するコーディネーターを配置することで、医療的ケアが必要な障がい児等が、必要なサポートを得て、希望する社会生活を送ることができるよう支援します。  
また、障がいのある方の、災害時における「避難計画(個別計画)」を策定するモデル事業を実施します。

- ①[新規] 医療的ケア児等コーディネーターの配置
- ②[新規] 障害者災害時体制強化事業



(千円)

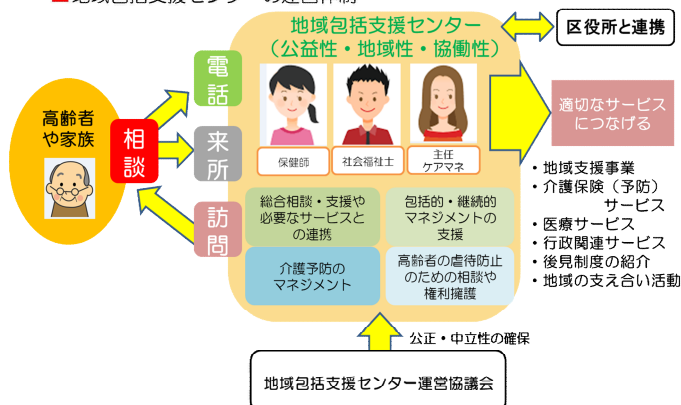
	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%ほか)	市債	その他	
当初予算額	1,016,601	587,086		233,820	195,695
前年度予算額	1,014,703	585,988		233,386	195,329

目的	医療、介護、地域住民の連携による支援体制を強化することにより、高齢者が医療・介護が必要な状態になっても、住み慣れた自宅ですっと最期まで安心して暮らせる体制を構築する。
----	---



事業概要	1 地域ケア会議の開催 <span style="float:right">2,702千円</span> ○高齢者の自立支援・重度化防止のため、多職種による地域ケア会議を活用して様々な社会資源が有機的に連携できる環境を整備
	2 「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業 <span style="float:right">5,586千円</span> ○「自宅ですっと」ミーティングの開催 ・小学校区における多職種連携を目的としたミーティング開催 ・退院後、在宅生活がスムーズに送れるよう、入退院支援を目的に病院や在宅医、ケアマネジャーなどでミーティング開催 ○市民啓発パンフレットの配布 ○在宅医療・介護連携実態調査（市民意識調査）の実施
	3 地域包括支援センター運営事業 <span style="float:right">896,011千円</span> ○地域包括支援センター（愛称 まるけあ）の運営 市内30の日常生活圏域において、29箇所のセンター及び2窓口（井川、由比）体制で高齢者やその家族を支援
	4 生活支援体制の整備 <span style="float:right">112,302千円</span> ○生活支援コーディネーターの配置 地域において、ボランティア等による高齢者の生活支援や見守りの体制づくりを行う ○生活支援体制整備のための協議体の設置 ○生活援助型（基準緩和型）訪問サービス従事者養成研修

■地域包括支援センターの運営体制



「自宅ですっと」ミーティングの様子

(千円)

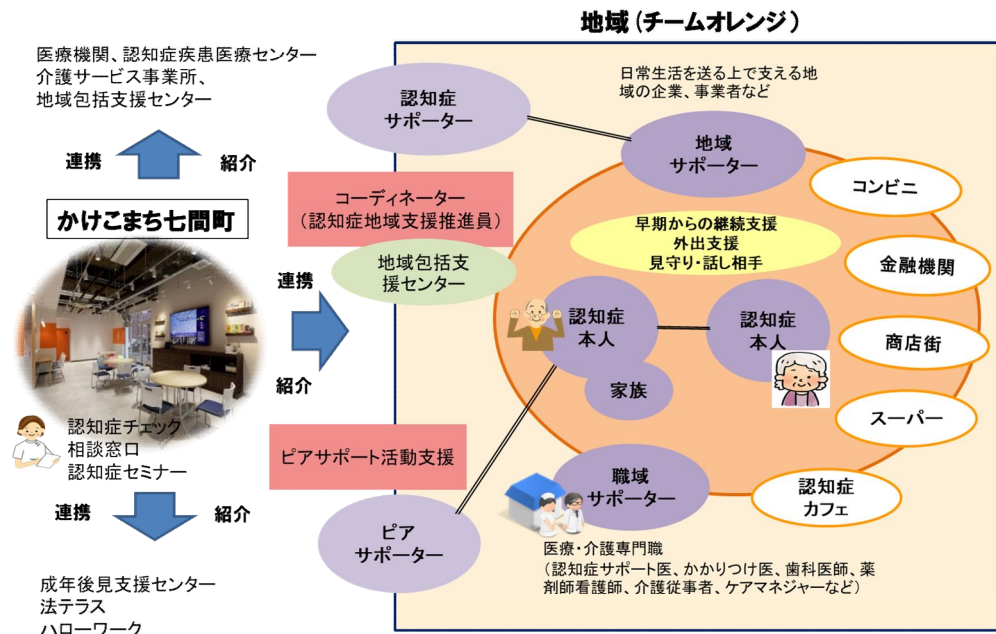
	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%ほか)	市債	その他	
当初予算額	24,541	13,100		5,642	5,799
前年度予算額	38,600	6,342		2,575	29,683

**目的**  
認知症になっても、希望を持って暮らし続けることができるよう、産学官民が連携して、認知症本人やご家族の支援の充実と全世代に向けた認知症の理解促進を図る体制を構築する。

**事業概要**

- 認知症ケア推進センターの運営 19,400千円  
 ○センターの管理運営、専門職配置、認知症チェック等の実施  
 ○リモートによる関係機関との連携体制の整備 新規
- アドバイザー講師による助言 300千円  
 ○学識者による、認知症に関する専門的観点や科学的見地からの助言
- チームオレンジ運営支援 543千円 新規  
 ○認知症サポーター等による地域サポート体制モデル事業を各区1か所で実施
- 若年性認知症施策推進事業 3,652千円 新規  
 ○調査のためのワーキンググループ開催  
 ○若年性認知症に関する実態調査（市民・事業所）  
 ○若年性認知症コーディネーターの配置
- ピアサポート活動支援事業 646千円 新規  
 ○認知症当事者による相談等支援活動の実施

“かけこまち七間町”を活動の拠点に、認知症本人と地域との連携





【拡充】

成年後見制度利用促進事業

福祉総務課ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国1/2、県1/4ほか)	市債	その他	
当初予算額	49,643	21,710		4,350	23,583
前年度予算額	43,412	17,204		3,145	23,063

**目的** 一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加するなか、市民が認知症などにより判断能力が低下しても地域で安心して自分らしく生活を営めるよう、市が関係団体と連携し、成年後見制度を必要とする人を利用につなげる支援体制を構築する。



<b>事業概要</b>	1 成年後見支援センターの運営 <span style="float: right;">21,195千円</span> ○相談支援（一般相談、専門相談）の実施 ○講演会、研修会の開催 <b>拡充</b> （対象者を相談機関のみからケアマネジャー等まで拡充） ○市民後見人の養成・支援 <b>拡充</b> ・市民後見人候補者及び市民後見人の活動支援 （新しく誕生した市民後見人の研修等の活動支援を開始） ・第2期市民後見人養成研修（実務編）の実施
	2 成年後見制度利用促進協議会等の実施 <span style="float: right;">432千円</span> ○協議会の開催等 構成員：弁護士等専門職団体 学識経験者 家庭裁判所職員等
	3 成年後見制度利用支援事業 <span style="float: right;">28,016千円</span> ○市長による後見制度の申立の実施 ○資力のない被後見人等への後見報酬の助成

▼ 静岡市成年後見支援センター開所式



▼ 広報・研修（講演会）



▼ 相談支援



▼ 市民後見人の養成・支援



成年後見制度とは？

判断能力が低下した方について、家庭裁判所が成年後見人、保佐人、補助人を選任し、本人の心身や生活の状況に配慮しながら、本人に代わって財産を管理したり、必要な契約を結んだりして、本人の生活を支えていくものです。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	17,926				17,926
前年度予算額	27,926				27,926

目的	アクティブシニアを中心に、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。
----	---



事業概要	市内2地区において、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域を一層推進する。
	<p>1 駿河共生地区 <span style="float: right;">10,322千円</span>                  コンセプト：交流・共生で「健康長寿のまちづくり」                  ○静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を中心に、次の事業を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進、共生、移住支援事業</li> <li>・民設民営の地域・多世代交流型住宅整備事業（令和3年8月開業予定）</li> </ul>
	<p>2 葵おまち地区 <span style="float: right;">5,588千円</span>                  コンセプト：「健康長寿なライフスタイル」                  ～大人のおまち暮らし～ブランド化                  ○葵区呉服町の再開発ビル「札の辻クロス」を中心に、次の事業を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し移住の機会を提供する葵おまち暮らし体験事業</li> <li>・移住者及び地域住民との地域交流を推進する事業</li> </ul>
	<p>3 2地区共通 <span style="float: right;">2,016千円</span>                  ○生涯活躍のまち静岡推進協議会開催、事業PR等</p>

駿河共生地区



地域交流拠点「みなくる」

葵おまち地区



地域交流拠点「札の辻クロス」

地域多世代交流型住宅 機能イメージ



地域交流拠点での活動の様子



おまち暮らし体験用居室

【新規】

## 再犯防止相談支援事業

福祉総務課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,874				3,874
前年度予算額					

## 目的

近年、刑法犯認知件数は減少する一方で、再犯者率は一貫して上昇を続けている。行政の関係機関や学識経験者、民間団体等が一体となり再犯を減らし、市民が犯罪による被害を受けることを防ぎ、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現を目指す。



## 事業概要

令和2年度策定予定の「静岡市再犯防止推進計画」に基づき、本市における再犯防止関連施策を総合的に推進する。

- 1 「再犯防止推進センター」の設置 830千円  
○既存の更生保護サポートセンターを市の再犯防止推進のためのセンターとしても位置付け、行政の窓口等への付添い支援のコーディネート業務を実施
- 2 再犯防止に向けた伴走型支援の実施 1,650千円  
○相談者が生活困窮状態を脱した後も、定期的に連絡をとる等の伴走型の支援を実施
- 3 各種研修会、講演会の実施 282千円  
○再犯防止推進員及び市職員向け研修や市民向け講演会を実施
- 4 再犯防止を支援するためのハンドブックの作成 238千円  
○犯罪をした者等の立ち直りを支援するサービスをニーズごとに整理したハンドブックを作成し、当事者、支援団体等に配布
- 5 「静岡市再犯防止推進協議会」の設置 874千円  
○行政の関係機関や学識経験者、民間団体等で構成する協議会の開催等



令和2年度 静岡市再犯防止推進計画策定委員会での議論の様子



市内の矯正施設(左から静岡刑務所、駿府学園(少年院)、静岡少年鑑別所)、民間団体等との連携

【新規】

はつらつスマイル推進事業

健康づくり推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	528				528
前年度予算額					

**目的** 「感染症に負けない健康づくり」として、循環器や呼吸器など多くの臓器で慢性疾患の危険因子となり得る歯周病の対策をはじめ、歯と口の健康づくりを推進することにより、「健康長寿のまち」実現を目指す。



**事業概要**

1 小学校におけるフッ化物洗口の推進 528千円  
むし歯予防効果の高いフッ化物洗口を小学校で実施

【令和2年度2月補正対応】 10,210千円

1 トリプル健診  
・ 特定健診・がん検診を同時受診した方に歯周病検診の自己負担金(600円)を無料にするクーポン券を配布  
・ 特定検診・がん検診・歯周病検診の同時受診が可能なトリプル検診の実施

2 オーラルフレイル普及啓発  
歯科診療所や高齢者の通いの場において、啓発を兼ねたアンケート調査を実施

3 中小事業所における歯科健診等の促進  
かかりつけ歯科医に繋がる取組として、中小事業所に歯科医師・歯科衛生士を派遣

はつらつスマイル推進事業  
(仮)歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらつスマイルプラン～(令和3年3月策定)



新型コロナウイルス感染症に負けない 健康づくり  
「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口の健康づくり」

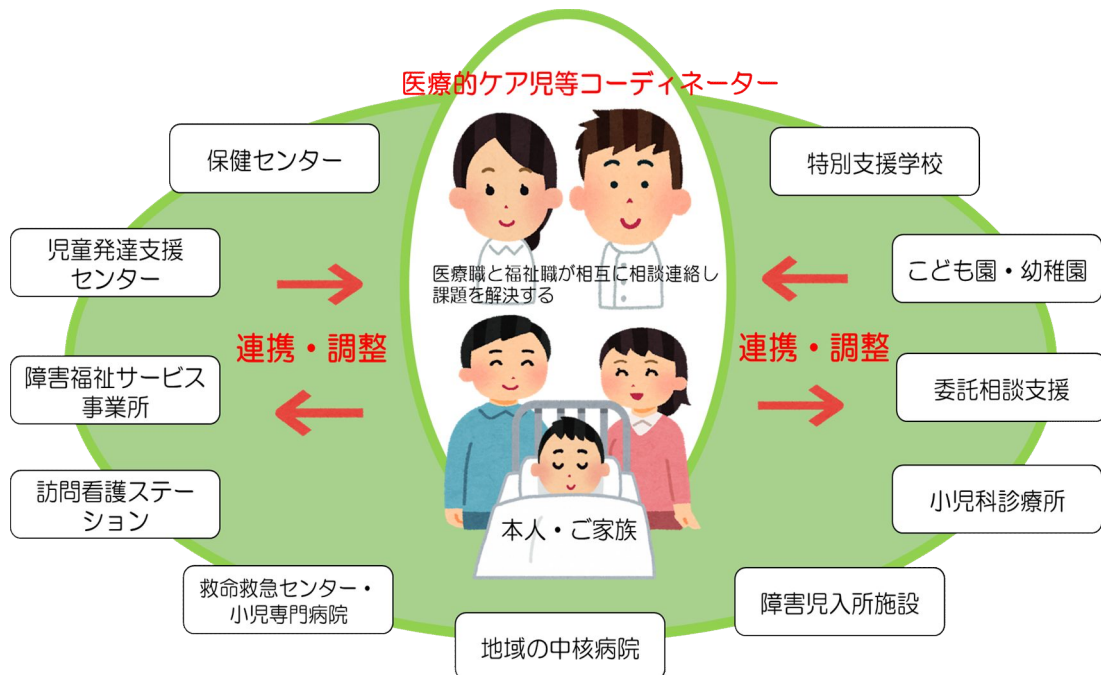
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2, 県1/4)	市債	その他	
当初予算額	11,927	8,944			2,983
前年度予算額					

目的	<p>医療的ケア児等が抱える様々な課題に対し、専門性の高い相談に対応できるコーディネーターを配置することにより、保健、医療、福祉、教育等のサービスを総合的に調整し、関連分野が連携しながら、医療的ケア児等と家族を支援する体制を整備する。</p>
----	---



事業概要	<p>医療的ケア児等コーディネーター2名の配置</p> <p>1 役割 幼少期から成人期にかけてのライフステージに応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○退院後の在宅生活のために地域資源と医療機関との調整</li> <li>○希望するこども園や学校への入園入学のために保護者とこども園・学校等関係機関との調整</li> <li>○災害等の緊急時対応のため生活介護事業所との連携強化等 ⇒本人・家族に寄り添った支援の実施</li> </ul> <p>2 配置 医療職及び福祉職 2名</p> <p>※医療的ケア児等とは 人工呼吸器の装着など日常生活を営むために医療を要する状態にある医療的ケア児及び、重度の身体障害と重度の知的障害が重複した重症心身障害児者</p>
------	---





【新規】

障害者災害時体制強化事業

障害福祉企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,638				1,638
前年度予算額					

**目的**  
障がいの有無に関わらず相互に尊重し、支え合い、地域で安心して自分らしく暮らすことのできる「共生都市」を実現し、障がいのある人が安全・安心に暮らすことのできる体制を構築する。



**事業概要**

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、以下の3点を実施。

- 障がいのある人一人一人の避難方法を予め定める  
「避難計画（個別計画）」策定の推進 **528千円**  
○「避難計画（個別計画）」記載内容の検討  
○計画相談支援事業所によるモデル事業の実施  
○計画相談支援事業所へのアドバイザー派遣
- 指定避難所（地域の避難所）における障がいのある人への対応力強化 **990千円**  
○障がいのある人のために掲示するサイン配備  
○地域の防災訓練へのアドバイザー派遣
- 福祉避難所（障がいのある人の二次的な避難所）の受入能力の向上 **120千円**  
○福祉避難所へのアドバイザー派遣

【令和2年度2月補正予算対応】 **6,566千円**  
○物品購入業務・スロープ（指定避難所）  
・パーテーション（福祉避難所）  
・アシストスーツ（福祉避難所）



個別計画策定 相談風景 イメージ



(千円)


	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	60,380	22,383		30,450	7,547
前年度予算額	67,127	24,945		33,791	8,391

**目的**  
高齢者が要介護状態に陥らないよう、身近な地域で介護予防体操（筋力アップ「しぞ〜かでん伝体操」・脳活性化「しぞ〜かちやきちやき体操」など）を実施し、健康寿命の延伸を図る。




**事業概要**

1 運動器機能向上事業	42,308千円
○動画視聴事業（個別対応） 「コロナに負けるな！自宅で実践！こつこつ介護予防」として、感染予防をしながら自宅で継続的に取り組めるようオンラインにて体操動画を配信する	
○しぞ〜かでん伝体操教室（集団対応） 各区拠点において教室を開催。教室終了後は住民主体の介護予防への参加に繋げる	
○介護予防効果検証事業 介護予防事業において既存の効果検証システムを活用したデータを収集し、大学による総合評価によりプログラム等の検証を実施する	
2 各種講座、普及啓発事業による周知活動	18,072千円
○主催及び依頼講座	
○おうちトレーニングセット（オリジナルDVD）の貸出し	



**【介護予防普及啓発事業】**  
(介護予防体操の普及)  
**体【運動】**



**知【社会参加】**  
**「介護予防活動」**



地域住民による  
体操グループ活動



**「体操動画視聴」**

オンライン  
配信

DVDを  
見ながら


**「体操教室」**  
短期集中！  
筋力・脳力アップ



**見える化**

**「筋肉量測定会・効果検証」**

筋肉量測定等による  
市民一人ひとりに  
健康意識



**「事業効果」**

①運動効果の見える化による運動継続の促進 ②効果の高いプログラム検証 ③オンライン配信により参加者の拡大

-98-

【新規】

福祉施設における新型コロナウイルス対策支援

障害者支援推進課・  
高齢者福祉課・介護保険課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10, 2/3)	市債	その他	
当初予算額	51,100	51,100			
前年度予算額					

目的	高齢者や障がいのある方の「生命（いのち）のLife」を守るため、介護施設・障がい児者施設等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や必要なサービスを継続して提供できるよう支援体制を構築する。
----	--



事業概要	<p>1 介護施設における感染拡大防止対策支援 37,600千円 ○簡易陰圧装置や換気設備の設置における経費の助成 ○多床室を個室化する経費の助成</p> <p>2 障がい児者施設におけるサービス継続支援 13,500千円 ○感染機会を減らしつつ、サービスを継続して提供するために必要な応援職員の人件費や衛生用品の購入などのかかり増し経費を助成（介護施設においては静岡県で実施予定）</p> <p>【令和2年度2月補正対応】 48,900千円 ○障害福祉分野におけるロボットやICT導入に必要な経費を助成</p>
------	--

1 感染拡大防止対策支援事業（イメージ）



簡易陰圧装置の設置



多床室の個室

2 サービス継続支援事業（イメージ）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2, 3/4)	市債	その他	
当初予算額	343,555	182,722			160,833
前年度予算額					

## 目的

新型コロナウイルス感染症に関する相談受付、検査センター運営、検査費助成、及び患者等の健康観察、入院医療費助成等を実施することにより新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。

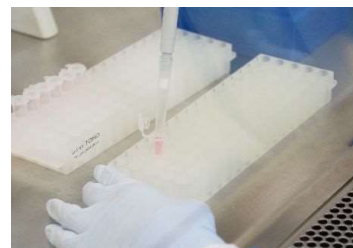


## 事業概要

- 1 発熱等受診相談センター支援事業 37,200千円  
委託看護師による毎日24時間の電話対応・発熱等相談
- 2 フォローアップ支援事業 9,600千円  
濃厚接触者等に対する健康状態の確認（健康観察）
- 3 行政検査自己負担額助成事業 168,697千円  
公費による行政検査自己負担額の助成
- 4 PCRセンター運営事業 31,120千円  
各区1か所に設置するPCRセンターの運営
- 5 患者等搬送事業 20,325千円  
家族等により移送ができない感染疑い者及び患者の搬送
- 6 PCR検査外部委託事業 26,683千円  
外部検査機関等への検査委託
- 7 入院患者の医療費助成事業 49,930千円  
公費による入院医療費自己負担額の助成



静岡市PCRセンター（ドライブスルー）



PCR検査



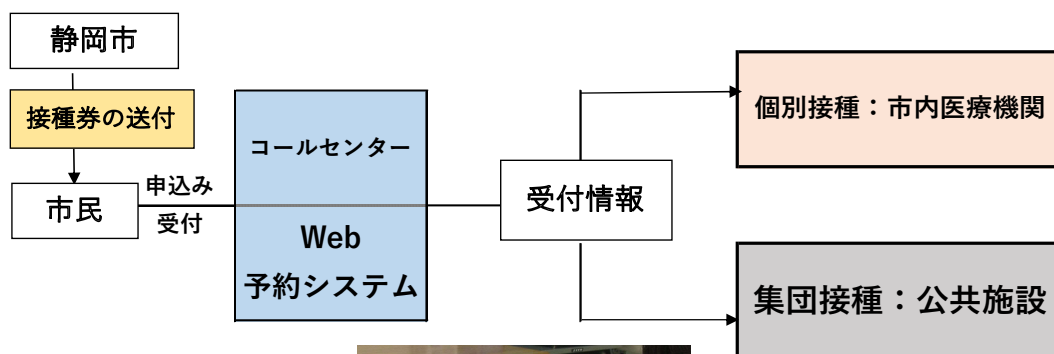
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	2,387,000	2,387,000			
前年度予算額					

目的	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施することで、感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守る。
----	--



事業概要	新型コロナウイルスのワクチン接種(一人あたり2回・無料)を集団接種と個別接種を併用し進める。	
	1 接種時期	令和3年3月下旬以降(予定)
	2 接種会場	○個別接種 市内医療機関(調整中) ○集団接種 区役所・保健福祉センター等の公共施設(調整中)
	3 接種順序	医療従事者、高齢者、基礎疾患がある人等から実施する(予定)
	4 接種手順	接種券が静岡市から市民へ送付される → 市のコールセンター又は予約システムで申込み
	5 接種規模	令和2年度 約 109,000件 令和3年度 約1,291,000件 計 1,400,000件(全市民対象件数)
	【令和2年度2月補正対応】	1,283,000千円
	ワクチン接種体制の整備及び接種開始事業 ○コールセンター業務、接種券の発送等 ○令和3年3月接種予定者(高齢者等)の接種	



ワクチン接種のイメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	353,226	18,200			335,026
前年度予算額	351,405	18,173			333,232

目的	新型コロナウイルス感染症対応を行う医療機関や、救急医療体制の維持・確保に向けた医療機関への支援を行うことにより、地域医療体制の確保を図る。
----	---



事業概要	<p>二次救急医療体制の維持・確保に向けた医療機関への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公的病院事業費助成 60,000千円 公的病院における救急医療体制の維持に要する経費を助成</li> <li>○病院群輪番制運営費助成 293,226千円 休日及び夜間の二次救急医療を担う病院が実施する病院群輪番制運営事業に対する助成</li> </ul> <p>【令和2年度2月補正対応】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応を行う医療機関への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公的病院事業費助成 340,000千円 発熱患者等受入に係るかかり増し経費に対する助成</li> <li>○新型コロナウイルス感染症重症患者対応体制整備事業費助成 223,000千円 重症患者等への対応体制の確保に必要な人件費に対する助成</li> <li>○清水病院運営費助成 33,000千円 新型コロナウイルス感染に対応するためのかかり増し経費に対する助成</li> </ul>
------	---

《新型コロナウイルス感染症対応を行う医療機関》



【拡充】

がん対策推進事業

健康づくり推進課・保健衛生医療課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	826,362	5,777		931	819,654
前年度予算額	828,892	5,849		2,034	821,009

目的  
がんのリスクを高める喫煙の対策やがん検診の実施により、がん予防と早期発見を推進するとともに、たとえがんになっても暮らしやすい社会の実現を目指し、ニーズに沿ったサービス等に係る経費の一部を助成し、がん患者等の支援の充実を図る。



事業概要	1 がんの予防と早期発見の推進(健康づくり推進課)	
		○禁煙支援事業 <b>新規</b> 599千円 対 象 医療機関で禁煙治療を行った20歳以上の市民 対象人数 50人 補助率：禁煙治療に要した経費の1/2 (上限額 1万円)
	○がん検診事業 816,134千円 各種がん検診及びがん検診受診率向上に向けた施策を実施	
事業概要	2 がん患者等の支援(保健衛生医療課)	
	○若年がん患者等生殖機能温存治療費助成 1,240千円 対 象 がん治療により生殖機能が低下し、又は失われる可能性があると診断された40歳未満の者 対象経費 精子、卵子等の採取から凍結保存するまでの一連の医療行為に係る経費	
	○がん患者医療用補整具購入費助成 6,940千円 対 象 がん治療にて脱毛、乳房を切除した者 対象経費 医療用補整具の購入に要する費用	
	○若年がん患者等在宅療養生活費助成 1,449千円 対 象 在宅療養の40歳未満の末期がん患者 対象経費 訪問介護・訪問入浴介護や福祉用具貸与、福祉用具購入に要する費用	

がん対策推進事業

(仮)静岡市がん対策推進計画(令和3年3月策定)

《禁煙支援事業》



《がん検診》



《生殖機能温存治療費助成》



《医療用補整具購入費助成》



《在宅療養生活支援助成》



「ふたりにひとり」をみんなで支える静岡市

【新規】

清水区脳梗塞予防実証実験事業

保健衛生医療課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	28,030				28,030
前年度予算額					

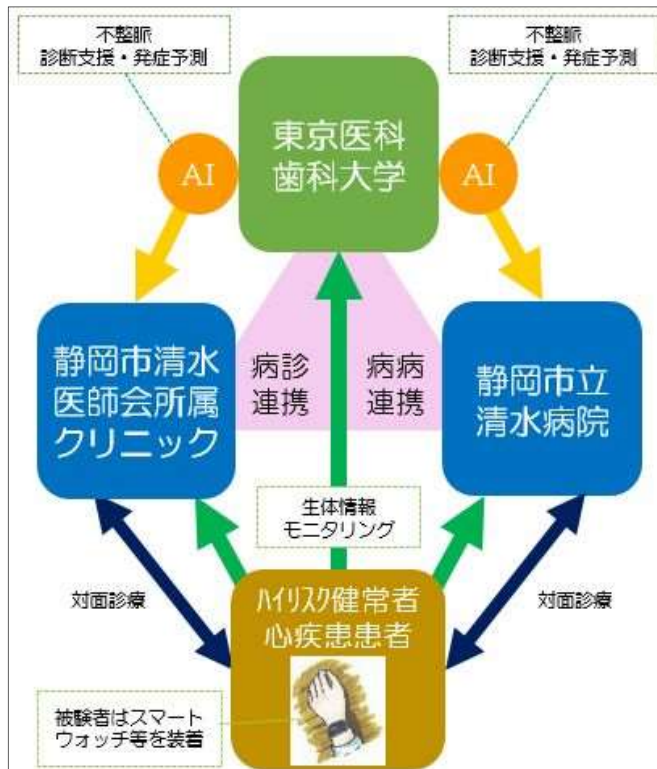
**目的**  
東京医科歯科大学、静岡市清水医師会及び静岡市の三者が連携し、脳梗塞の原因の一つである心房細動を、AIなどを用いて発症予測する実証実験を実施することにより、脳梗塞の予防及び健康寿命の延伸に結びつける。



**事業概要**  
心房細動を要因とする脳梗塞予防のための実証実験に要する経費の一部を負担する。

- 実施期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- 実施対象地域 静岡市清水区
- 実施主体 東京医科歯科大学  
静岡市清水医師会、静岡市
- 事業規模 3,000人程度
- 内容
  - ・健康診断の結果等から被験者を抽出
  - ・生体情報はスマートウォッチ等によりクラウドに送信
  - ・異常なデータをAIが察知した場合は、AIがアラートを発出し、医師が診察を行う
  - ・心臓カテーテル治療等が必要になった場合は、清水病院の循環器医師が治療を実施

※ 心房細動（しんぼうさいどう）  
心房が痙攣したように細かく震え、血液を送り出せなくなる病態。これにより心房内で「血栓」が生成、「血栓」が血流にのって全身に運ばれ血管を詰まらせる。  
特に脳の血管が詰まると「死亡」したり「重い後遺症」に悩まされる可能性がある。  
心房細動患者の1/3は自覚症状が無いとされている。









# 子ども未来局

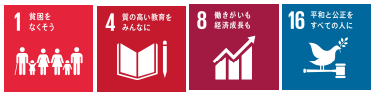
令和4年度（2022年度）の目指す姿

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」の推進

子どもの育ちを市民が一体となって支え、人とのつながりの中で、すすんで社会に参画する若者をはぐくむために、「子ども・若者支援」、「子育て支援」、「地域による支援」の3つの視点に立ち、各事業を推進します。

● 子ども・若者支援

すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現



● 子育て支援

子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現



● 地域による支援

地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現



令和3年度の主な取組

凡例 【●】：子ども・若者支援、【●】：子育て支援、【●】：地域による支援、【★】：「新たな日常」に対応した社会の実現に向けた事業

妊娠・出産期から青年期までの「切れ目のない」支援

1 妊娠・出産期 ～ 安心して産み育てることができるように ～

◆妊娠前から出産後までの支援◆

- 不妊治療費助成【●】[拡充] 260,900千円
- 妊産婦総合対策事業【●】【★】[新規] 96,208千円 【2月補正】
  - PCR検査等を希望する妊婦への検査費用の助成、
  - 新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援
- 産婦健康診査事業【●】[継続] 37,930千円
- 産後ケア事業・ママケアデイスサービス事業【●】[継続] 20,092千円



2 乳幼児期 ～ 健やかな育ちを支えるために ～

◆保育の担い手の確保、保育環境の向上◆

- 私立こども園・保育所等運営費助成【●】【●】[拡充] 1,715,898千円
  - 0歳児の受入に係る職員配置への支援等（乳児受入体制確保支援事業）
- 私立こども園・保育所等における感染症拡大防止対策事業費助成【●】【●】【★】[新規] 87,700千円

【2月補正】



◆待機児童対策◆

- 私立認定こども園・保育所等整備【●】【●】[継続] 333,197千円
  - 135人分の受皿を確保

◆発達の早期支援◆

- 発達早期支援事業【●】[継続] 6,566千円





### 3 学童期 ～ 健全な育ちと自立を支えるために ～

#### ◆放課後児童クラブの待機児童解消◆

- 放課後児童クラブの運営【●】【●】【●】[拡充] 1,110,787千円
  - 全83クラブの運営、支援員の処遇改善
- 放課後児童クラブの整備【●】【●】【●】[継続] 8,846千円
  - 1クラブの整備
- 民間放課後児童クラブ運営費助成【●】【●】【●】[拡充] 65,862千円



#### ◆児童の健全な遊び場◆

- 児童館改修事業【●】【●】【●】[継続] 15,380千円

### 4 青年期 ～ 新しい世代につなげるために ～

#### ◆地域に根付いた若者の育成◆

- 成人の日行事【●】【★】[継続] 10,325千円



#### ◆結婚への支援◆

- しずおかエンジェルプロジェクト【●】【●】[継続] 1,284千円
- 結婚新生活支援事業費助成【●】[拡充] 9,000千円



### 困難を有する子ども・若者への支援 ～すべての育ちを支えるために～

#### ◆インクルーシブ保育の推進◆

- 私立こども園・保育所等特別支援保育事業【●】【●】[拡充] 271,502千円
  - 障害児及び医療的ケア児の受入に係る職員配置への支援、各園を巡回して助言等の支援を行うアドバイザーの設置
- 市立こども園医療的ケア児受入事業【●】【●】[新規] 14,609千円
  - 医療的ケア児を受け入れるため、看護師による医療的ケアを実施



#### ◆要保護児童への支援◆

- 里親家庭支援（里親委託の推進）【●】[継続] 25,076千円
- 家庭的養育推進施設整備助成【●】【●】[新規] 55,686千円
  - 児童養護施設の小規模かつ地域分散化のための整備に係る費用を助成

#### ◆不登校・ひきこもり対策◆

- 適応指導教室の運営【●】[継続] 11,704千円
- ひきこもり対策の推進【●】【●】[拡充] 28,372千円



#### ◆子どもの居場所への支援◆

- 子どもの学習・生活支援【●】【●】[継続] 21,900千円
- 子ども食堂交流・居場所づくり支援【●】【●】[継続] 174千円

### 情報発信

- 子育てしやすいまちのPR【●】[継続] 4,082千円
  - 子育てキャッチフレーズ “あったかしずおか のほん子育て ちょうどいいしずおか” のPR
  - 移住希望者向けセミナーの開催（企画課と連携）
  - 子育てハンドブック、子育て応援総合サイトちやむ、子ども未来局SNS（Facebook、Twitter）からの情報発信



【拡充】

## 不妊治療費助成

子ども家庭課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	260,900	121,450			139,450
前年度予算額	228,311	79,912			148,399

## 目的

子どもを持つことを望む夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費が高額となる不妊治療、不育症に係る費用の一部を助成する。

## 事業概要

- 特定不妊治療(体外受精等)** 242,900千円  
**対象者** 静岡市内に住所を有する夫婦(事実婚を含む) **拡充**  
 治療開始時に妻の年齢が43歳未満  
 指定医療機関で治療  
**補助額** 新鮮胚移植等 1回30万円 **拡充**  
 冷凍胚移植等 1回10万円 **拡充**  
**助成回数** 子ども一人ごと6回(40歳以上43歳未満3回) **拡充**
- 一般不妊治療(人工授精)** 17,766千円  
**対象者** 静岡市内に住所を有する夫婦(法律婚のみ)  
 治療開始時に妻の年齢が40歳未満  
**補助額** 治療費の7割を助成(上限6万3千円)
- 不育症** 234千円  
**対象者** 静岡市内に住所を有する夫婦(法律婚のみ)  
 各種健康保険に加入していること  
 医療保険適用の検査  
**補助額** 1年度につき上限10万円  
 (保険適用治療等の自己負担額の1/2)

## ■特定不妊治療の変更点

## 現行の支援制度

**対象者**：静岡市内に住所を有する夫婦(法律婚のみ)

**補助額**：新鮮胚移植等  
 1回目 30万円  
 2～3回目 20万円  
 4回目以降 15万円  
 冷凍胚移植等 7.5万円

**助成回数**：通算6回

## 拡充

**対象者**：静岡市内に住所を有する夫婦(事実婚を含む)

**補助額**：新鮮胚移植等  
 1～6回目 30万円  
 冷凍胚移植等 10万円

**助成回数**：1子ごと6回

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,092	9,634		822	9,636
前年度予算額	20,809	9,993		822	9,994

## 目的

安定した育児環境の確保と母子の孤立感の解消を図り、もう一人産みたくなる環境を整えるため、助産師等による産後の母体の回復に向けたケアや育児指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援・交流・休息の場の一体的な提供（ママケアデイサービス事業）を行う。

## 事業概要

- 産後ケア事業 13,393千円
  - 産後の母親の心身のケアや育児に関する相談支援を助産師が提供する事業（通年実施）  
（対象）・生後4か月未満の乳児とその母親で、産後の母体の回復や育児等に関しての不安が強い方
  - 実施種別（1日あたり利用者負担額）
    - ・宿泊型 助産所等に宿泊（8,300円）
    - ・日帰り型 助産所等に通所
      - 【相談と休息タイプ】1回7時間程度（4,600円）
      - 【相談タイプ】1回120分程度（2,800円）
    - ・訪問型 助産師等が対象者宅を訪問（2,800円）
- ママケアデイサービス事業 6,699千円
  - 母親の悩みに応える相談支援、休息、交流の場の一体的な提供を行う事業
  - 市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施  
（対象）生後4か月以上1歳未満の乳児とその母親
  - 1回あたり利用者負担1,500円

## 産後ケア事業



母体の回復に向けた心身のケアや育児指導を提供

相談支援・交流・休息の場を一体的に提供

母のみの利用も可能  
（長期入院等、やむを得ない理由で乳児が外出できない場合）

## ママケアデイサービス事業



官民協働！

民間宿泊施設、温泉施設を活用

【拡充】

保育士の確保対策  
(保育士確保対策事業／乳児受入体制確保支援事業)

幼保支援課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	119,303	4,923		27,000	87,380
前年度予算額	5,800	2,900			2,900

目的 私立こども園・保育所等における質の高い教育・保育の提供を維持するため、保育士の就労支援等を行うとともに、安定的な雇用を維持するため支援を行う。



事業概要

- 1 保育士確保対策事業 **拡充** 9,846千円  
必要な保育士の確保を図るため、求職者と求人者のマッチングや就職相談会の開催を通して、潜在保育士の再就職支援等を行うとともに、新たに以下の内容を拡充する。  
・現職保育士に対する就業継続に向けた相談  
・保育補助者等のマッチング  
・保育所等巡回による情報収集やヒアリングによるマッチング機能の向上
- 2 乳児受入体制確保支援事業 **新規** 109,457千円  
保育士の安定的な雇用を維持し、育休復帰等で年度途中の申込が中心となる0歳児（乳児）を円滑に受け入れられるよう、年度当初から必要な0歳児クラスに係る保育士の人件費を助成する。



保育士の安定的な確保





(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/3、1/6)	市債	その他	
当初予算額	1,187,934	789,662			398,272
前年度予算額	1,342,882	916,143	29,500		397,239

## 目的

放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるようにするため、施設整備を行うとともに、民間児童クラブへの支援を進める。また、放課後児童クラブを利用しやすい環境を整えるため、利用者負担の軽減・開所時間延長などを行い運営の充実を図る。



## 事業概要

令和3年度 当初の受入児童数 6,675人

- 1 放課後児童クラブ室の整備 8,846千円  
○1室のクラブ室整備(35人)
- 2 放課後児童クラブの運営 1,110,787千円  
○令和2年度整備クラブ室の増加  
83クラブ(198室) → 83クラブ(203室) **拡充**  
○支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員全体の処遇を見直し **拡充**  
○開所時間を原則19時まで延長  
○世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減
- 3 放課後児童クラブへの助成 68,301千円  
○基準を満たす民間児童クラブに対し、支援員処遇改善経費等を含む運営費を助成  
○世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブの利用者負担額を軽減
- 4 放課後子ども教室(教育局)との連携による放課後児童対策の推進  
○地域住民の参画により、放課後、学校施設を利用して全学年の児童を対象に安心・安全な体験・交流の場を提供する「放課後子ども教室」との連携を進めることで、放課後児童対策を推進  
放課後児童クラブとの一体型 67校  
(放課後子ども教室 82校実施予定)

## 放課後児童クラブの様子



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	10,284	6,617			3,667
前年度予算額	12,016	5,929			6,087

## 目的

未婚化・晩婚化に伴う少子化への対策のため、独身男女の出会いの機会の創出を通じた、婚活への第一歩の踏み出し支援、一定の所得未満の新婚世帯の新生活に係る費用を助成し、経済的負担を軽減する。

## 事業概要

- しずおかエンジェルプロジェクト推進事業 1,284千円
  - 出会いの機会の創出、婚活への第一歩の踏み出し支援に向けた出会いイベント開催
    - ・セミナー付き出会いイベントの開催
    - ・親の代理婚活の開催
  - 婚活サポーターの養成・活用
    - ・出会いイベントで成立したカップルへのフォローアップ
- 結婚新生活支援事業費助成 9,000千円
  - 対象となる世帯
    - ・令和3年4月1日から令和4年3月31日までに婚姻届を提出した世帯
    - ・本市に住民票がある世帯
    - ・婚姻日における年齢が夫婦とも39歳以下
    - ・夫婦の所得の合計が400万円未満の世帯
    - ・結婚、妊娠、出産などの講座を受講した世帯
  - 補助対象となる経費
    - ・新規の住宅取得費用
    - ・新規の住宅賃借費用  
(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料)
    - ・結婚に伴う引越し費用
  - 補助上限額
    - ・29歳以下 30万円→60万円 **拡充**
    - ・30歳以上39歳以下 30万円

## ★出会いイベントの様子



## ★結婚新生活の助成



【新規】

インクルーシブ保育の推進①  
市立こども園医療的ケア児受入事業

こども園課

(千円)

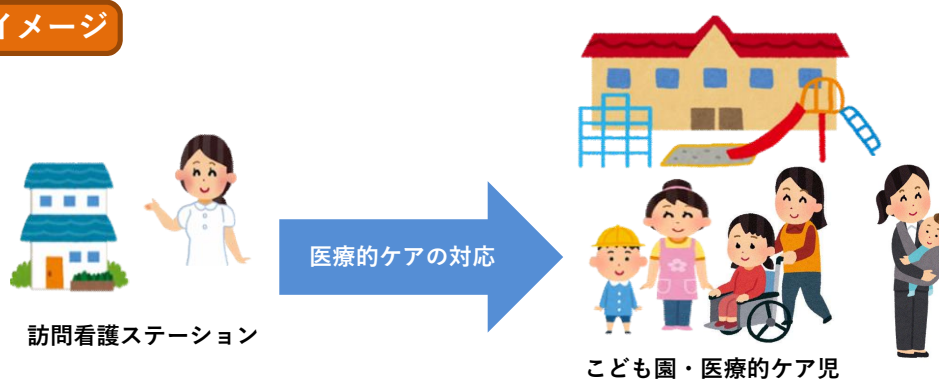
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	14,609	7,304			7,305
前年度予算額					

目的	障がいの有無にかかわらず、全ての子どもが共に学び、成長できるようにインクルーシブ保育を推進するため、市立こども園で医療的ケア児の受入れを行い、様々な人との出会いなど多様な体験の場を提供する。
----	---



事業概要	<p>令和3年4月から市立こども園で、看護師による医療的ケアを実施し、集団保育が可能な医療的ケア児を受入れる。</p> <p>○対象とする医療的ケア 導尿、経管栄養、たん吸引及びその他園で対応が可能なもの</p> <p>○対象児童の年齢 0歳児から5歳児まで</p> <p>○医療的ケア実施方法 訪問看護ステーションから対象園に看護師を派遣し、医療的ケアを実施</p> <p>※インクルーシブ保育：全ての子どもが共に育ち、学んでいけるように、それぞれの発達に寄り添った教育・保育を行うこと、障害の有無に関わらず誰もが個々の違い・個性を認め合いながら共に学ぶこと。</p>
------	---

## 事業イメージ

医療的ケア児の主治医との連携

医療的ケアを安全かつ適正に実施するため、主治医と連携をしていく。

関係機関との連携

医療的ケア児について、園医に情報提供を行う。また、福祉部門の医療的ケア児等コーディネーター等との連携を図っていく。

【拡充】

インクルーシブ保育の推進②  
私立こども園・保育所等特別支援保育事業

幼保支援課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	271,502	2,904			268,598
前年度予算額	200,300				200,300

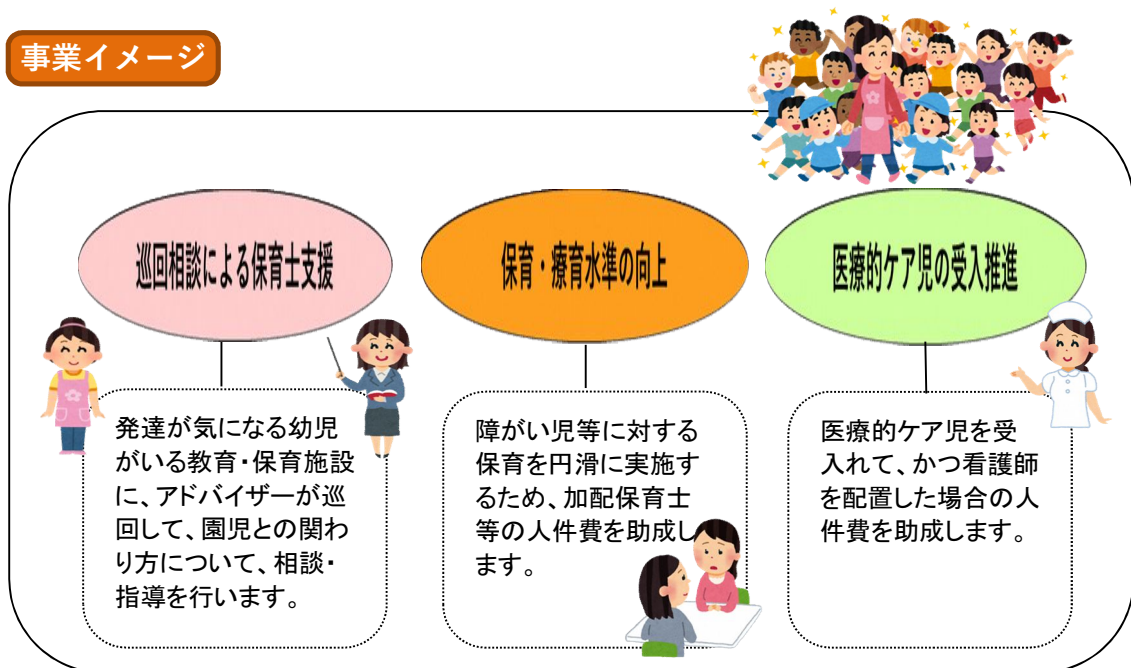
**目的**  
私立こども園や保育所等における特別な支援が必要な子どもたちの受入体制を促進し、全ての子どもたちが共に学び、成長できるようにインクルーシブ保育を推進する。



**事業概要**  
障がいや医療的ケア等の支援が必要な乳幼児が、円滑に教育・保育施設を利用できるよう、私立こども園や保育所等の受入体制を支援する。

- 特別支援保育に係る職員支援事業
  - 障害児保育に係る保育士支援 264,506千円  
・保育士等の加配に要する人件費を助成。
  - 医療的ケア児に係る看護師支援 **新規** 5,808千円  
・医療的ケア児を受け入れて、かつ看護師を配置した場合の人件費を助成。
- 巡回支援事業 **新規** 1,188千円  
・発達が気になる幼児がいる私立こども園や保育所等を「アドバイザー」が巡回し、園児との関わり方等について、相談・助言を行う。

事業イメージ





	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	28,372	14,186			14,186
前年度予算額	25,631	11,659			13,972

## 目的

様々な要因から、「ひきこもり」状態にある人及びその家族を社会的自立に向けて支援するため、電話・面接相談や周知・啓発、支援者の人材養成等を行う。

## 事業概要

- 1 ひきこもり対策推進事業
  - ひきこもり地域支援センター設置運営事業 **拡充** 28,140千円  
ひきこもり地域支援センタースタッフ1名増員により、相談支援体制を強化し、家庭訪問、他機関への訪問等のアウトリーチ支援の充実を図る。
  - ひきこもり支援に携わる人材の養成研修事業 72千円  
ひきこもりサポーター養成講座を実施し、サポーターを養成する。
  - ひきこもりサポート事業 160千円  
ひきこもり地域支援センターを中心に、市内で実施されるひきこもりサポート事業にサポーターを派遣し、アウトリーチ支援の充実を図る。また、ひきこもり支援の周知啓発に努める。

## 居場所活動（当事者支援）



週2日程度2時間実施  
制作活動、フリータイム

## 家族教室（家族支援）



毎月1回2時間  
前半1時間はテーマごとの講演  
後半1時間は参加家族の交流

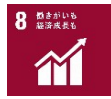


# 經 濟 局

# 経済局 当初予算のポイント

## 令和4年度(2022年度の目指す姿)

豊かな地域資源と恵まれた立地環境を土台に、世界に誇れる産業や技術を持つ企業が躍動し、地域経済に活力をもたらすことで、人々が生き生きと暮らし、働くまちを目指します。



SDGs 経済局が重点的に取り組む目標

## 令和3年度の主な取組

### 新たな日常に対応した地域経済の実現（コロナ対策事業）

市内企業がコロナ禍を乗り越えるための事業継続と、新たな日常への対応を支援します。

#### 【 地域経済の活性化と賑わいの創出 】

コロナの影響を受けた市内企業の事業継続支援と地域経済の活性化に取り組みます。

- 新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業 666,171千円 **新規**
- エール静岡飲食業界支援金（2月補正） 500,000千円 **新規**

#### 【 地域産業のIT化に向けた支援 】

市内企業が、新たな日常に適応し、更なる事業効率化が図られるように、IT化の進捗に応じたきめ細やかな支援を行います。

- 中小企業アクセラレーション支援事業（DX） 2,500千円
- IT導入に向けた生産性向上支援事業 6,320千円

#### 【 首都圏からの企業移転の促進 】

高まる首都圏からの移転ニーズを捉え、多様な働き方に対応した企業誘致を行います。

また、オクシズ地域については、テレワークなどを含めた首都圏等からの受け入れ体制を整備するための支援を強化します。

- MoveToしずおか「コ・クリエーションスペース」創出事業（2月補正） 25,840千円 **新規**
- MoveToしずおか「新しいビジネス様式」支援事業（2月補正） 12,260千円 **新規**
- 中山間地移住促進事業 14,100千円 **拡充**



### 魅力的な人と企業が出会い、世界に誇れる価値を創造するまちの実現

社会経済情勢の変化や本市の産業の強みを踏まえ、企業の持続的な成長を支援します。

#### 【 地域環境を活かした産業振興 】

次期産業振興プランの策定に向けて、本市の産業構造の特徴について調査、分析を行います。

また、中部横断自動車道の整備の進展や清水港の物流機能の強化を踏まえた地域経済の活性化策の検討や、世界に誇る地場産品である「プラモデル」をモチーフとしたモニュメントの設置を行います。

- 産業振興プラン推進事業 3,000千円 **新規**
- 清水港後背地における地域経済の活性化検討事業 10,000千円
- 静岡市プラモデルプライドプロジェクト事業 20,935千円 **拡充**
- 就職氷河期世代就職促進事業 39,353千円 **新規**



プラモニュメント  
イメージ



## 国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。



清水港 客船の寄港風景

### 【 清水港の利用促進 】

清水港の利用促進を図ること及び他港との競争優位を図ることで、清水港の振興・発展及び地域経済の活性化に寄与することを目指します。

- 農産物輸出促進基盤整備事業 10,000千円 **新規**
- 清水港利用促進事業費助成 64,652千円



### 【 「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた 求心力の強い港町の創生 】

港湾施設の整備促進や、市民が憩える港づくりを図り、多彩な賑わいの拠点とすることを目指します。

- 清水港海づくり公園整備事業 153,442千円
- 清水港港湾整備事業 371,209千円



## 山から海の多彩な資源を活かして、人や地域が潤う農林水産の盛んなまちの実現

農林水産業の持続的な発展に向けた支援に着実に取り組めます。

### 【 所得の向上と担い手の確保・育成 】

農地の整備等により生産性向上を図るとともに、災害等へのリスクを軽減することにより、誰もが農業に取り組みやすい環境を整備します。

- 農業収入保険加入費助成 6,820千円 **新規**
- 茶産地総合対策事業費助成 24,800千円 **拡充**
- 県営土地改良事業（負担金・補助金） 209,811千円



畑総事業により整備された農地

### 【 静岡市ブランドの磨き上げ 】

「お茶のまち」や「オクシズ」、「しずまえ」などの本市独自の魅力を活かしたプロモーションを通じ、農林水産業の持続的な発展を支援します。

- 「お茶のまち静岡市」プロモーション事業 19,512千円 **拡充**
- 「お茶のまち静岡市」推進事業 21,376千円 **拡充**
- 静岡地域材活用促進事業 60,980千円 **拡充**
- しずまえ鮮魚普及事業 7,851千円



オクシズ材製玩具

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	30,000				30,000
前年度予算額	20,000				20,000

目的	しずおか中部連携中枢都市圏事業の目的の一つである「地域資源を活かした地域経済の裾野拡大」のため、地域商材であるお茶、水産加工品等のテストマーケティングを首都圏で実施し、地域産品の商品改良を通じて販路を拡大する。
----	---



事業概要	<p>1 テストマーケティング実施事業 首都圏の店舗の一角で、地場産品のテスト販売を実施 ○場所 山手線主要駅等の周辺エリアの百貨店等を想定 ○期間 令和3年6月～令和4年2月（予定）</p> <p>2 地域農水産物等販路拡大支援事業 首都圏のバイヤーと消費者に対して、調理セミナー等の実施により地場産品の理解を深めるとともに、ECサイト等を活用し販路を拡大する。 ○対象 首都圏の食品バイヤー及び食に興味がある方 ○内容 コロナ禍に対応して、オンラインの開催も検討する</p> <p>3 イベント事業 <b>拡充</b> 5市2町フェアを開催し、地場産品のPR・販売を実施 ○内容 コロナ禍に対応して、オンラインでの開催も検討 ○実施時期 東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中（予定）</p>
------	---

## 【令和2年度の事業実施状況】

店舗名：THE COVER NIPPON(ジカバーニッポン)

場 所：東京都港区(東京ミッドタウンガレリア 3階)



店内の様子



商品の陳列状況



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額	10,000				10,000

**目的**  
 中部横断自動車道の全線開通や清水港の物流環境の充実等による、ヒトやモノの流れが活発化する機会を捉え、交通の結節点となる清水港後背地エリアでの新たな賑わいと活気の創出を目的とした施策の具現化に向け、更なる調査、検討を行う。

**事業概要**

- 施策の具現化に向けた各種調査、検討
  - ・清水港後背地における用地状況、課題等の整理
  - ・後背地において必要とされる機能の更なる調査、検討
- 清水港後背地エリアでの各種機能のゾーニング
  - ・清水港後背地エリアにおいて、各種機能が必要とされるエリアの検討等及びそれを踏まえたゾーニング
- 官民連携による検討
  - ・地域関係者を含めた官民連携による勉強会等、施策の具現化に向けた検討



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,620				15,620
前年度予算額	19,750				19,750

目的	官民連携による中小企業へ向けた集中的な支援により、生産性の向上、経営力や販路の強化など中小企業が抱える課題を解決し、中小企業の成長並びにポストコロナ時代の「ニューノーマル」への移行を促していく。
----	---



事業概要	<p>1 中小企業アクセラレーション支援事業（DX） 2,500千円 地域経済をけん引する企業の輩出に向け、成長意欲のある中小企業のDXの推進に対し、個社の経営課題に応じた集中・徹底的な伴走型支援 ○定期的なメンタリングや個別指導 ○大企業の資金や販路等の資源活用による事業連携 等</p> <p>2 IT導入に向けた生産性向上支援事業 6,320千円 「ITなんでも相談窓口」による中小企業の実用性向上に向けたIT導入・活用を図る支援を実施 ○IT利活用アドバイザーによる個別相談</p> <p>3 事業承継支援事業 6,800千円 国の動きに連動し、後継者不在に悩む市内中小企業が円滑な事業承継を進めるための支援を実施 ○相談及び専門家の派遣 ○事業承継に関する周知・啓発</p>
------	--



ITなんでも相談窓口



事業承継セミナー

【新規】

## 新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業

産業振興課  
(産業政策課)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	666,171			666,171	
前年度予算額					

目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、業況の悪化をしている市内の中小企業者に対して、融資の利子を補給することにより、地域経済の活性化と事業者の事業継続を図る
----	--



事業概要	<p>県と協調し、県制度融資「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）」を利用した中小企業等が金融機関に支払った利子相当額を3年間実質無利子となるよう中小企業等に助成</p> <p>利子補給経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象融資件数(見込) 2,200件</li> <li>○対象融資額(見込) 550億円</li> <li>○対象者 静岡市内に主たる事業所を有する事業者</li> </ul>
------	--

## 【制度概要】

保証制度	危機関連保証	セーフティネット 4号保証	セーフティネット 5号保証
対象	中小企業 及び 小規模事業者 / 全業種		
売上高減少要件	○15%以上減少	○20%以上減少	○10%以上減少
融資限度額	8,000万円		
融資期間	10年(据置期間:設備3年 運転2年)		
基準金利	1.97%		2.07%
利子補給率	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> <p>市特別利子補給 1.30% (3年間)</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>県(10年間) 0.67%</p> </div>		<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> <p>1.40%</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>0.67%</p> </div>
融資利率	0.00% (3年間)		0.00% (3年間)
保証料率	0.80%	0.60%	0.58%



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,935			1,530	19,405
前年度予算額	33,800			1,000	32,800

**目的** 「静岡市プラモデル化計画」に基づき、本市が世界に誇る「プラモデル」等をテーマとした官民連携によるシティプロモーションを推進することで、本市のブランドイメージとシビックプライドを確立していく。

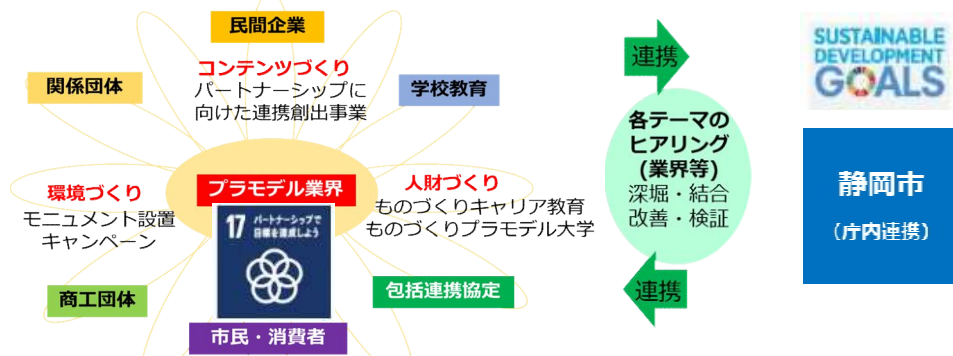


環境・人財・コンテンツの視点に基づき、「静岡市＝プラモデル」が連想でき、プラモデル等に親しめる取組を実施

**事業概要**

- 環境づくり事業** 13,660千円  
 ○プラモデルをモチーフにした工作物「プラモニュメント」の設置やプラモデルデザインの活用に対する助成  
 ○市民の関心を誘引するためのSNSキャンペーン等の実施 **新規**
- 人財づくり事業** 6,625千円  
 プラモデル業界やものづくり業界団体等と連携し、  
 ○小学校で「ものづくり教育（キャリア教育）」の実施 **拡充**  
 ○シチズンカレッジ「こ・こ・に」で「ものづくりプラモデル大学」を実施 **新規**
- コンテンツづくり事業** 650千円  
 ○パートナーシップに向けた連携創出事業 **新規**

静岡市プラモデルプライドプロジェクトイメージ



<p><b>環境づくり</b></p> <p>プラモニュメント設置等支援やSNS拡散キャンペーン等事業の実施</p>	<p><b>人財づくり</b></p> <p>小学校でのものづくり教育、生涯学習の観点から幅広い世代に向けた「ものづくりプラモデル大学」の開講</p>	<p><b>コンテンツづくり</b></p> <p>企業・団体との連携による市民・消費者に対するホビーに親しめる「場」や「商品」等のコンテンツ創出を図る。</p>
--	---	---

【新規】

就職氷河期世代就職促進事業

商業労政課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/4)	市債	その他	
当初予算額	39,353	29,514			9,839
前年度予算額					

**目的**  
「就職氷河期世代」を就職や社会参加に結びつけるための支援体制を地域において構築することにより、当該世代の生活基盤の安定を図り、延いては8050問題や社会保障費の膨張など大きな社会問題へと発展する前に解消を図る。



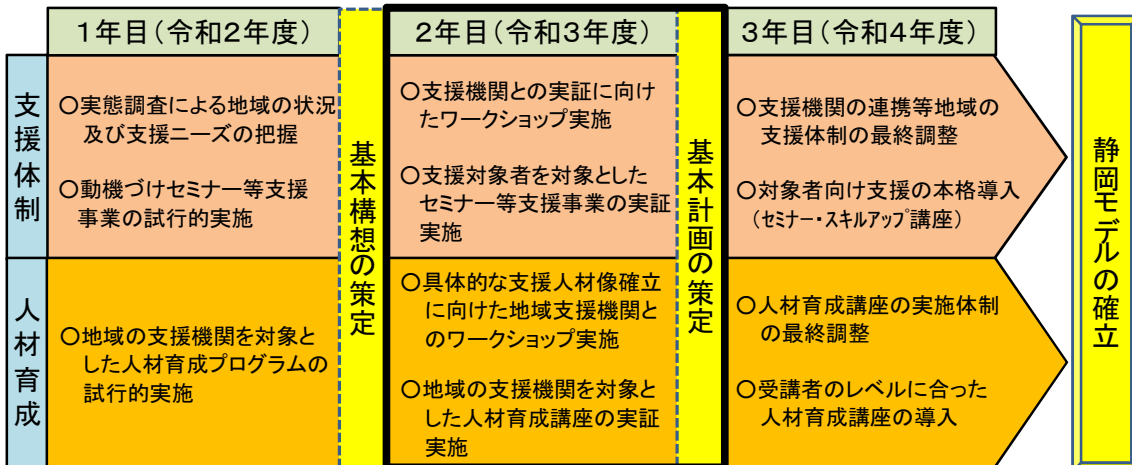
**事業概要**

令和2年度から4年度までの3か年において、地域における支援体制及び人材育成プログラムの確立（静岡モデルの確立）を目指す。  
令和2年度にて策定された「基本構想」に沿って、各種事業の実証実施を通し、具体的な「基本計画」の策定に取り組む。

1 支援体制・人材育成プログラム確立 38,484千円  
○取組内容  
・支援対象者の動機付けセミナーの実証実施  
・支援対象者のスキルアップ講座の実証実施  
・支援人材育成プログラムの実証実施  
○対象者  
・支援対象者及びその家族等  
・就労支援機関職員や民生委員等支援に取り組む者

2 既存地域リソース強化 869千円  
○取組内容  
・地域別相談会の開催 48回  
・企業向けセミナーの開催 4回  
○対象者  
・支援対象者及びその家族等  
・市内企業

【事業展開イメージ】



# 清水港海づり公園整備事業

海洋文化都市政策課  
(海洋文化都市推進本部)

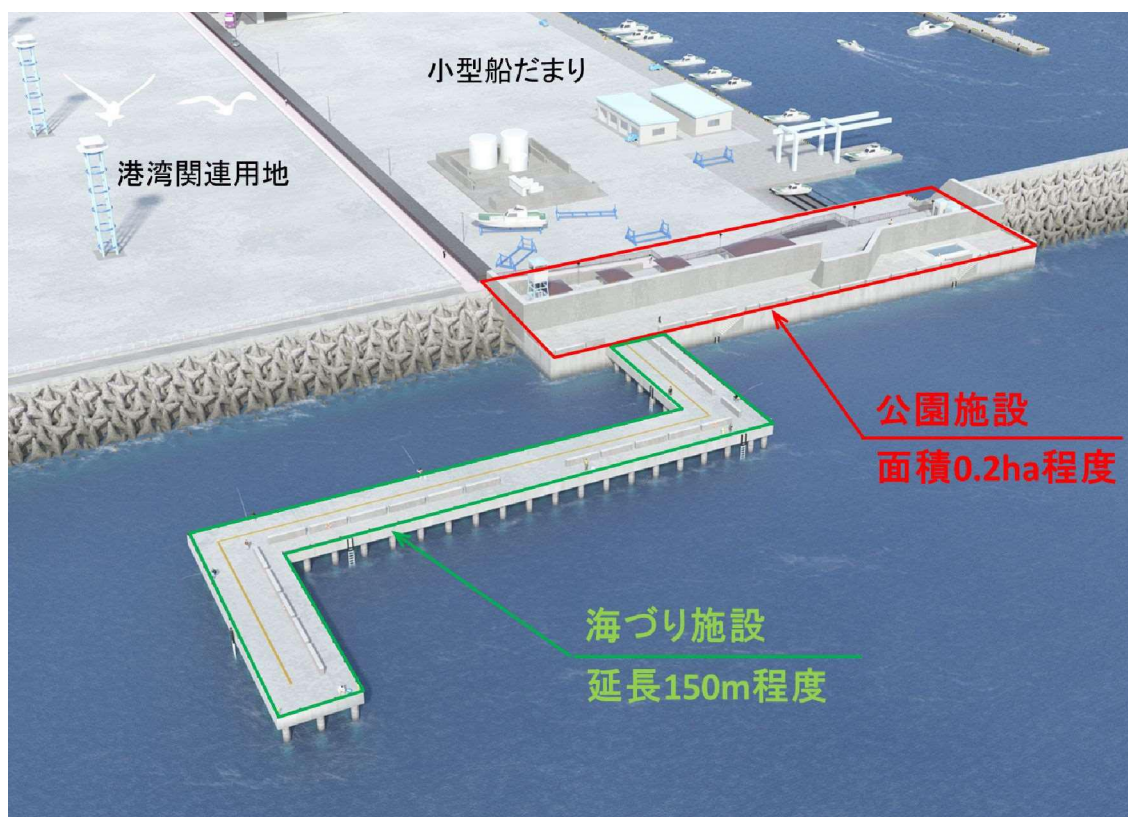
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	153,442		115,000	38,442	
前年度予算額	153,442		115,000	38,442	

目的	新興津地区に清水港海づり公園を建設し、静岡県が行う新興津ビーチパークの拠点とすることで、新たな賑わい空間を創造し、清水港全体の活性化を推進する。
----	--



事業概要	<p>○事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設地 新興津地区</li> <li>・規模 海づり施設150m程度、公園施設0.2ha程度</li> <li>・年間計画入場者数 2万人</li> <li>・暫定供用 令和4年度、完全共用 令和5年度目標</li> </ul> <p>○令和3年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上部工3スパン（全7スパン）</li> </ul>
------	---



清水港海づり公園イメージパース図



【新規】

# 新興津地区浜道環境整備事業

海洋文化都市政策課  
(海洋文化都市推進本部)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,000				5,000
前年度予算額					

**目的** 「新興津ビーチパーク」の来訪者（歩行者）のアクセス路となる市道清見潟公園1号線において、道路区域内の民地を適正化し、整備することにより、新たな賑わい拠点として期待される新興津地区の回遊性を高め、地区の魅力向上を図る。



**事業概要**

- 道路改良検討  
現地調査、地元ワークショップ等により最適な道路形態の検討を行い、整備に向けた課題抽出、実現性、制約条件等について整理する。
- 概略平面図作成  
道路改良検討を踏まえ、道路の全体計画（190m）の概略平面図を作成する。
- イメージパース作成  
道路改良検討、概略平面図作成を踏まえ、整備後のイメージパースを作成する。



新興津ビーチパークパース図



現状の写真



現状の写真(既設防潮堤)



【新規】

農産物輸出促進基盤整備事業

海洋文化都市政策課  
(海洋文化都市推進本部)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額					

**目的**  
清水港の利用促進を図り、清水港の発展及び地域経済の活性化に寄与するため、新たな輸出分野として見込まれる農産物を効率的に集出荷するための施設整備について支援する。



**事業概要**

静岡市中央卸売市場内における農産物の輸出拠点施設整備に対する事業費を助成  
※港湾と連携した卸売市場の輸出拠点化（集荷とコンテナ詰め（バンニング）が市場内で実施可能）は、国内初の取組

- 交付先  
次の①②いずれにも該当する事業者  
①国庫補助制度（農水産物輸出促進基盤整備事業）の対象者  
②静岡市中央卸売市場において青果の卸等で取引があるもの
- 事業者が実施する整備内容  
プラットフォーム、ドックシェルター、リーファープラグ（冷蔵冷凍コンテナへの電源供給設備）等の整備
- 事業実施による効果
  - ・ 輸送時間の短縮及び輸送・保管コストが低減される。
  - ・ 低温物流の確保及び多品種農産物の混載輸出が可能となる。
  - ・ 中央卸売市場における取扱量の増加が見込まれる。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	21,376	3,313		1,820	16,243
前年度予算額	17,090	2,385			14,705

目的	第2次静岡市茶どころ日本一計画（計画期間：令和2年度～令和12年度）に基づき、「お茶のまち静岡市」の認知度向上・ブランド力を強化するとともに、「静岡市のお茶」の消費の拡大を図る。
----	---



事業概要	1 まちの緑茶化推進事業（緑茶水道の設置） <b>新規</b> 1,500千円 お茶タクシーに次ぐまちの緑茶化第2弾として、誰もが利用できる「お茶の出る蛇口」を市内にシンボリックに設置し、まちの緑茶化を推進
	2 まちお茶おもてなし推進事業 <b>新規</b> 3,000千円 11月1日の「静岡市お茶の日」周辺に、市内宿泊施設利用者に対し「お茶のまち静岡市」の一煎パックを提供するキャンペーンを実施
	3 「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業 <b>新規</b> 2,334千円 茶業者の所得向上に繋げるため、本市が誇る個性豊かな山のお茶を、茶商や流通・外食・小売等と繋げるためのビジネスマッチングを実施
	4 お茶ツーリズム推進事業 4,293千円 交流人口の回復と茶業者の所得向上を図るため、お茶ツーリズムの専用受付・相談窓口「しずおか茶巡りデスク」を運営するなど、お茶ツーリズムを推進
	5 「静岡市のお茶」愛飲促進事業 <b>新規</b> 1,820千円 子どもたちへのお茶の愛飲促進を図るため、希望する市内小中学校に給茶機を設置し、子どもたちがいつでも「静岡市のお茶」を飲むことができる環境を整備（2台設置予定）
	6 その他の関連事業 8,429千円 お茶タクシーの導入に係る支援や「お茶のまち静岡市」ホームページの保守管理に係る事業等を実施



ビジネスマッチングのイメージ  
（「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業）



提供する一煎パックのイメージ  
（まちお茶おもてなし推進事業）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	24,800				24,800
前年度予算額	24,800				24,800

## 目的

安定的かつ持続的な茶業経営に向けた基盤づくりのため、小規模茶園地の整備や製茶機械の導入・更新、茶園の共同管理、補完作物への転換等を政策的に推進する。

## 事業概要

- 1 小規模茶園地整備事業 5,300千円  
小規模な茶園の園地改良や園内作業道の整備、防霜施設の新設・更新等に対する助成
- 2 製茶機械整備事業 **拡充** 13,000千円  
個性豊かな山のお茶の品質向上・生産性向上を図るため、自園自製農家や共同製茶工場における製茶機械の導入・更新に対する助成（共同製茶工場に対する助成を追加）
- 3 茶園共同管理推進事業 4,500千円  
地域の茶園の共同管理を推進するために必要な機械や施設整備等に対する助成
- 4 補完作物転換事業 2,000千円  
茶業経営の安定化のため、耕作茶園の一部を野菜や果樹などの複合作物に転換するための助成

園内作業道の整備



製茶機械の導入・更新



茶園の共同管理に必要な機械の導入



複合作物への転換支援





(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2ほか)	市債	その他	
当初予算額	81,200	44,000	36,000		1,200
前年度予算額	121,500	66,000	54,000		1,500

目的	用宗漁港後背地の住民の生命・財産を守るため、レベル1地震・津波を防御できる高さの壁（胸壁）を、景観にも配慮しながら漁港の周囲に建設し、安全で快適な海岸を整備する。
----	---



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業期間 平成28年度から令和4年度まで</li> <li>○事業箇所 用宗漁港海岸（用宗漁港内港）</li> <li>○事業内容 用宗漁港海岸胸壁整備工事</li> <li>○整備概要 総整備延長 L=790m（陸閘3基含む） 令和2年度末整備済 L=357m（陸閘2基含む） 令和3年度整備予定 L=275m</li> </ul>
------	---



- 令和2年度末整備済
- 令和3年度整備予定

整備済の胸壁



【拡充】

## 中山間地移住促進事業

## 中山間地振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,200				14,200
前年度予算額	13,200				13,200

## 目的

過疎化の深刻な中山間地域の集落、コミュニティの維持及び活性化を図るためオクシズへの移住を促進する。



## 事業概要

- 1 住宅改修事業補助金 9,000千円  
○空き家情報バンクを通じて、賃借又は売買された住宅改修に係る補助金  
・補助率 1/2 (一部地域 9/10) 上限額 100万円
- 2 空き家情報バンク登録促進事業 **新規** 1,000千円  
○空き家情報バンクへの登録時に生じる負担を軽減するための協力金  
・支給額 事前調査 1回1万円、内覧対応等 1回5千円
- 3 移住報奨金 2,000千円  
○空き家情報バンクを通じて、オクシズに移住した者がSNSなどを活用した、田舎暮らしや地域の情報発信に協力したことに対する報奨金
- 4 農林漁家民宿等開業準備事業補助金 1,200千円  
○オクシズで農林漁家民宿等を開業する費用に対する補助金  
・補助率 8/10 上限額 40万円
- 5 移住促進事業補助金 1,000千円  
○移住促進事業を実施する旧安倍6村・両河内地区内の地域団体に対する補助金

## 移住者用住宅のイメージ



大河内地区 (平野)



玉川地区 (上落合)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	60,980				60,980
前年度予算額	17,698			11,740	5,958

目的	オクシズ材の首都圏等への販路開拓を目的として、木材活用促進及び木育事業に森林環境譲与税を活用している自治体等に焦点を当て、オクシズ材の魅力を訴えることで更なる需要拡大を図る。
----	---



事業概要	1 都市部木材利用促進事業 17,980千円
	○都市部への販路開拓 ・国産材の活用に取り組む自治体に対して、オクシズ材製品をPR ○オクシズ材製品の開発 ・「木育」をテーマに、オクシズ材製の遊具、玩具等を開発 ・開発した遊具、玩具等を市内外のこども園等でモニタリング調査やPRを実施
	2 オクシズ材PR拠点モデル創出事業 <b>新規</b> 30,000千円
	○オクシズ材を活用した公共空間の木質化 ・対象施設 駿府匠宿 別館 ・事業目的 市内外に向けたオクシズ材のPR オクシズ材を活用した「木育」の推進 他都市の木育施設等との連携イベント等
	3 首都圏における大規模イベントへの出展 <b>新規</b> 13,000千円

オクシズ材製玩具



オクシズ材製遊具(イメージ)



都 市 局



# 都市局 当初予算のポイント

## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

ポストコロナにおける新しい生活様式に対応した、快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、持続可能で新たな交流と活力を生み出すまちの実現

### 令和3年度の主な取組



## I 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造

400,268千円（232,859千円）

### 拠点の魅力

### 1 都心・副都心の都市機能の高度化・集積化

- ① 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業
- ② 静岡駅南口駅前広場再整備事業



御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発(イメージ)

### 2 歩いて楽しめる都市空間の創造

#### ①[新規]静岡都心地区まちなかウォーカブル推進事業

##### ◎新しい生活様式に対応した社会の実現

公共空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換するなど、密にならない新しい生活様式にも対応する「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出に向け、民間主体による空間活用手法や賑わい活動を実施するための運営体制を検討する。

- ② 追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業

※ウォーカブル：歩きたくなる、歩きやすい

### 3 官民協働で進める地域の特色を生かしたまちづくり

- ① 静岡都心地区まちなか再生事業

## II 地域の魅力と活力を高めるまちづくり

1,284,605千円(1,114,599千円)

### 地域の特色

### 1 都心の機能を補完する地域拠点の整備及び官民協働ですすめるまちづくり

- ① 恩田原・片山土地区画整理事業

「活発に交流し、価値を創り合う創造型産業のまち」の実現に向け、市産業集積方針に基づき企業の早期立地を目指し、土地区画整理事業を支援・推進していく。

- ② 大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業

(宮川・水上地区)

- ③ JR草薙駅北口駐輪場整備事業

- ④ 草薙駅周辺エリアマネジメント支援業務



JR草薙駅北口駐輪場(イメージ)

### 2 大規模社会資本や観光資源を活かした交流拠点の整備

- ① 日本平公園整備事業

- ② 鯨ヶ池周辺地区保全活用検討調査

### Ⅲ 安心とうるおいのある住環境の整備

2,762,574千円 (2,770,375千円)

安全で快適

#### 1 災害に強いまちづくりの推進

- ①建築物耐震補強事業

#### 2 人や環境にやさしい住環境の整備

- ①[新規] 分譲マンション管理実態調査事業

市内の分譲マンションが今後も継続して良好な住環境を維持できるよう、マンション管理適正化推進計画の策定を目指しており、その基礎資料となる市内の分譲マンションの実態調査を実施する。

- ②[新規] 公営住宅等整備事業

#### 3 調和のとれた都市景観と緑あふれる環境の創出

- ①都市景観事業推進
- ②あさはた緑地整備事業
- ③身近な公園の整備と適正な維持管理



上土団地



あさはた緑地

### Ⅳ 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実

584,747千円 (574,144千円)

円滑な交通

#### 1 拠点を結ぶ円滑な公共交通

- ①[新規]公共交通幹線軸の運行再編事業

##### ◎新しい生活様式に対応した社会の実現

バスの利用需要減退に対し、事業の健全性を保ち、将来にわたり安定的に公共交通の運行を維持するため、ビッグデータを活用した個別路線の分析や新型コロナウイルス感染症による影響の分析により、事業者とともに持続可能なバス路線網への再編の検討を行う。

- ②バス路線維持事業
- ③(仮称)追分大坪駅設置概略検討業務



MaaS実証実験(のりあい号)

#### 2 公共交通が利用しやすい環境の充実

- ①静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト
- ②鉄道駅バリアフリー化促進事業



静岡市シェアサイクル事業  
PULCLE(パルクル)

#### 3 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

- ① 自転車活用推進計画事業



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	21,200	10,600			10,600
前年度予算額	8,000	4,000			4,000

**目的**  
静岡都心地区における中長期的な視点に立ち、都市計画マスタープランに沿った具体的なまちなか再生の実現化方策を作成し、官民が連携した「歩いて楽しいまちづくりの推進」の実現を目指す。



**事業概要**  
都市計画マスタープランの「重点地区」に位置付けている「静岡都心地区」の3つのゾーンにおいて、中長期的な視点による具体的なまちなか再生への方針と実現化方策を示す指針を作成する。  
また、公共空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換するなど、密にならない新しい生活様式にも対応する「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出に向け、民間主体による空間活用の手法や賑わい活動を実施するための運営体制を検討する。

1 静岡都心地区まちなか再生事業 7,600千円  
・紺屋町・呉服町・七間町ゾーンまちなか再生指針作成

2 静岡都心地区まちなかウォーカブル推進事業 **新規**13,600千円  
・空間活用社会実験の実施  
(青葉シンボルロード、常磐公園、七間町・北街道エリア)  
※ウォーカブル：歩きたくなる、歩きやすい

《 静岡市都市計画マスタープラン 》  
重点地区：「静岡都心地区」  
まちづくりの目標：歴史が息づく、人々を刺激する都心

将来ビジョン

実現への道筋 《 静岡都心地区まちなか再生指針 》  
都市計画マスタープランの「重点地区」に位置付けている「静岡都心地区」において、中長期的な視点による具体的なまちなか再生への方針と実現化方策を示す

【再生方針】  
1 全体方針  
2 ゾーン別方針  
① 紺屋町・呉服町・七間町ゾーン  
② 静岡駅周辺ゾーン  
③ 御幸町・伝馬町・鷹匠周辺ゾーン

【分野別方針】  
・歴史文化  
・賑わい  
・まちなみ  
・回遊  
・交通

反映

実践レベル 《 静岡都心地区まちなかウォーカブル推進事業 》  
ニューノーマルに対応した居心地の良い空間の創出、民間主体のエリアマネジメントによる持続可能な空間活用手法・体制の構築(人づくり)

静岡都心地区の将来イメージ



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	48,635				48,635
前年度予算額	54,950				54,950

**目的**  
 社会インフラである公共交通の持続的なサービス提供に向け、ICTによる移動サービスの高度化や、移動の手段と目的のサービス合理化を図るため、次世代移動サービス「MaaS」の実証実験・調査分析を行い、実用化に向けて取り組むことを目的とする。



**事業概要**

1 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト推進事業 43,635千円  
 ○MaaS実証実験・調査分析  
 ・静岡市と静岡鉄道等が連携して進める「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト（MaaSコンソーシアム）」において、令和2年度実証実験結果を踏まえ、令和3年度は山間地域における移動支援サービスのほか、自主運行バスやその他交通手段を付加した検索機能、移動目的となるお出かけ情報等とのサービス連携機能など、実験アプリを拡充し、利用しやすい移動サービスの構築に向けた実証実験を行う。

2 新運行モデル検討と実装に向けた調整業務 5,000千円  
 ・R2年度に実施したAIオンデマンド交通の実験結果を基に、地域住民と共に、地域の実情に応じた持続可能な運行モデルについて検討を行う。

R3年度は、検索機能、サービス連携強化によるアプリ拡充でサービス性向上



MaaSによる交通サービス概念図

実装化に向けた検討に着手



【新規】

公共交通幹線軸の運行再編事業

交通政策課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	12,000	6,000			6,000
前年度予算額					

**目的**  
 新型コロナウイルスの影響を受け、バスの利用需要が減退し、現行の路線バス運行維持が困難になっている。本事業では、ビッグデータを活用した路線別運行実態や将来推計等の分析により、再編計画を立案し、持続可能な公共交通網形成を目的とする。

**事業概要**

＜令和3年度＞  
 市内を運行する路線バスの再編計画を立案するため、ビッグデータを活用し、運行実態分析や将来需要分析などの基礎調査を行い、路線毎の現状及び将来の事業診断を実施する。

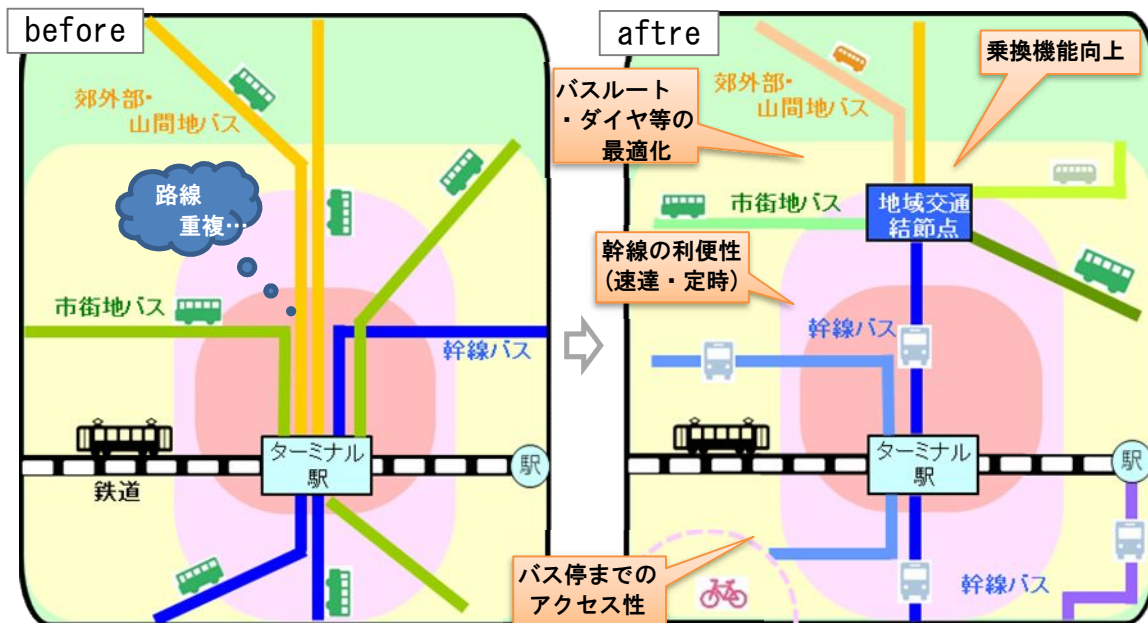
○路線毎運行事業診断（バス路線カルテ作成） 12,000千円

＜令和4年度以降＞  
 ○バス路線再編計画の作成  
 路線バス運行再編に合わせ、他の公共交通事業者（鉄道・タクシー等）との連動や代替交通の導入検討などを検討し、市内の持続可能な公共交通網形成を図る。

【事業実施計画】



【路線再編(イメージ)】



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	67,000	33,500			33,500
前年度予算額	4,500	2,250			2,250

**目的**  
 駿河区の玄関口となる静岡駅南口駅前広場において、交通結節点機能を強化するとともに、民間事業者による周辺開発と連携し、駅前街区を一体的に開発することにより、新しい生活様式を視野に入れた、政令市にふさわしい魅力ある空間を創出する。



**事業概要**  
 駅前の限られた土地を有効活用するため、土地区画整理事業や立体関連制度等を活用し、官民連携による静岡駅南口駅前広場の整備を実施する。

静岡駅南口駅前広場再整備基本計画作成等業務

- 静岡駅南口駅前広場再整備基本計画作成
  - ・駅前広場に必要の機能の整理
  - ・駅前広場内の配置検討
- 区画整理事業調査・換地設計準備
  - ・事業区域内の土地配置案検討
  - ・土地評価基準案等の作成
- 補償内容検討
  - ・事業に係る補償概要の検討



駅前広場の現況課題



庁内ワーキングの実施

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	281,790	140,895		100,000	40,895
前年度予算額	127,400	63,700			63,700

## 目的

JR静岡駅北口の新たな賑わい拠点創出を目指す。

- ・ 専門学校等の開学により日常的に若者が集うまち
- ・ ゆとりある歩行者空間の確保
- ・ JR静岡駅地下道から静鉄新静岡駅への動線を強化



## 事業概要

御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業への助成  
令和元年度に都市計画決定、令和2年9月の組合設立認可後、  
権利変換計画、実施設計を実施。  
令和3年度は土地整備（権利者移転、既存建物の除却）を進める。

## ○事業概要

- ・ 施行区域 約0.3ha
- ・ 延床面積 約18,000㎡
- ・ 敷地面積 約2,000㎡
- ・ 階数 地下1階、地上15階
- ・ 主要用途 商業、事務所、専門学校ほか
- ・ 事業期間 令和元年度～令和5年度

## ○令和3年度の助成対象

- ・ 補償費等



JR静岡駅側から見たイメージパース



エントランスのイメージ



よりみちサロンのイメージ



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/3)	市債	その他	
当初予算額	766,295	130,816	496,900		138,579
前年度予算額	719,002	122,384	322,600		274,018

**目的**  
大谷・小鹿地区まちづくり計画の実現に向け、土地区画整理事業による基盤整備を推進し、産業集積並びに新たな玄関口として魅力ある土地利用への転換を図る。



**事業概要**

1 恩田原・片山土地区画整理事業費助成 ○助成対象 ・道路築造工事、移転補償ほか	744,800千円
2 宮川・水上地区の土地区画整理事業に着手するための都市計画決定図書等の作成 ○事業内容 ・都市計画決定図書・区画整理事業認可申請書作成ほか	21,495千円





(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	7,000	3,500			3,500
前年度予算額	7,000	2,800			4,200

**目的**  
 地元まちづくり組織「一般社団法人草薙カルテッド」が主体となった、多くの若者や地域住民で賑わう魅力と活気に満ちた「教育文化拠点」づくりを推進する。



**事業概要**

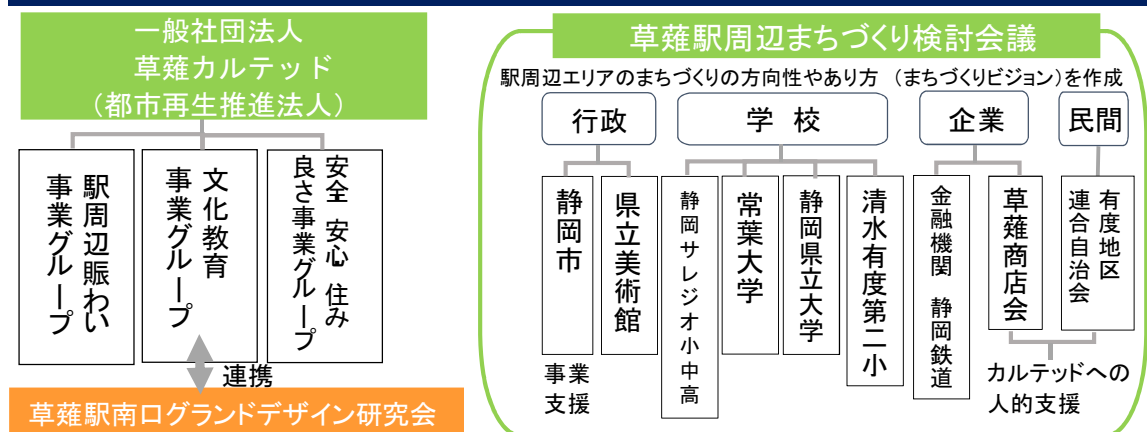
- 事業内容  
 「教育文化拠点」の実現を目指し、一般社団法人草薙カルテッドや南口グランドデザイン研究会（自治会、県立大、カルテッド、市）との連携により、南口の将来目指す姿（グランドデザイン）の実現に向けた検討や支援を行う。また、本事業を進めることで、草薙カルテッドの人材発掘及び育成等を図り、同法人の自立を目指す。
- 事業期間 平成25年～令和4年
- 令和3年度事業内容  
 「草薙駅南口メインストリート」利活用検討支援

目指している姿（産学官民が連携し、多くの若者や地域住民で賑わう教育文化拠点の実現）



- 夜間でも安心して歩ける環境づくり等
- 歩道空間を活用した社会実験の実施等

官民連携による事業推進体制



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	115,000	57,500	51,700		5,800
前年度予算額	11,500	4,600	6,200		700

**目的**  
 J R 草薙駅北口周辺地区の路上駐輪や放置自転車を防止するとともに、駅利用者の利便性向上や交通結節機能強化に向け、駐輪場の整備を実施する。また、多くの若者が集まり、交流が生まれる「賑わい交流拠点」として、さらなる賑わいを創出する。



**事業概要**

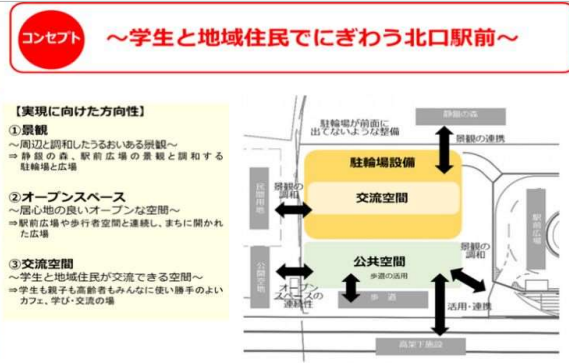
○事業内容  
 J R 草薙駅北口の交通結節機能強化に向け駐輪場を整備する。また、「賑わい交流拠点」として、駐輪場に併設した交流広場を整備する。さらに都市再生推進法人が一体的に管理・運営を行うことにより、民間活力導入、公共空間の利活用を推進し、地域主体の「持続可能なまちづくり」を実践する。

○施設概要  
 ・ 静岡市清水区草薙北地内  
 ・ 鉄骨造平屋建 延床面積600㎡程度  
 ・ 自転車250台、原付10台  
 ・ その他所要室 トイレ、管理室、倉庫等  
 ・ 賑わい交流拠点 芝生広場400㎡程度

○スケジュール  
 ・ 令和3年度 整備工事  
 ・ 令和4年度 供用開始（予定）



J R 草薙駅北口駐輪場建設予定地



整備方針※J R 草薙駅北口グランドデザインより



整備計画（イメージ）※J R 草薙駅北口グランドデザインより

- ◆低層とすることで、**周辺の緑と調和したうるおいある空間**を創出します。
- ◆前面を芝生広場とすることで、**居心地の良いオープンな空間**となります。
- ◆周囲の歩道空間と一体利用することで、**学生と地域住民が交流できる空間**が生まれます。

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	49,000	13,650	23,900		11,450
前年度予算額	120,600	45,000	53,500	2,000	20,100

**目的**  
麻機遊水地グランドデザインに基づき、第1工区は「自然とふれあう体験型の都市緑地」として、あさはた緑地交流広場の整備を進めるとともに、自立発展型の地域活性化を目指して、麻機遊水地保全活用推進協議会を運営する。



事業概要		
1	あさはた緑地整備事業（第1工区） ○冠水頻度の低い区域約6haの公園的整備 （湿地木道、案内看板等施設整備）	37,000千円
2	河川海岸環境整備事業負担金 ○麻機遊水地第2-1工区加藤島エリア緑道整備設計業務	5,000千円
3	麻機遊水地保全活用推進協議会負担金 ○麻機遊水地の自然再生と利活用を両輪とした取り組みを進めるために協議会を運営	7,000千円

レンコン掘り体験  
(写真はイメージ)



公園の活用



カヤネズミ



ミスアオイ

遊水地の貴重な動植物



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,700				4,700
前年度予算額	4,850				4,850

目的	豊かな自然環境を有し、古くから広く市民に親しまれている鯨ヶ池周辺地区において、自然環境の保全と利活用を促進するための拠点施設の整備を行い、市内外からの誘客を図り、鯨ヶ池を中心とした賑わいと交流機会を創出する。
----	--



事業概要	<p>地域協働賑わい創出推進業務</p> <p>「鯨ヶ池周辺整備構想」の目指す将来像の実現に向けて、地域の賑わい創出に寄与する新たな魅力づくりに取り組むための必要な検討及び調査を行う。</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ワークショップの実施</li> <li>・賑わいづくり事業検討サウンディング</li> </ul>
------	---





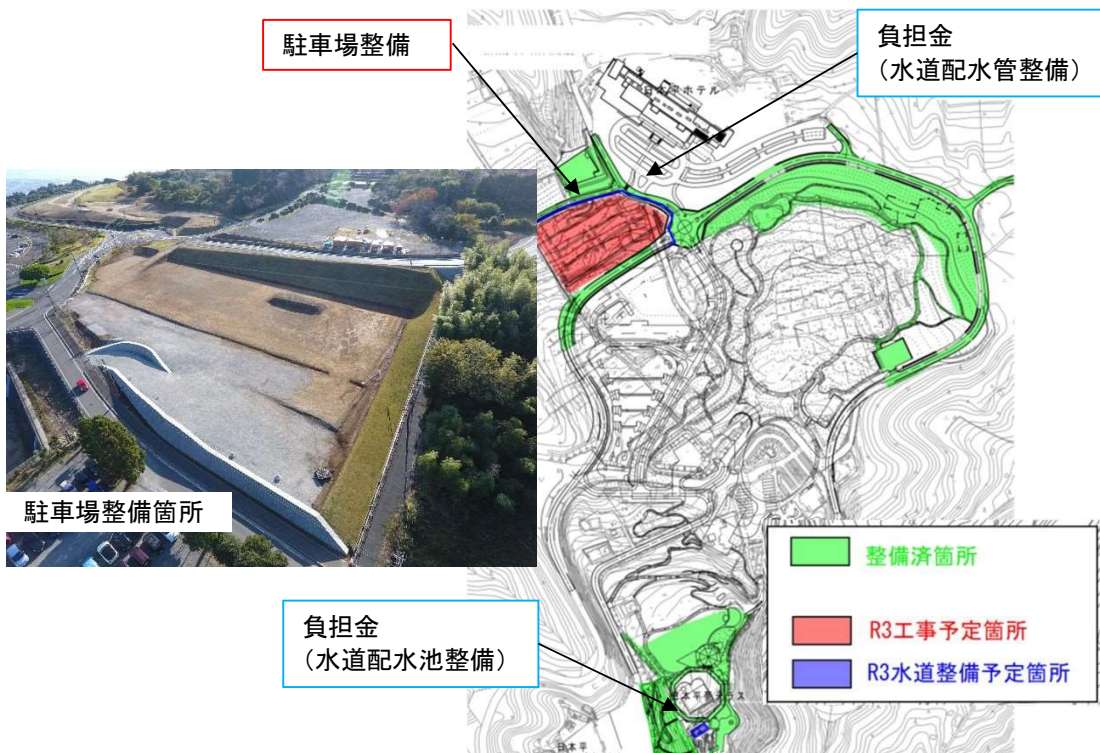
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	307,610	137,039	151,400		19,171
前年度予算額	351,110	156,111	183,900		11,099

目的	名勝日本平の特性を活かし、市民のみならず観光や国際交流など幅広い活動の場を提供する本市のシンボル公園として、日本平公園の建設を行う。
----	--



事業概要	○実施期間	平成22年度～令和11年度
	○事業箇所	有度丘陵山頂部
	○実施内容	
	・公園施設整備（駐車場整備）	103,959千円
	日本平夢テラスのオープン後、多くの観光客が来園し、山頂周辺道路・駐車場で混雑が発生しており、交通環境の改善として、駐車場を整備する。	
	・負担金（送水管整備、配水池整備）	138,678千円
	公園施設への水道供給確保のため水道施設を整備する。	
	・用地取得関係	53,861千円
	・その他	11,113千円
	除草業務ほか	



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	23,000	11,500			11,500
前年度予算額	83,296	41,648			41,648

目的	地震による倒壊、転倒の危険性のあるブロック塀等の撤去、または改善にかかる費用の一部を助成することで、耐震化を促進し、人的被害や通行障害を防止し、公共の安全を確保する。
----	---



事業概要	<p>通学路・避難路沿い等のブロック塀等(※)の撤去及び緊急輸送路沿い等のブロック塀等の改善にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>1 撤去 <span style="float: right;">22,780千円</span>                  ○倒壊や転倒の危険性のあるブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成                  ・補助率 工事費用と基準額(20,000円/m)を比較して少ない額の2/3(上限額100千円)</p> <p>2 改善 <span style="float: right;">220千円</span>                  ○緊急輸送路等に面した危険なブロック塀撤去後に、安全な塀の新設にかかる費用の一部を助成                  ・補助率 工事費用と基準額(38,400円/m)を比較して少ない額の2/3(上限額250千円)</p> <p>※ブロック塀等                  コンクリートブロック塀、石塀、レンガ塀</p>
------	---



【実施前】



【実施後】

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(国1/2、県4/10、3/8、3/10)</small>	市債	その他	
当初予算額	185,582	138,001			47,581
前年度予算額	213,068	181,803			31,265

目的	民間の住宅や建築物の耐震対策を支援し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的被害及び物的被害の減少を図る。
----	---



事業概要	<p>1 木造住宅耐震事業費助成 <span style="float: right;">134,165千円</span></p> <p>○わが家の専門家診断事業（耐震診断） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象に、専門家を無料で派遣し耐震診断を行う。</p> <p>○木造住宅耐震事業（補強計画・補強工事） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅の所有者に対し、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率 補強計画と補強工事の費用の8/10 （上限額1,000千円）</p> <p>2 特定建築物耐震事業（耐震診断・補強計画・補強工事） <span style="float: right;">51,417千円</span></p> <p>○特定建築物（※）の所有者に対し、耐震診断、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率（診断）診断費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3 （計画）計画費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,190千円） （工事）工事費用と基準額（51,200円/㎡×面積）を比較して少ない額の23%の2/3</p> <p>※特定建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に重要な機能を果たす建物、多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物</li> <li>・原則3階以上かつ、1,000㎡以上の建築物</li> <li>・昭和56年5月以前に着工された建築物</li> </ul>
------	---



補強前



補強中



補強後

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10、1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,330	11,278			9,052
前年度予算額	3,750	1,875			1,875

**目的**  
要安全確認計画記載建築物の所有者に対し、補強計画、補強工事費用の一部を助成することにより、南海トラフ巨大地震等発生時における避難・救急・消火・緊急物資の輸送等の機能を担う、緊急輸送ルートの閉塞を防止し、通行を確保する。



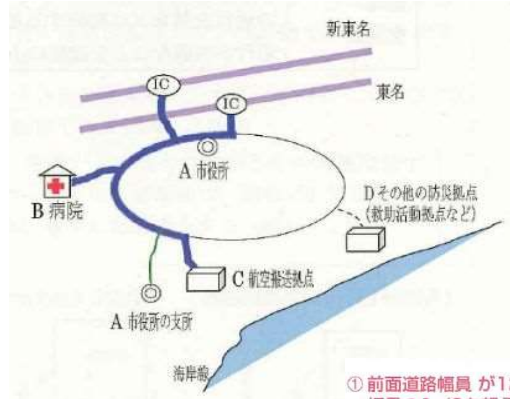
**事業概要**

要安全確認計画記載建築物（※）の所有者に対し、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。

○補助率（計画） 計画費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,190千円）  
 （工事） 工事費用と基準額（51,200円/㎡×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額40,000千円）

※要安全確認計画記載建築物

- ・緊急輸送ルート沿道の建築物で、高さが道路幅員の半分を超える建築物
- ・昭和56年5月以前に着工された建築物

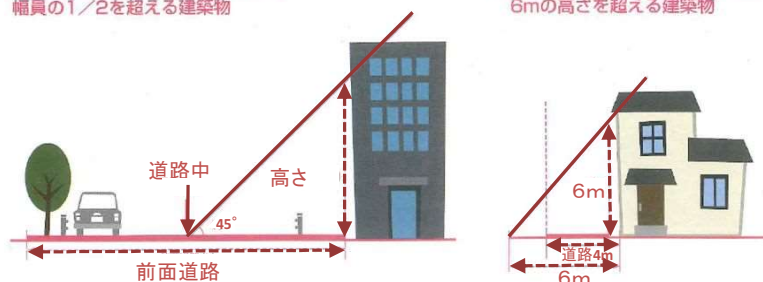


【緊急輸送ルート】

【対象建築物】

① 前面道路幅員が12mを超える場合  
幅員の1/2を超える建築物

② 前面道路幅員が12m以下の場合  
6mの高さを超える建築物





(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4.5/10)	市債	その他	
当初予算額	20,000	9,000			11,000
前年度予算額					

目的	上土団地再整備事業の基本計画の策定と建替えにおける民間活力の導入可能性調査を実施し、地域の活性化に貢献できる新たな公共エリアとしての市営団地建設を目指す。
----	---



事業概要	<p>○上土団地再整備事業基本計画策定及び民間活力の導入可能性調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PPP/PFI 導入可能性調査 PPP/PFI 導入を最終判断するために必要となる、市場調査に基づく民間活力の導入手法の詳細な検討</li> <li>・ 再整備基本計画策定 建替における棟数・戸数・配置等の基本計画の策定業務を実施</li> </ul>
------	---



上土団地建替事業計画地



建替え後の市営住宅

上土団地 建替事業スケジュール (予定)	
令和3～4年度	PPP/PFI 導入可能性調査 基本計画の策定
令和4～5年度	PFI 事業者公募・選定 基本・実施設計
令和6～7年度	第1期建設工事 (建替①、民間活用地整備①)
令和8～11年度	第2期建設工事 (建替②、民間活用地整備②)
全体整備費用 51億円 (想定)	

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	7,200	7,200			
前年度予算額					

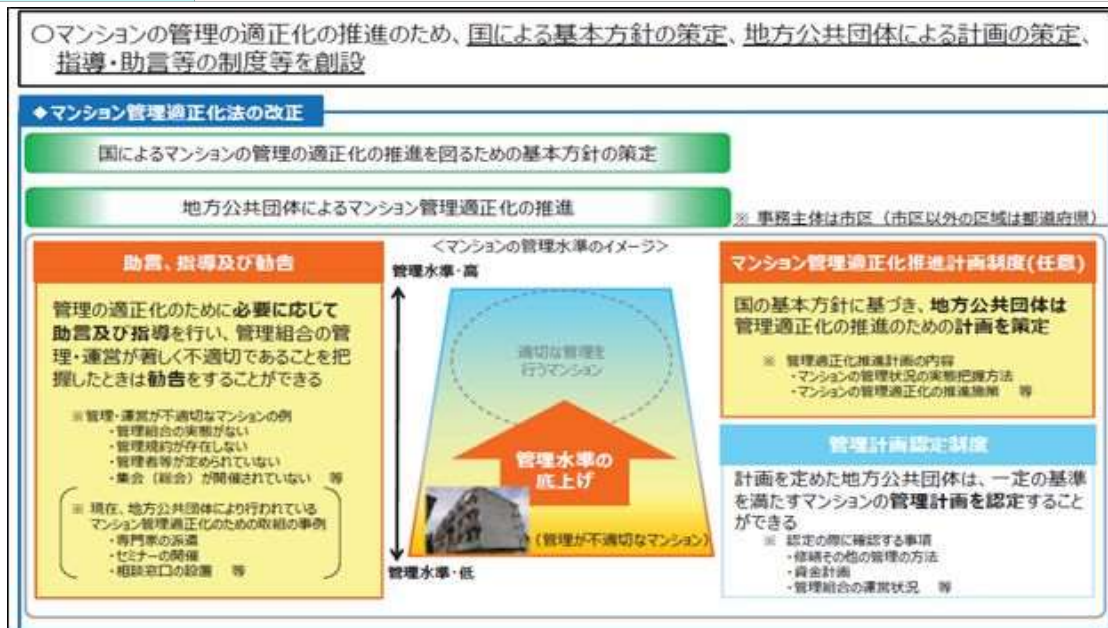
**目的**  
 マンションの管理の適正化の推進に関する法律の改正（令和4年4月施行予定）によって、地方自治体はマンション管理適正化推進計画策定を行うこととされている。計画策定には市内のマンションの現状を把握する必要があるため、実態調査を行う。



**事業概要**  
 実態調査の結果を基にマンション管理適正化推進計画を策定し、令和4年4月の施行を目指す。

1 分譲マンション管理実態調査 7,000千円  
 市内の分譲マンションを対象に、「管理・運営の状況」や「建物の状況」を調査する。実態調査後にマンション管理適正化推進計画策定を行い、管理母体となる組織の強化と、設備を含む建物の長寿命化を促し、個々の所有・管理の責任を住民同士で共有することで管理不全のマンションの増加を抑制し、空き家等の問題発生を未然に防ぎたい。

2 分譲マンション管理者等への周知・啓蒙活動 200千円  
 分譲マンションの区分所有者等へ管理実態調査により判明した課題と共に、区分所有者としての責務、日常的な維持管理や定期的な改修工事の必要性などを周知する。



マンション管理適正化推進のイメージ



# 建 設 局





## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

～活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちの実現～  
 感染症や自然災害等から市民の命と暮らしを守り抜き、未曾有の危機を克服し、コロナによる生活様式の変化に対応した「新たな日常」を実現

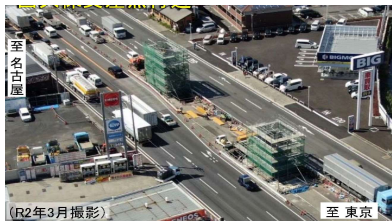
### 令和3年度の主な取組

#### I 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進

11,454,161千円（うち2月補正 1,692,400千円）

##### 1 広域交通ネットワークの強化

- ①[継続] 国道1号静岡バイパス整備促進事業【当初/2月補正】
- ②[継続] ICアクセス道路整備事業【当初/2月補正】
- ③[継続] 中部横断自動車道の整備促進事業
- ④[継続] 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業



国道1号静岡バイパス（清水立体）



静岡市街の拠点とアクセス整備

##### 2 道路網の整備による交流機能の向上

- ①[継続] 市道の整備事業【当初/2月補正】
- ②[継続] 都市計画道路の整備事業【当初/2月補正】
- ③[継続] 国道・県道の整備事業【当初/2月補正】
- ④[継続] 南アルプスユネスコエコパークを活かす道路整備事業
- ⑤[継続] 羽衣海岸線、清水港三保線の整備事業
- ⑥[継続] サイクルツーリズム拠点整備事業【2月補正】

#### II 道路利用者の安全性・快適性向上のため、道路環境の改善を推進

1,108,800千円（うち2月補正 156,000千円）

##### 1 道路の安全性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業(通学路対策)

##### 2 自転車走行空間の整備

- ①[継続] 交通安全施設整備事業  
 (自転車走行空間整備)【当初/2月補正】



自転車・歩行者の安全を確保

##### 3 道路環境の快適性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業(道路の無電柱化)【当初/2月補正】
- ②[継続] 交通安全施設整備事業(道路のバリアフリー化)

### Ⅲ 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進

4,556,199千円（うち2月補正 548,000千円）

#### 1 維持管理計画に基づいた対策の推進

- ①[継続] 道路舗装整備事業【当初/2月補正】
- ②[継続] 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理)【当初/2月補正】
- ③[継続] 橋りょう整備事業(トンネル補修)
- ④[継続] 道路附属施設更新事業



(県) 静岡焼津線 石部海上橋

#### 2 環境・省エネルギー

- ①[継続] 道路照明灯の更新(LED化を含む)

#### 3 市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進

- ①[継続] 道路サポーター制度の利用促進

### Ⅳ 自然災害に耐えうる社会基盤の強靱化を推進

2,983,475千円（うち2月補正 97,000千円）

#### 1 施設の耐震化等の推進

- ①[継続] 橋りょう整備事業(道路橋の耐震化)
- ②[継続] 河川構造物耐震・津波対策事業

#### 2 浸水対策の推進

- ①[継続] 河川改修事業



谷津沢川



大坪公園

浸水対策推進プランの実施

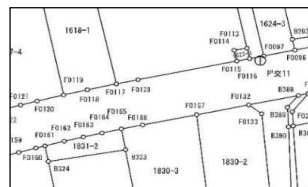
(河川改修事業、流域貯留浸透事業)

#### 3 災害時の対策及び体制強化

- ①[継続] 道路自然災害防除事業(法面对策)【当初/2月補正】
- ②[継続] 急傾斜地崩壊対策事業
- ③[継続] 地籍調査事業



筆界プレート及び筆界番号標



地籍図(筆界点番号)

### Ⅴ 「新たな日常」に対応した社会の実現

9,000千円（2月補正 9,000千円）

- ①[新規] 設計書情報提供システム整備事業【2月補正】
- ②[新規] 道路空間利活用社会実験事業【2月補正】

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5. 5/10、1/2、1/3、3. 4/10)	市債	その他	
当初予算額	3,722,567	1,068,217	2,639,700		14,650
前年度予算額	2,920,400	862,900	2,047,000		10,500

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の緊急輸送路等の防災機能を向上させる。
----	---



事業概要	<p>1 港湾、ICアクセス道路整備 1,449,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (国)150号(静岡バイパス、久能拡幅)</li> <li>・ (主)井川湖御幸線(下～松富上組)</li> <li>・ (主)山脇大谷線(小鹿～宮川)</li> <li>・ (主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)</li> </ul> <p>2 (国)1号静岡バイパスの整備促進 2,266,667千円 (国直轄道路事業負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (国)1号静岡バイパス清水立体事業</li> </ul> <p>3 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討 6,900千円</p> <p>※ 上記以外の国県道・市道の整備 4,783,236千円(事業費に含まない)</p>
------	--

【道路ネットワークの構築】

① 港湾、新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(国)150号(久能拡幅)  
駿河区根古屋～清水区蛇塚の現道拡幅(現状2車線⇒4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)  
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備



(国)150号(久能拡幅)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

② (国)1号静岡バイパスの立体化

清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmの高架化



# 交通安全施設整備事業（自転車走行空間整備）

# 道路保全課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	249,500	128,975	104,500		16,025
前年度予算額	266,800	117,920	85,800	10,600	52,480

目的	自転車や歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供する。
----	------------------------------



事業概要	<p>整備予定箇所の道路の現状（車道や歩道の幅）に応じた整備を実施する。</p> <p>○主な整備手法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車専用通行帯（自転車レーン） 外側線（白線）の外側（路肩）を青色で着色し、自転車の通行位置を明示</li> <li>・車道混在 路肩に矢羽根マークや自転車ピクトを設置し、自転車の通行位置を明示</li> </ul> <p>○主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巴川添2号線（東千代田三丁目外2）</li> <li>・（主）山脇大谷線（小鹿）</li> <li>・吉川堀込3号線（吉川、堀込） ほか</li> </ul>
------	--

自転車専用通行帯(自転車レーン)



車道混在



矢羽根マーク



自転車ピクト





# 橋りょう整備事業（道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修） 道路保全課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	2,967,453	1,524,400	1,095,600	38,062	309,391
前年度予算額	2,639,110	1,284,250	1,085,900	57,800	211,160

**目的** 道路橋の損傷を早期補修することによる長寿命化、大規模災害に対し橋桁の落下や倒壊を防止するための耐震化、並びに、トンネルの補修や設備更新等を実施することで、安心して安全に通行できる道路環境を確保する。



事業概要	1 道路橋健全化事業等	
		1,647,803千円
	○内容	
	・ 腐食鋼部材塗替えや断面補修 等	
	・ 5年に一度の定期点検の実施	
	○主な整備予定箇所	
	・ (主) 井川湖御幸線(玉機橋)	
	・ (県) 静岡朝比奈藤枝線(牧ヶ谷橋)ほか	
	2 道路橋の耐震化事業	
	909,150千円	
	○内容	
	・ 橋脚の巻立て補強、落橋防止装置の設置 等	
	○主な整備予定箇所	
	・ (県) 静岡焼津線(石部海上橋)	
	・ (県) 入江富士見線(桜橋)ほか	
	3 道路トンネル補修事業	
	410,500千円	
	○内容	
	・ トンネル設備の更新・点検 等	
	○主な整備予定箇所	
	・ (国) 150号(新日本坂トンネル)ほか	

## ○道路橋健全化事業(鋼桁塗替え)



## ○道路橋耐震化事業(橋脚巻立て)



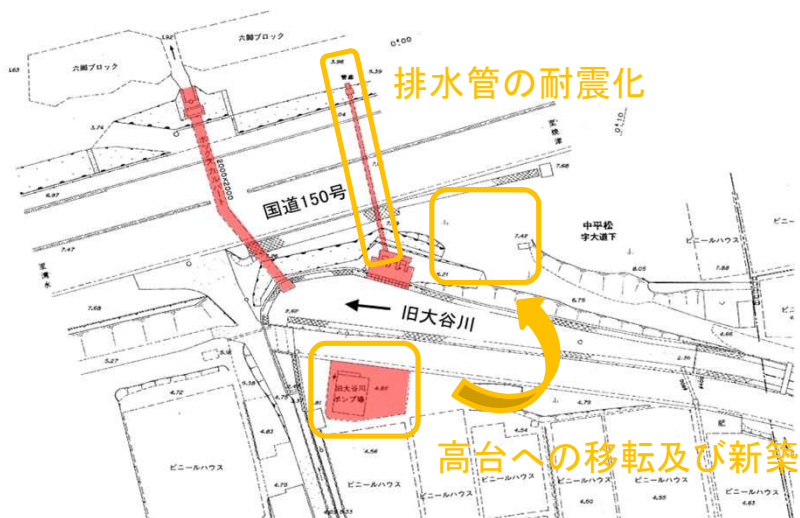
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	72,000		72,000		
前年度予算額	80,000		80,000		

**目的** 市が管理している重要な河川構造物の耐震化・津波対策を進め、地震、津波に対する被害軽減を図る。



**事業概要** 駿河区中平松に設置してある旧大谷川排水ポンプは、津波浸水想定区域内に位置し、設置から39年経過している。高台へ移転し、現在の耐震基準を満たすよう操作室の新築を行う。合わせてポンプからの排水管の耐震化を行う。



旧大谷川排水ポンプ(駿河区中平松)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	93,988		66,500		27,488
前年度予算額	96,388		66,500		29,888

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業	
	1 県の対策工事に係る業務 ほか ○県の対策事業に係る調査・測量、調書作成 ・ 葵区松野、清水区小島町、駿河区大谷 ほか	15,600千円
	2 既成宅地防災施設設置費助成制度 ○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成 ・ 補助率 工事費の1/2以内 ・ 補助額 最大5,000千円	10,000千円
	3 急傾斜地崩壊対策事業負担金 ○県が実施する急傾斜地崩壊防止事業に係る負担金 ・ 負担率 工事費の1/10以内	66,500千円



避難の時間を稼ぐ施設を設置



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3/4、1/4)	市債	その他	
当初予算額	49,434	21,292		30	28,112
前年度予算額	64,915	19,659		33	45,223

目的	津波浸水被害等からの早期復興に資するため、地籍を明確にする。
----	--------------------------------



事業概要	<p>国土調査法に基づく地籍（地番、地目、筆界、面積、所有者）の明確化のための地籍調査及び国土調査法第19条第5項指定の推進ほか</p> <p>1 地籍調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○優先地区 駿河区静岡海岸周辺地区（対象面積 19ha） 清水区清水港周辺地区（対象面積 5ha）</li> <li>○新規地区 駿河区用宗地区（対象面積 22ha）</li> <li>○継続地区 清水区蒲原地区（対象面積 16ha） 駿河区下川原地区（対象面積 12ha）</li> </ul> <p>2 国土調査法第19条第5項指定の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路事業等の測量成果を活用した地籍整備</li> </ul>
------	--



地籍調査前（公図、字限図）



地籍調査後（地籍図）

表題部（土地の表示）		調製	余白	不動産番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
地図番号	A11-2	筆界特定	余白		
所在	〇〇市〇〇町二丁目			余白	
①地番	②地目	③地積	㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕	
218番	畑		120	余白	
余白	宅地		135.57	②③錯誤、国土調査による成果 〔平成30年7月2日〕	

登記簿の書き換え

\* 国土交通省HP「地籍調査Webサイト」より引用





# 消 防 局

# 消防局 当初予算のポイント



令和4年度（2022年度）の目指す姿

## 災害から住民の生命や財産を守り、安全・安心に暮らせるまちの実現



住民生活を脅かす事象については、甚大な被害が想定される南海トラフ地震や頻発する大型台風及び局地的な大雨による風水害の他、最近では新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の流行等目に見えない恐怖との戦いも強いられている。

我々はいかなる災害に対しても、住民の生命、身体及び財産を守ることを最優先とし、可能な限り被害を軽減するため、住民や関係機関と協力・連携し災害に備え、立ち向かうまちづくりを進めていく。

### 課題

住民生活を脅かす災害による被害を軽減するため、住民一丸となった体制や対策が必要となっている。

#### 巨大地震による甚大な被害想定

管轄の3市2町の最大死者数  
(静岡県地震被害想定)

第3次想定  
約2,200人

第4次想定  
約33,900人

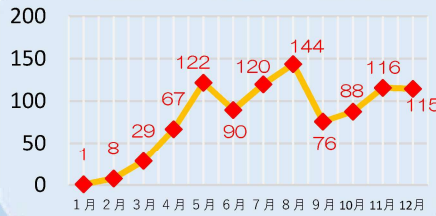
#### 頻発する風水害



大型台風や局地的な大雨等の頻発により、市内でも冠水等の被害が発生しており、風水害における災害出動件数は増加している。

#### 増加する新型コロナ関連事案出動 (疑い含む)

R2年新型コロナ関連事案の出動件数



新型コロナの感染拡大に伴い、これに関連する出動も増加している。

#### 多発する住宅火災

R1年火災の種別



火災死者数全8名のうち、建物火災による死者は5名。(うち住宅火災4名)

建物火災の過半数が住宅火災。死傷者も、住宅火災における発生率が最も高い。

### 政策

火災、救急、救助に対し、迅速・的確に対応するため消防力の強化を推進する。

#### 施策1 災害対応力の強化

- ①火災現場等における安全管理の徹底
  - ・火災現場における安全管理隊の配備・隊員の教育強化
- ②風水害・水難事故への対応強化
  - ・水上オートバイの運用・救命ボートの増強



#### 施策2 火災予防の推進

- ①火災被害の低減
  - ・住宅用火災警報器の設置促進・放火防止対策の強化
- ②消防法令違反の是正
  - ・重大違反対象物等に対する重点的な立入検査の実施



#### 施策3 救急体制の充実

- ①安定した救急体制の維持
  - ・感染防護用消耗品の備蓄強化及び感染性医療廃棄物の増大対応
- ②日勤救急隊の運用
  - ・救急需要の多い日中の体制強化・現場到着時間の短縮



#### 施策4 施設整備等の強化

- ①消防施設等の整備
  - ・老朽化した消防庁舎、消防車両等の整備
- ②消防職員の安全対策の強化
  - ・個人装備品の強化



#### 施策5 消防団の充実強化

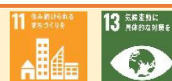
- ①消防団員の確保対策
  - ・機能別団員など、時代に即した事業の推進
- ②消防団施設等の強化
  - ・消防団庁舎の整備
  - ・資器材の機能強化 (AEDの更新)



## 令和3年度の主な取組

### 施策4 消防庁舎施設保全事業

670,692千円



#### ◆事業概要◆

静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき、計画的な保全長寿命化や時代に即した庁舎への機能改善を図る。

#### 👉 葵消防署庁舎改修

- 1 老朽化に伴う給排水、電気設備等の改修に加え、職員間における感染症等の蔓延を防ぐため**仮眠室を完全個室化**。さらに、**庁舎内に「オゾン水生成器」を設置し清潔な職場環境を維持する。**
- 2 改修工事期間中の消防体制確保のため、**仮設庁舎に移転**。  
(改修期間：令和3年1月～令和4年1月頃)



現庁舎・仮設庁舎位置図



仮設庁舎

### 施策4 消防自動車等整備事業

542,220千円



#### ◆事業概要◆

静岡市消防局消防車両等更新計画に基づき車両及び資器材を整備し、現有消防力の維持を図る。

#### 👉 常備、非常備消防車等の購入

- 1 常備消防整備事業 6台  
 ➤高規格救急自動車には、**新型コロナウイルスを含む感染症及びウイルス対策として「オゾン発生装置」を整備。**
- 2 非常備消防整備事業 13台



はしご付消防ポンプ自動車



化学消防ポンプ車



高規格救急自動車

### 施策5 消防団員確保対策事業

2,966千円



#### ◆事業概要◆

地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。

#### 👉 機能別団員の入団促進

災害活動のみを任務とする機能別団員の入団促進

#### 👉 広報活動の強化

カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演等

#### 👉 各種制度の周知

学生消防団活動認証制度等の周知のため説明会を実施



カラーガード隊による広報活動



消防団員による訓練

### 施策5 消防団施設整備事業

107,391千円



#### ◆事業概要◆

静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。

#### 👉 消防団庁舎建設事業

- |              |      |
|--------------|------|
| 1 建設・解体工事    | 2 箇所 |
| 2 設計・地質調査・測量 | 1 箇所 |

消防団施設の耐震化推進  
耐震化率 80.6%



静岡第37分団(坂ノ上)



静岡第12分団(北大谷)



由比第2分団(寺尾)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	670,692		617,200		53,492
前年度予算額	117,954		44,200		73,754

**目的**  
 静岡市アセットマネジメント基本方針に基づく計画的な保全を実施し、消防体制の充実強化を図る。



**事業概要**  
 消防庁舎施設保全事業

- 葵消防署大規模改修工事
  - ・改修内容 外壁改修、屋上防水、電気・衛生・空調設備改修、仮眠室、個室化、救急滅菌室設置など
  - ・供用開始 令和3年度末予定

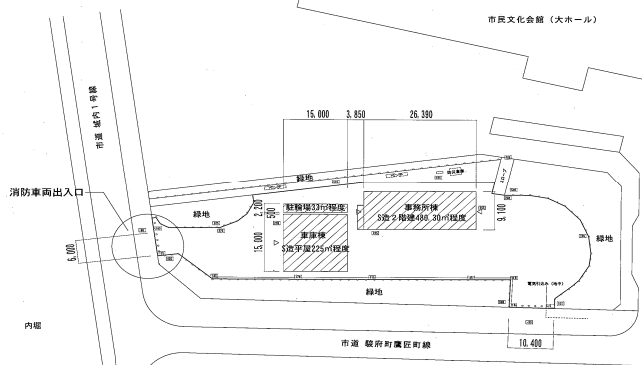
築39年が経過している葵消防署庁舎について、静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき計画的な長寿命化を推進するため、老朽化している電気設備、衛生設備、空調設備等の更新を行うとともに、仮眠室の個室化、救急滅菌室設置など時代に即した庁舎への機能改善を図る。  
 また、改修工事期間中における消防体制確保のため、葵消防署管内（静岡市民文化会館修景広場内）に仮設庁舎を設置する。



葵消防署庁舎



現庁舎・仮設庁舎位置図



仮設庁舎配置図



仮設庁舎



仮設車庫

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (定額、1/3)	市債	その他	
当初予算額	542,220	31,079	442,300	67,258	1,583
前年度予算額	438,508	33,838	243,100	157,347	4,223

目的	消防車両等更新計画に基づき車両及び資器材を整備し、現有消防力の維持を図る。
----	---------------------------------------



事業概要	<p>1 常備消防装備整備事業 436,782千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○はしご付消防ポンプ自動車 1台</li> <li>○水槽付消防ポンプ自動車（I-B型） 1台</li> <li>○化学消防ポンプ自動車 1台</li> <li>○高規格救急自動車 3台</li> <li>○高規格救急自動車資器材 3式</li> </ul> <p>2 非常備消防装備整備事業 105,438千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防ポンプ自動車（CD-I型） 3台</li> <li>○小型動力ポンプ積載車 5台</li> <li>○小型動力ポンプ（B-3級） 5台</li> </ul>
------	--

【常備消防装備整備事業】



はしご付消防ポンプ自動車



水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）



高規格救急自動車

【非常備消防装備整備事業】



消防ポンプ自動車（CD-I型）



小型動力ポンプ積載車



小型動力ポンプ（B-3級）

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,966				2,966
前年度予算額	20,821	4,430			16,391

目的	地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。
----	---



事業概要	<p>本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展に併せ、新たな入団促進対策として導入した、機能別団員の入団促進を継続実施する。</p>
	<p>1 機能別団員の入団促進 <span style="float: right;">1,624千円</span>                  ○災害対応に必要な知識・技術を有し、即戦力となる元消防団員又は元消防職員を対象とした機能別団員の入団促進</p> <p>2 広報活動の強化 <span style="float: right;">1,342千円</span>                  ○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演                  ・ 出演実績 1月消防出初式 ほかに年間13回の各種イベント                  ○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用                  ・ 発信内容 消防団活動・消防防災の啓発に関する情報など                  ○Jリーグの試合が行われる際、「IAIスタジアム日本平」アストロビジョンやパブリックビューイングにおける消防団員募集動画の放映</p> <p>3 制度の周知                  ○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会を実施                  ・ 過去実績 4～5月…商工会議所 10～11月…大学・専門学校                  ○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会を実施                  ・ 過去実績 4～5月…商工会議所</p>

【大学での消防団入団促進活動】



【静岡大学】

【カラーガード隊によるパレード風景】



【静岡まつり】

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	107,391		80,700	18,712	7,979
前年度予算額	167,403		155,900		11,503

目的	静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。
----	--



事業概要	<p>消防団庁舎建設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○由比第2分団（寺尾）建設・解体工事             <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用開始 令和3年度末予定</li> </ul> </li> <li>○静岡第12分団（北大谷）建設・解体工事             <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用開始 令和3年度末予定</li> </ul> </li> <li>○静岡第37分団（坂ノ上）設計・地質調査・測量             <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用開始 令和4年度末予定</li> </ul> </li> </ul>
------	--



由比第2分団(寺尾)



静岡第12分団(北大谷)



静岡第37分団(坂ノ上)





# 上 下 水 道 局

# 上下水道局 当初予算のポイント

## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

健全で強靱な上下水道を、子どもたち、孫たちの世代に引き継ぎ、現在のサービス水準を維持・向上していく、持続可能な上下水道事業の実現を目指す。

## 令和3年度の主な取組 水道事業

### 1 水道基盤の強化

**拡充** 管の耐震化・老朽化対策 3,979,035千円（前年度 3,715,445千円）

管総延長2,600kmを平均83年（管路更新率1.2%）で更新する目標に向け段階的に加速。

		R1（実績）	～	R3	R4～
延長	計画値	9.0km		23.4km	31.3km
	実施予定	<b>8.3km</b>		<b>24.3km</b>	-
更新率	計画値	0.34%		0.9%	1.2%
	実施予定	<b>0.32%</b>		<b>0.93%</b>	-

更新加速



老朽管の更新

#### 更新率向上に向けた取組

【継続】債務負担行為の活用 11件【新規】大規模発注、概算数量設計 10件

**拡充** 施設の耐震化・老朽化対策 2,839,462千円（前年度 1,623,618千円）

重要施設の耐震化・老朽化対策の実施。

主な施設	R1	R2	R3	R4
清水谷津浄水場（老朽）			設備更新等	
日本平観光地水道配水池（耐震）			土木工事等	
向敷地配水池（耐震）			実施設計	
門屋取水場（耐震）			取水井整備	



清水谷津浄水場 非常用発電機の更新  
上：更新前、下：更新後

### 2 統廃合の本格的なスタート

**新規** 「水運用計画」に基づく施設の再構築 139,167千円【再掲】

※「1 水道基盤の強化」に含む。

和田島浄水場取水井さく井工事、門屋配水池基本計画策定業務ほか

施設の小規模化・統廃合によるR3削減額 ▲355,000千円  
（谷津山配水池耐震化工事の中止、向敷地配水場用地取得の中止）



和田島浄水場

### 3 「新たな日常」への対応

**新規** ポストコロナに対応する取組 4,712千円

次世代型サービスの提供（ICT技術等を活用したコールセンターの導入検討） - 千円（債務負担行為）

技術職員のためのデジタル技術活用研修（全技術職員対象、全3回実施予定）300千円

リモート会議及びテレワークの推進 2,145千円（ほか）



災害対策本部（水道部）

### 4 その他の事業

**拡充** 危機管理体制の強化 1,955千円【再掲】 ※「3 「新たな日常」への対応」に含む。

災害時の情報伝達を強化するマルチ無線機の導入



## 令和3年度の主な取組 **下水道事業**

### 1 下水道管・施設の強靱化

#### 継続 重要な管・施設の地震対策 1,081,065千円（前年度 1,414,849千円）

緊急搬送路下や防災拠点と浄化センターを接続する重要な管について、管の内面を補強する管更生工等により耐震化を実施。

##### ○高松処理区

田町稲川遮集幹線耐震化工事 449,900千円

##### ○高松・城北・中島処理区

下水道管路施設耐震化工事 265,000千円



耐震対策前



耐震対策後

#### 継続 重要な管・施設の老朽化対策 3,579,611千円（前年度 4,335,725千円）

経年劣化が原因で起こる重大な道路陥没事故や施設の処理機能の低下を未然に防止。

##### ○南部処理区 真砂町地内

下水道管路施設改築工事 141,300千円

##### ○城北浄化センター

受変電設備改築工事 外 376,370千円

##### ○中島浄化センター・中島雨水ポンプ場

監視制御設備改築工事 308,000千円



老朽化対策前



老朽化対策後

### 2 浸水対策の推進（重点プロジェクト）

#### 継続 浸水対策 3,205,317千円（前年度 3,419,581千円）

浸水対策推進プランに基づき、浸水対策地区において、雨水きよ、雨水ポンプ場などの基幹施設整備を着実に実施。

○城北二丁目地区 唐瀬1号雨水幹線整備 423,000千円

○川岸町・渋川地区 渋川雨水1号幹線及び

渋川雨水ポンプ場整備（用地取得費含む） 1,060,080千円



唐瀬1号雨水幹線イメージ図

### 3 環境の保護と改善

#### 継続 下水道管の新設 1,549,957千円（前年度 1,708,795千円）

下水道の未普及解消のため、下水道事業計画区域内の整備を実施。

○中島処理区（服織、大谷地区） 468,500千円

○静清処理区（鳥坂、長崎、馬走地区等） 204,800千円

○北部処理区（西久保地区） 49,600千円



汚水管新設状況

### 4 その他の事業

#### 新規 債券利息収入 2,500千円（債券購入支出 1,100,000千円）

有価証券11億円を購入することにより、従前の預金利息収入に加えて債券運用利息収入を創出。



(千円)


	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定留保 資金等
		国・県支出金 (1/2、5.5/10)	市債、企業債 (90%、100%)	その他	
当初予算額	3,261,317	983,120	2,147,080		131,117
前年度予算額	3,509,581	1,132,380	2,244,780		132,421

目的	ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。
----	-----------------------------------




事業概要	<p>【河川事業】 当初予算額 56,000千円 浸水対策推進プランに基づく河川改修事業の実施 ・谷津沢川改修（清15 馬走地区）</p> <p>【下水道事業】 当初予算額 3,205,317千円 雨水ポンプ場、雨水幹線などの整備 ・唐瀬1号雨水幹線築造工事（葵3 城北二丁目地区）ほか ・渋川雨水1号幹線築造工事（清6 川岸町・渋川地区）ほか</p>
------	--


【浸水対策推進プラン 基幹施設整備】




平成26年台風18号による浸水




雨水ポンプ場整備



雨水幹線整備



河川改修



浸水被害軽減

教育委員会事務局

教 育 局

# 教育局 当初予算のポイント



## 令和4年度（2022年度）の目指す姿

～たくましく しなやかな子どもたちを育成～  
人口減少社会の到来、グローバル化のさらなる進展など、社会の変化が激しい中において、常に夢と希望を持ち、自らの未来を切り拓いていける『たくましく しなやかな子どもたち』を育成する。

## 令和3年度の予算の特徴

- 感染症収束まで子どもの安定した学校生活を守り、新しい学びの在り方に向けた教育環境を整備（ICT教育の強力な推進、学習や学校生活の不安に寄り添う体制づくり）
- 令和4年度の全市一斉静岡型小中一貫教育スタートに向けた取組、外国につながる子どもたちの支援体制の充実、学校施設の整備など、学校教育の更なる充実を図る。

## I 「新たな日常」に向けた教育環境の整備 当初869,292千円 (2月補正412,798千円)

### 1 静岡型ICT教育の推進 当初357,722千円(2月補正260,398千円)

ICTを導入し、勉強が苦手な子のつまづき始めを見つけたり、得意な子がもっと進んだ内容を勉強できる環境を整えたり、子どもの可能性を開花する教育を強化する。

- ① **[新規]** 情報教育支援室の設置
- ② **[新規]** ICT支援員の配置（1校当たり15回/年）
- ③ **[新規]** モデル校における遠隔授業等の実証研究  
・不登校児童生徒への活用（例：教室と別室や家庭を繋ぐ）  
・小中一貫グループ校での活用（例：合同授業や交流活動）
- ④ **[新規]** 小学3年生及び教員用端末の配備
- ⑤ **[新規]** 学校における通信環境の強化 **【2月補正】**
- ⑥ **[新規]** ICTを活用できる教員の育成



### 2 子どもの不安に寄り添う体制の充実 当初511,570千円(2月補正152,400千円)

#### 【学び】

- ① **[拡充]** 学力アップサポート事業の充実
- ② **[拡充]** 自閉症・情緒障害学級の学習指導の充実  
(R2:4校 → R3:6校)
- ③ **[継続]** 静岡市型35人学級編制の実施  
(R2から下限を撤廃し、小中学校の全学年で実施)

#### 【こころ】

登校に対する不安感を和らげ、教員が子どもの不安を見過ごさない体制をつくる。

- ④ **[新規]** 小学校の別室指導体制の整備（6校）
- ⑤ **[拡充]** 不登校の子どもを支援する訪問教育相談員の配置（R2:6人 → R3:12人）
- ⑥ **[拡充]** スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
- ⑦ **[拡充]** スクール・サポート・スタッフの全校配置  
(R2:38校 → R3:123校)
- ⑧ **[臨時]** 衛生用品の購入 **【2月補正】**

「学校再開後のからだところのアンケート」調査結果(抜粋)

【不安や悩みについて】	
○勉強についていけるか	24%
○生活リズムのくずれ	16%
○自分の感染が心配	14%
○感染したと疑われるのではないか	8%

(全児童生徒対象、R2.10実施)

#### 訪問教育相談員配置の効果

(R1)  
・56人中47人の子どもに状態の改善が見られた。8人の生徒は登校傾向の改善まで見られた。  
(R2 ※12月末現在)  
・49家庭53人にに関わり、延べ862回家庭訪問を行い、650回面会した。

## Ⅱ 静岡型小中一貫教育の推進 当初618,615千円

- ① [継続] 第Ⅱ期実践研究グループ校の実践研究・発表
- ② [新規] 両河内地区施設一体型小中一貫校化に伴う小学校の新校舎の建設工事
- ③ [新規] 蒲原地区施設一体型小中一貫校化に伴う校舎の基本計画
- ④ [拡充] 英語が堪能な地域人材GETの活用
- ⑤ [継続] しずおか学副読本の活用



清水和田島小・清水両河内中  
合同体育祭

## Ⅲ 外国につながる子どもたちの支援体制の充実 当初10,213千円

- ① [拡充] 日本語指導教室の指導時間数を増加  
(R2:60時間 → R3:70時間)
- ② [拡充] 訪問指導員を増員し、訪問指導体制を強化  
(R2:20人 → R3:25人)
- ③ [拡充] 多文化共生の意識醸成(ESD、シチズンシップ教育)
- ④ [新規] リーフレットによる支援体制の周知



日本語指導教室

## Ⅳ 安心・安全で快適な教育環境の実現 当初839,854千円

- ① [継続] 小学校校舎大規模改修事業
- ② [継続] 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業  
～洋式化率～  
R1:50.2% ⇒ R2:59.0%(見込み) ⇒ R3:63.0%(R2繰越実施分を含む)



トイレ改修例

## V その他 当初479,552千円

- 1 日本一おいしい学校給食の提供
  - ① [継続] わくわく給食プロジェクト(年6回)
- 2 静岡市型部活動システム推進プロジェクト
  - ① [拡充] 外部顧問、外部指導員の配置
  - ② [新規] 地域部活動等の実践研究
- 3 学校・地域の連携・協働活動の推進
  - ① [拡充] コミュニティ・スクールの推進
  - ② [継続] 地域学校協働活動の推進
  - ③ [継続] 学校・地域 ひとつなぎコーディネーター養成講座
- 4 特色ある高等学校教育の推進
  - ① [新規] 国際教育プログラムの導入推進事業
- 5 自然の家整備事業、市立図書館整備事業
  - ① [新規] 清水和田島自然の家整備事業
  - ② [継続] 中央図書館大規模改修事業



合同チームでの部活動



授業で地域の方と話し合う子どもたち



	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	97,324				97,324
前年度予算額					

目的	小・中学校にICTを導入することで、教員の授業力を高め、勉強が苦手な子のつまづき始めを見つけたり、得意な子がもっと進んだ内容を勉強できたりするなど、子ども一人ひとりの学習状況に応じた、より効果的な指導を実現する。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報教育支援室の設置 <b>新規</b> ICT教育の推進エンジンとして「情報教育支援室」を設置すべての小中学校でICTを活用した効果的な指導を実現するための支援体制を確立</li> <li>2 ICT支援員の配置 <b>新規</b> 57,922千円 各校の教員への技術支援（1校当たり15回/年）</li> <li>3 モデル校における遠隔授業等の実証研究 <b>新規</b> 不登校や別室登校の児童生徒への活用や、小中一貫グループ校での活用のモデル実施</li> <li>4 小学3年生及び教員用端末の配備 <b>新規</b> 39,402千円 (参考) 小学4年生～中学3年生用端末は令和2年度中に配備完了</li> <li>5 ICTを活用できる教員の育成 <b>新規</b></li> </ol>
------	---



国語の授業で狂言の面白さを動画を見ながら考えている様子（横内小学校）



ALTに英語で落語を披露する遠隔授業の様子

## 子どもの不安に寄り添う体制の充実 1（学びの支援）

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	165,883	1,485		195	164,203
前年度予算額	142,990	1,618		43	141,329

目的	勉強についていけるか不安を感じている子どもたちに学びの保障をするため、補充学習や少人数学級等によるきめ細かな指導体制を確立し、子どもの可能性を引き出す教育環境を整える。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学力アップサポート事業の充実 <b>拡充</b> 5,480千円 小学校に支援員を配置し、個別に補充学習を実施（28校程度）</li> <li>2 自閉症・情緒障害学級の学習指導の充実 <b>拡充</b> 25,403千円 7人以上かつ4学年以上の複数学年の児童が在籍する自閉症・情緒障害学級に教員を追加配置</li> <li>3 静岡市型35人学級編制の実施 135,000千円 きめ細かな指導体制を実現するため、市立小中学校の全学年で35人学級編制を実施</li> </ol>
------	---

## 【令和2年度 自閉症・情緒障害学級の教員の追加配置の効果】

- ・45分間、落ち着いて授業に参加できるようになった。
- ・勉強が分かるようになり自信を持った6年生が中学から通常学級に通う希望を持つようになった。



教員を追加配置した教室の様子

## 【令和2年度 静岡市型35人学級の効果】

- ・学習面では、発表機会が増えることで子どもの伝える力が向上したり、算数の単元テストの平均点が7点上昇した学校があった。
- ・学校生活において活躍の場が増え、責任感が生まれると同時に、互いに協力し合う雰囲気も高まった。
- ・保護者からは、「子どもをしっかり見てもらえている」といった声があった。



18人学級の授業の様子

【拡充】

児童生徒支援課  
教育総務課  
教職員課

子どもの不安に寄り添う体制の充実2（こころの支援）

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	193,287	60,001			133,286
前年度予算額	126,694	42,053			84,641

**目的** 登校に対する不安感を和らげ、教員が子どもの不安を見過ごさない体制をつくるため、悩みや不安を抱える子どもの居場所づくりや相談体制の充実を図るとともに、教員が子どもと向き合う時間を創出する。



事業概要		
1	小学校の別室指導体制の整備 <b>新規</b> 別室利用児童数が多いと想定される小学校6校に、教育相談員を配置	3,150千円
2	訪問教育相談員の配置 <b>拡充</b> 不登校児童生徒の家庭を訪問する相談員を増員 ○配置数 12人（6人増）	25,178千円
3	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置 <b>拡充</b> 問題を抱える児童生徒に対し、組織的な相談機能を向上させるため、心理、福祉の専門家による支援を実施	104,584千円
4	スクール・サポート・スタッフの配置 <b>拡充</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により増加した業務量を軽減するため、スクール・サポート・スタッフを全校に配置	60,375千円

【令和2年度 訪問教育相談員配置の効果】

- ・ 2年半ぶりに登校し、卒業後の進路希望について語るようになった。
- ・ 外出できなかった生徒が学校へ行き、先生や友人と会えるようになった。



家庭訪問での関係づくり（イメージ）

【令和2年度 スクール・サポート・スタッフ配置の効果】

- ・ 同規模の配置校と未配置校の教員1人当たりの時間外勤務時間を比較した結果、差の大きい月では1か月当たり約14時間短縮されていた。
- ・ 教員が「子どもたちと向き合う時間が増え、より多くの子どもたちと会話することができるようになった」92%（配置校アンケート結果）

# 静岡型小中一貫教育の推進

**【拡充】**  
 学校教育課  
 教育施設課  
 (千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	618,615	37,707	462,000		119,241
前年度予算額	40,852		39,000		1,852

**目的**  
 令和4年度の全市一斉「静岡型小中一貫教育」のスタートに向けて、地域と一緒に学校づくりをしていくことを進める。また、施設一体型の小中一貫校設置を目指す地区では新校舎の建設等を進める。



事業概要	内容	金額
1	各グループ校で令和4年度スタートに向けた取組を推進 市内43グループ校で地域ならではの特色ある教育の推進や、 たて（小学校と中学校）とよこ（学校と地域）のつながりの さらなる強化	
2	第Ⅱ期実践研究グループ校の実践研究及び発表 グループ校のカリキュラムづくりや地域連携のあり方など、 有効な実践事例を蓄積し、発信	333千円
3	地域や社会で活躍するグローバル人材の育成 すべてのグループ校で英語教育とせずおか学に取り組む	<b>拡充</b> 19,682千円
4	両河内地区施設一体型小中一貫校化に伴う校舎の建設 令和4年度（仮称）清水両河内小中学校を開校予定	<b>新規</b> 566,600千円
5	蒲原地区施設一体型小中一貫校化に伴う校舎の基本計画	<b>新規</b> 32,000千円



(仮称) 清水両河内小中学校 増築校舎完成イメージ



(千円)

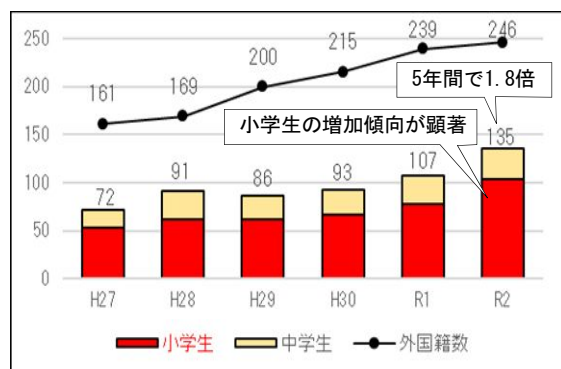
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	10,213	3,404			6,809
前年度予算額	8,746	2,915			5,831

## 目的

外国人児童生徒及び帰国児童生徒に対し、日本語指導や適応相談を充実するとともに、受け入れ側の多文化共生の意識を高めることによって、日本語指導を必要とする児童生徒が安心して学校に通うことができるようにする。

## 事業概要

- 日本語指導教室の実施 **拡充** 5,502千円  
○教室数 市内3か所  
○指導時間数 60時間 → 70時間(一人当たり)
- 訪問指導体制の強化 **拡充** 3,913千円  
日本語指導教室に通級が困難な児童生徒への訪問指導  
○指導員数 20人 → 25人  
○指導時間数 10～30時間/年 → 35～70時間/年(一人当たり)
- 多文化共生の意識醸成 (ESD\*、シチズンシップ教育) **拡充**  
○実施内容 道徳や学活の授業でお互いの文化を尊重し合うことを学んだり、教員が授業や生徒指導の中で子どもたちが生き生きとできるような指導を学ぶ研修の実施  
\*ESD: Education for Sustainable Development  
「持続可能な開発のための教育」
- その他 798千円  
多言語リーフレットによる支援体制の周知ほか



日本語指導が必要な児童生徒数と外国籍児童生徒数 (静岡市)



日本語指導教室の指導の様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	74,270				74,270
前年度予算額	85,712				85,712

目的	給食がおいしく楽しい時間となるよう静岡の自慢のブランド食材を使った特別な給食を提供したり、学校や家庭での食育の推進を図ることにより、給食を通じて静岡への愛着と誇りをもつ子どもたちを育成する。
----	---



事業概要	<p>1 わくわく給食プロジェクト 1食あたり250円程度の食材料費を加えた特別献立を提供 地元食材を使うことにより、地域経済の活性化にも繋がる</p> <p>○回数 年6回 ○対象 全市立小中学校</p> <p>2 地域と連携した食育の推進 ○実施内容 生産者や調理員の声を聞く食育授業の実施</p>
------	---

令和元年度 提供献立



(11月) 釜揚げシラス、静岡おでん、緑茶

各校での食育指導の取組



栄養教諭による給食に使われる静岡県産ブランド食材を扱った食育指導  
(伝馬町小学校)

(子どもたちの声)

- ・しらすを久しぶりに食べた!
- ・牛すじが入っていて最高!
- ・お茶が濃くておいしい!